健康診斷	一		職工全部	二四五	三〇	一			
製糸業	中備製糸株式會社	六月中							
健康診斷	二		寄宿舍工及新雇者	二五	二〇				
製糸業	合名會社浮田商店浮田工場								
身体檢査	二	春	浮出工場内ニ於テ勞働セルモノ	二七〇	一五〇	三五			
		秋							
製糸業	三河製糸株式會社備前工場								
健康診斷	二	四月 九月	職工全部	二一〇	六〇	二〇			
製糸業	合資會社原田製糸工場								
身体檢査	一	五月二十日	職工全部	一四九		三			
製糸業	中國蠶糸株式會社								
身体檢査	一	每年四月	職工全部	一五〇					
健康診斷	一	同五月	同	一四七					
製糸業	河内玉繭製糸株式會社								
健康診斷	二		女工職員	九〇	三	五			
	二								

製糸業	有終製糸株式會社								
身体檢査	一	四月	職工全部	八四		七			
紡績業	鐘淵紡績株式會社岡山工場								
健康診斷	二	五月及十一月	一般從業員	二、二三五		一五			
紡績業	鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場								
健康診斷	二	春 秋 寄宿入舍時其他	從業員全部	春季 五二七 秋季 四九二	八〇九 六九二	二五 三七			
紡績業	鐘淵紡績株式會社備前工場								
健康診斷	二	春期五月—六月 秋期九月—十月	一般從業員	三四九	二、〇一八	九六			
紡績業	鐘淵紡績株式會社西大寺工場								
健康診斷	二	五月 十一月	職工全部	二二八 二〇八	三六八 三五五	一五 一〇			
紡績業	倉敷紡績株式會社倉敷工場								
健康診斷	二	每月一回並五月十月	每月ノ分ハ炊事夫保姆等五、十月分全部	二、四三一		七四			

紡績業　倉敷紡績株式會社萬壽工場

身体検査	二	春秋	二	職工全部			

紡績業　倉敷紡績株式會社玉島工場

健康診斷	二	五月 十一月		職工全部	九〇五	七五	二〇

紡績業　倉敷紡績株式會社岡山北方工場

健康診斷	一 一二	三月	毎月	定期 臨時 從業員一同 飲食物取扱者	九四〇	七三	一七
標準	一、傳染性疾患ヲ有スル者　二、他人ノ嫌惡スヘキ疾患ヲ有スルモノ　三、急性腸系傳染病ニ罹リ治癒後二ケ月ヲ經過セザル者　四、菌保有者　五、持久排菌者　六、其他疾病ノ早期診斷						

紡績業　倉敷紡績株式會社早島工場

身体検査	二	一	四月 十一月	六月	從業員	六五六 三一五	九
健康診斷	一二		毎月十五日		飲食物取扱者 託児所保姆	一四	八
標準	一、呼吸器其他肺ニ多少ニテモ浸潤其他異狀ヲ有スルモノ　二、貧血中等症以上ノモノ　三、トラホーム中等症以上ノモノ　四、体重漸時減少スルモノ　五、其他工場作業ニヨリ増惡スベキ疾患ヲ有スルモノ　以上ノモノハ休業治療セシム						

紡績業　近江帆布株式會社味野工場

健康診斷	二	春秋 四月 十一月 二回		寄宿舎職工全部	三一八	一、一五一	一二〇

紡績業　福島紡績株式會社笠岡工場

身体検査	二	四月 九月		職工全部	四六一	七九三	二
標準	男　體重 五二、三五基瓦　身長 一九九、〇仙米　胸圍 八三、四仙米　胸廓縮張差 六、七仙米　視力、聽力検査ヲ行フ						
	女　體重 四六、二三基瓦　身長 一四六、六仙米　胸圍 八〇、四仙米　胸廓縮張差 五、九仙米　視力、聽力検査ヲ行フ						

紡績業　株式會社半田綿行紡績部

健康診斷	一	春期		職工全部	四四四		一三三

織物業　株式會社井原織物所

健康診斷	一	毎年五月		職工全部	一一七	九五	二〇

織物業　尾崎織物株式會社

健康診斷	二			職工全部	五〇	一〇〇	二〇

織物業　備前織物株式會社茶屋町工場

身体検査	二	春 秋		寄宿舎職工全部	三三	四二	五

織物業　大塚織布工場

身体検査	一	二四	月	
織物業	合資會社大島本店			
健康診斷	一	十	月	職工全部
織物業	三善織物株式會社			
健康診斷	一	六	月	從業員全部
織物業	惠藤織物工場			
身体検査	二	四、九	月	從業員全部
織物業	第一織布合資會社			
身体検査	一	十月十日		男女工一同
織物業	矢掛織布株式會社			
身体検査	二	三九	月	職工全部
織物業	大塚織物合資會社			
身体検査	二			

組物編物業	株式會社島田製織所			
健康診斷	一	四	月	職工全部
船舶車輛製造業	三井物産株式會社造船部玉工場			
身体検査	一	十二	月	職工全部
窯業	品川白煉瓦株式會社伊部工場			
健康診斷	二回	十五	月	
窯業	九州耐火煉瓦株式會社伊部工場			
健康診斷		七	月	職工全部
護謨製造業	中國工業株式會社			
健康診斷トラホーム檢診	一	五	月	職工全部
護謨製造業	千里足袋株式會社			
身体検査	二	三	月	職工全部
健康診斷	二	九	月	職工全部
人造肥料製造業	大日本人造肥料株式會社岡山工場			

健康診斷	一	六月	
精穀製粉業	日清製粉株式會社岡山支店工場		
健康診斷トラホーム	一	九月	職工全部
印刷製本業	中國民報社		
健康診斷	二	四月	全員
雜業	梶村帽子原料製造工場		
身体檢査	一	五月	工場從業員全部
瓦斯業	岡山瓦斯株式會社製造所		
健康診斷	一	四月	

職工志願者身体檢查標準

鐘淵紡績株式會社西大寺工場

		合格			
		甲	乙	丙	丁
年齡		滿拾貳歲以上滿四拾參歲未滿（女子ハ滿參八歲）	仝	上仝	滿拾貳歲未滿滿四拾參歲以上（女子滿卅八歲以上）
体格		強健中等以上	中等以上薄弱	上仝	不合格
榮養		佳良	良乃至稍良	不良	
身長	平均身長以上	平均身長ニ滿タザル事六、〇六糎以下ノモノ	平均身長ニ滿タザル事六、〇六糎內外ノモノ但女子ニ限リ一二七、二七糎迄ハ合格トス	年齡ニ關セズ身長一二七、二糎未滿ノモノ又ハ平均身長ヲ隔ツルコト著シキモノ十歲以上ノモノハ男一四五、糎女一三二、糎未滿ノモノ	
体重	平均体重以上	平均体重ニ達セザル事七五〇瓩以下ノモノ	平均体重ニ達セザル事三、五瓩內外ノモノ	平均体重ヲ隔ツルコト著シキモノ貳拾歲以上ノモノ男四一、二五瓩女三七、五瓩未滿	
胸圍	身長ノ半以上ノモノ	身長ノ半バニ達スルモノ	身長ノ半バニ達セザルモノ	身長ノ半バヲ隔ツル事著シキモノ	
視力	兩眼各一、〇以上	兩眼各一、〇內外左右〇、八又ハ總合視力〇、九迄許容ス	兩眼各〇、七以上又ハ一眼一、〇以上他眼〇、五以上ニ曲光力以下ノ遠視眼アルモノ	丙種ノ視力ニ達セザルモノ	
聽力	五米ノ距離ニテ囁語ヲ聽取シ得ル者	仝	對話ニ妨ケナキ離聽上	高度ノ難聽者	
身體及精神ノ故障有無	ナキ者	ナキ者	多少故障アルモ作業上差支ナキ程度ノ者	作業上支障アル程度ノ故障アル者	
作業ノ堪否	年齡ニ比シ強キ作業ニ堪エ得ル者	年齡ニ相當スル作業ニ堪ユル者	体質相當ノ作業ニ從事得ラルモノ	作業ニ堪エザル者	

備考　左記各項ニ該當スルモノハ採用セズ

一、肺病、肋膜炎、喘息、癬瘓病、腎臟病、遺尿症、痴愚、其他ノ精神異常、癲癇、癩病、結核、花柳病、其他ノ傳染病、視力及聽力ニ著シキ障害アルモノ

二、吃音、臭鼻、脫臭、扁平足、關節强直、跛、畸形欠損、脫腸貧血、膿肪過多ノ高度ナルモノ

三、義眼アルモノ及トラホーム高度ナルモノ

四、絆創中ノモノ及産後一ケ年半以上經過セザルモノ

五、顏貌著シク醜惡又ハ文身アルモノ

六、尿ニ蛋白ヲ帶ブルモノ

年齢	身長	胸囲	体重
満十二歳以上十参歳未満	一三二、三糎	六六、六七糎	三一、一三瓩
満十三歳以上十四歳未満	一三六、三六	六九、七〇	三四、三〇〇
満十四歳以上十五歳未満	一四七、八八	七三、七三	三七、一三瓩
満十五歳以上十六歳未満	一五九、五九	七四、二五	四〇、三〇〇
満十六歳以上十七歳未満	一四三、四三	七五、七六	四二、二三

倉敷紡績株式會社倉敷工場

一、女子ニアリテハ體格檢査成績左記標準以上ナルコト

表準標査檢格檢體入雇工女

年齢	身長	位置高 脫胸座	上圍手右膊
	cm	cm	cm
12年1ケ月以上			
12年3ケ月未満	127	86.0	15.0
12年3ケ月以上			
12年9ケ月未満	127	87.0	15.5
12年9ケ月以上			
13年3ケ月未満	128	88.0	16.0
13年3ケ月以上			
13年9ケ月未満	129	88.8	16.5
13年9ケ月以上			
14年3ケ月未満	130	89.5	17.0
14年3ケ月以上			
14年9ケ月未満	131	90.2	17.5
14年9ケ月以上			
15年3ケ月未満	132	90.8	18.0
15年3ケ月以上			
15年9ケ月未満	133	91.3	18.5
15年9ケ月以上			
16年3ケ月未満	13.35	91.8	19.0
16年3ケ月以上			
16年9ケ月未満	134	92.2	19.4
16年9ケ月以上			
17年3ケ月未満	134	92.5	19.8
17年3ケ月以上			
17年9ケ月未満	134	92.5	20.0
19年9ケ月以上	134	92.5	20.0

年齢	身長	胸囲	体重
満十七歳以上十八歳未満	一四三、九四糎	七八、七九糎	四四、六二瓩
満十八歳以上十九歳未満	一四三、九四	七八、七九	四五、三七瓩
満十九歳以上二十歳未満	一四三、九四	八〇、三一	四六、八七瓩
満二十歳以上	一四三、四三	八〇、三一	四七、二三〇

二、左記各號ノ一ニ該當スル者ニアラザルコト

イ、筋力薄弱ナル者（別ニ規程ヲ定ム）

ロ、視力兩眼〇、七未滿ノ者及一眼一、〇〇ナルモ他眼〇、五未滿ノ者但シ近視眼ニ在リテハ女子ニシテ二十度以下ノ者男子ニシテ十三度以下ノ者ハ眼鏡ニテ矯正シ得ルトキハ之ヲ雇入ルルコトヲ得

ハ、聽力普通對話ニ妨ゲル者

ニ、急性腸系傳染病ニ罹リ治癒後二箇月ヲ經過セザル者

ホ、現ニ姙娠ト認メタル者及ビ産後二箇月末滿ノ者

ヘ、月經困難甚シキ者

ト、體質劣弱ナル者例ヘバ無力性體質結核性體質滲出性高度ノ脂肪質及其ノ他脆弱ナ體質

チ、脂肪過多ナル者又ハ甚ダシク羸瘦セシ者

リ、運動障害アル者但シ女子ニシテ上肢以外ノ輕度ノ運動障害アル者、之ヲ雇入ルルコトヲ得

ヌ、工場作業ニ不適當ナル畸形（後天性ヲ含ム）例ヘバ Wolfarachen手ノ syndaktylie ヲ有スル者

ル、高度ノ貧血症ニ罹レル者

ヲ、甚ダシキ神經質ノ者

ワ、高度ノ副鼻腔疾患ヲ有スル者

カ、上下顎ヲ通ジ（智齒ヲ除ク）齒牙ノ喪失又ハ齒冠ノ破壞（充塡ニ依リテ回復シ難キ程度）六個以上ニ及ブ者

ヨ、左記ノ疾病ニ罹レル者

A　各部ノ結核性疾患

B　全身的傳染病

C　精神病白痴
D　器質的中樞神經系病
E　作業中危險ヲ惹起スベキ虞アル發作性疾患例ヘバ、ヒステリー病、癲癇、舞踏病、腦貧血、狹心病喘息等
F　黴毒、急性淋病、癩狠瘡及其ノ他傳染病、皮膚病
G　心臟疫患、腎臟疾患
H　脚氣、ロイマチズムス、神經痛、バセドウ氏病
I　慢性氣管支カタル、肋膜炎（非結核性）
J　神經衰弱、頭痛癖、アルコール中毒、遺尿
K　甚ダシキ扁平足間歇性跛行高度ノVaricx起立性蛋白尿ヘルニア オスグートシラッセル氏病腱鞘炎
L　子宮內膜炎及ビ周圍炎
M　甚ダシキ腋臭毛蝨
N　濃漏性結膜炎重症及中等性トラホーム其ノ他重篤ナル眼疾
O　其ノ他作業ニ適セザル疾病
P　現ニ作業ニ堪ヘ得ル程度ノ疾患モ作業ニヨリ將來增惡スベキヲ認メタルモノ又ハ豫後重篤ナルモノ

五　衛生組合施設

衛生組合ニ類スル施設ハ衛生組合、衛生協議會ト稱シテ一般衛生事務ヲ處理シテ居ルガ至ッテ少ク八十三工場中施設アルモノハ次ノ五工場ニ過ギス

區分	工場名	名稱	創立年月	組合員數 會員數	役員數	役員會回數	一年間豫算
製糸業	郡是製糸株式會社津山工場	衛生協議會	大正十四年四月	二〇	二	一	
製糸業	中國蠶糸株式會社	中國蠶糸會社衛生組合	大正十一年三月	一五〇	三	六	五〇、〇〇〇圓
製糸業	河內玉萬製糸株式會社	衛生協議會	大正十五年	一五〇	六	五	
紡績業	鐘淵紡績株式會社岡山工場	衛生組合	大正六年八月	通勤職工全部	五	二	
紡績業	鐘淵紡績株式會社備前工場	衛生組合會	大正九年五月	九三五	一三	二	

六　危害豫防施設

危害設備トシテハ機械及設備ニヨル危害豫防裝置ト防火設備トデアル、危險箇所ニハ危險標、危險部朱塗注意標ヲ以テ之ヲ表示シ又ハ警句、ポスター等ノ揭示ヲ用ヒテ一般ノ注意ヲ惹クコトニ努メ機械ノ運轉開始、停轉スル時ハ振鈴ヲ鳴ラシ又ハ作業室內ニ赤電燈ヲ點ジテ合圖シ事故發生ノ場合ハ危險信號器或ハ各作業室ニ原動機其他ノ動力傳導裝置ヲ遮斷シ得ル裝置ヲナシ居ル工場アリ尙ホ危險防止講演ヲ實行シ居ルモノ拂カラズ

防火設備ニ付テモ消火器消火栓非常口等ノ設備ハ相當ニ整頓シ就中防火壁、防火扉等ヲ設備セル工場アリ、規模大ナル工場ニ於テハ殆ト瓦斯倫喞筒、蒸氣ポンプ、腕用喞筒ヲ配置シ消防隊ヲ組織シ且ツ夜間工場內外ヲ巡回セシムルモノアリ、其ノ施設工場ヲ表示スレバ次ノ通リデアル

防火設備

製糸業　郡是製糸株式會社津山工場

區分 / 種類	工場	寄宿舍	社宅
消火喞筒 種類	ガソリンポンプ、腕用喞筒	寄宿舍中央及事務所	
個數	二	二	
輕便消器 備付位置	各工場ノ火鉢ノ附近ニ馬欠同ノ軒下ニ水桶	各室ノ入口ノ廊下ニ馬欠寄宿舍ノ軒下ニ水桶	
個數	一〇	二	
防火水桶又ハ馬欠 備付位置	馬欠	馬欠	
個數	二五	七三	
貯水池 設置位置	工場敷地ノ中央	水桶	
容量	三〇〇〇石	一〇	
個數	五		
防火壁 位置	乾燥場		
個數	一		
構造	煉化		
防火扉 位置	乾燥場		
個數	一		
構造	鉄		
火見櫓ノ有無	有		
夜間工場内外巡視員數	一		
消防隊組織ノ内容	職員ヲ以テ消防團ヲ組織シ外事隊、防火隊、消火隊、避難隊、重要書類隊ニ區別シ各隊ニ隊長、副隊長ヲ置キ、外事隊ハ受付係、應接係ニ區別シ防火隊ハ消火班、警鐘係、器具係、ニ分レ、腕用喞筒係ニ分ル、器具係ハ喞筒班ニ分レ給水班ハ場内係、場外係ヨリ成ル、消火隊ハ消火係、給水班、ポース班、ガソリン類物品持出係、倉庫係ヨリナル、避難隊ハ避難係、救護係ヨリナル、重要書類隊ハ重要書類持出係、倉庫係ヨリナル、團長之ヲ總理シ副團長之ヲ補ケ傳令ヲ以テ命令ヲ傳ヘ		

製糸業　郡是製糸株式會社久世工場

區分 / 種類	工場	寄宿舍	社宅
消火喞筒 種類	ガソリンポンプ		
個數	一		
輕便消火器 備付位置	出入口		
個數	四		
防火水桶又ハ馬欠 備付位置	廊下		
個數	一〇		
防火壁 位置	廊下		
個數	六〇		
構造	コンクリート		
防火扉 位置	コンクリート		
個數	三		
構造	鉄板		
夜間工場内外巡視員數	四		
消防隊組織ノ内容	團長、庶務班、消火班、防火班、避難救護班		

製糸業　備作製糸株式會社岡山工場

消火喞筒	種類	腕用喞筒								
個數		一								
消火栓	設置位置	工場外								
個數		二								
輕便消火器	備付位置	廊下								
個數		四								
消火彈及消火銃	備付位置	廊下								
個數		一〇								
貯水池	設置位置	事務所前								
容量		一三、二八九立方尺								
個數		二								
防火壁	位置	入口								
個數		一								
構造		コンクリート								
位置		入口								
個數		一								
防火扉	構造	鉄扉								

夜間工場内		四								
外巡視員數										
消防隊	司令部	イ、電話係	ロ、警備係	ハ、点燈係	ニ、避難係	ホ、病院係	ヘ、救護係			
組織ノ	司令長	ト、工務係	チ、倉庫係	リ、仕掛品係	ヌ、重要書類係	ル、汽罐係	ヲ、賄係			
内容	副司令	ワ、消防係	(消火栓手	放水手	機械手					
	係長	カ、所外應援係	火先手	給水手	標旗手					

社宅外	一									
寄宿舎外	一									
廊下	壹〇									
廊下	四									
病院裏	四									
入口	一									
コンクリート入口	一									
鉄扉	一									

消火喞筒	種類	腕用喞筒								
個數		二								
輕便消火器	備付位置	繰糸工場、揚返工場								
個數		二								
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	繰糸工場、揚返工場								
個數		二								

夜間工場内		兼用								
外巡視員數		二								
消防隊	編成ノ大要	倉庫班 一名	炊事班 一名	統率部 一名	糸生整理班 二名					
組織ノ	救護班 一名	傳令 一名	現場部	警備班 四名	電話外事班 一名					
内容	部長 一名	外 十三名	帳簿整理班 一名	寄宿舎班 三名	合計 三〇名					

女子寄宿舎、事務所	二									
女子寄宿舎、事務所、男子寄宿舎	三									
	三									

夜間工場内		兼用								
外巡視員數		一								
消防隊	種類	ウオーシントンポンプ								
組織ノ	個數	一								
内容	備付位置	工場外								
	個數	一								
	備付位置	階下								
	個數	一								
	設置位置	階下								
	個數	一								

製糸業　中備製糸株式會社笠岡工場

輕便消火器	備付位置	入口	寄宿舍入口					
個數								
輕便消火液	備付位置	三	寄宿舍入口					
個數								
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	入口	寄宿舍外下					
個數								
貯水池	設置位置	作業以外	井戸ノ場所					
容量								
個數		五、六七〇立方尺	一八〇立方尺					
		五	一	四	一			
消火喞筒	種類	腕用喞筒	腕用喞筒					
個數		二	一					
輕便消火液	備付位置	工場内	寄宿舍廊下					
個數		五	五					
消火喞筒	種類	ウオーシントンポンプ	腕用喞筒					
個數		二	一					
消火栓	設置位置	作業場外	社宅内					
個數		一	二					
			五四立方尺					
			一					

製糸業　三河製糸株式會社備前工場

製糸業　合名會社浮田商店浮田工場

製糸業　東備製糸株式會社

防火水桶又ハ馬欠	備付位置	作業場内外	寄宿舍廊下					
個數		一〇	二六					
夜間工場内外巡視員數	消防隊組織ノ内容							
			一〇					
消火喞筒	種類	ウオーシントンポシプ						
個數		一						
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	廊下	廊下					
個數		六						

製糸業　久米製糸販賣利用組合

輕便消火液	備付位置	廊下						
個數								
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	炊事場廊下						
個數		二						
		一三						
夜間工場内外巡視員數	消防隊組織ノ内容							
		一						

製糸業　合資會社原田製糸場

輕便消火器	備付位置	廊下入口						
個數								
		三						

製糸業　中國製糸株式會社

項目	細目		
消火喞筒	種類	腕用喞筒	
	個數	一	
輕便消火器	備付位置		三
	個數		三
防火水桶又ハ馬穴	備付位置		一五
	個數		一五
防火タンク	設置位置	一	
	個數	一	
貯氷池	設置位置	一	
	容量	六〇坪	
	個數	一	
夜間工場內外巡視員數		一	
消防隊組織ノ內容			

製糸業　眞庭製糸株式會社

項目	細目		
消火喞筒	種類	腕用喞筒	豢用
	個數	一	
夜間工場內外巡視員數		二	
消防隊組織ノ內容			

製糸業　河內玉繭製糸株式會社

項目	細目		
消火喞筒	種類	手押喞筒	
	個數	一	
輕便消火器	備付位置	汽罐部及乾燥部	非常口
	個數	三	三
防火水桶又ハ馬穴	備付位置	揚場及乾繭場	
	個數	一五	
防火タンク	設置位置	乾繭部	三
	個數	二	
火見櫓ノ有無		有	

製糸業　有終製糸株式會社

項目	細目		
消火喞筒	種類	腕用喞筒	
	個數	一	
輕便消火液	備付位置	工場西部隅	
	個數	アール瓦斯 一	
防火水桶又ハ馬穴	備付位置		寄宿舍南面
	個數		二

製糸業　㊥合同製糸工場

項目	細目	
消火喞筒	種類	ウオーシントンポンプ
	個數	一

粉末消火器（備付位置）個數
防火タンク（設置位置）個數
貯水池（設置位置）容量 個數
夜間工場内外巡視員數
消防隊組織ノ内容

工場區域内中央ノ場所
工場區域内中央ノ場所 五四五立方尺
一
一
一
一

梯子段上
二

紡績業　鐘淵紡績株式會社岡山工場

消火喞筒（種類）個數
ハイドランド（設置區域）
消火栓（設置位置）個數
輕便消火器（備付位置）個數
粉末消火器（備付位置）個數
防火水桶又ハ馬欠（備付位置）個數

ガソリンポンプ 一
工場内外 三九
作業室 五四
作業室 二九
作業室内外 二七一

周圍及庭園 一
庭園其他 六
廊下其他 四一
廊下下 八
廊下及舍外 一四二

通路 六
屋外 一八一

防火タンク（設置位置）個數
防火壁（位置）個數
（構造）
防火扉（位置）個數
（構造）

汽罐室前煉瓦塔上 二
工場本舘周壁全部
煉瓦造（一枚半積）
出入口及非常口 五三
木骨鐵板張リ

北寄宿舍操の寮中央部 一
並煉瓦一枚半厚作リ
廊下中央 四
木骨鐵板張リ

夜間工場内外巡視員數 四
消防隊組織ノ内容 別紙ノ通リ

紡績業　鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場

消火喞筒（種類）個數
ハイドランド（設置區域）
消火栓（設置位置）個數
輕便消火器（備付位置）個數
粉末消火器（備付位置）個數
防火水桶又ハ馬欠（備付位置）個數

ガソリンポンプ ハイドランドポンプ 二
工場内外全部
工場内外 三一
工場内外 二三
原動部内部（砂馬欠） 七
工場内外（馬欠）二六二（永桶）四八

構内全部
構内 一三
廊下下 六二
廊下下 一
廊下外側（馬欠）三一八（水桶）四五

敷地全部
社宅構内 七
社宅塀内外（馬欠）一六六（水桶）七五

防火タンク	設置位置	精練室屋上	
個数		一	
貯水池	設置位置	工場構内	
	容量		
	個数	二	
防火壁	位置	瓦斯焼室壁、精練室境	
	個数	三	
	構造	煉瓦造	
防火扉	位置	各室出入口	
	個数	七	
	構造	木造鉄板張	

夜内工場内			
外巡視員数		二	
消防隊	組織ノ内容	工場長ハ消防指揮役トナリ防火ニ關スル全般ノ指揮命令ヲ爲シ指揮役補（工務主任）之ヲ補佐又ハ代理ス而シテ消防隊ハ左ノ十班ニ分レ各班ニハ班長及ビ數名ノ組員アリ	
		ハイドラント班	ガソリンポンプ班
		瓦斯班	工場警戒班
		外事班	運輸班
		看護班	蒸子班
		電氣班	

紡績業　鐘淵紡績株式會社備前工場

消火喞筒	種類	ガソリンポンプ、ハイドランドポンプ、スプリンクラーポンプ	
	個数	三	
ハイドランド	設置區域	工場内及構内一圓	
	個数	三四個所	
消火栓	設置位置	舊女寄宿舎一圓	
	個数	四個所	
		新女寄宿舎及男子寄宿舎	
		三	
		社宅全体	
		九	

輕便消火器	備付位置	工場内要所（輕便手押喞筒）	
	個数	四六	
輕便消火液	備付位置	舊寄宿舎事務所	
	個数	二	
粉末消火器	備付位置	工場機械係科受電所及ロープレース	
	個数	一三	
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	工場内	
	個数	（馬欠）二〇八	
防火タンク	設置位置	構内	
	個数	二	
	設置位置	構内	
貯水池	容量	河川ヨリ通ズ	
	個数	一	
防火壁	位置	工場外壁	
	個数	工場本館ノ周圍	
	構造	煉瓦造	
防火扉	位置	出入口	
	個数	三八	
	構造	一寸板三枚縦横重ネ合セ鉄力張	

夜間工場内		工場内平日ハ	
		シ休日ノ夜ニ限リ	
外巡視員数		工場外毎夜	二
消防隊	組織ノ内容		

新舊女寄宿舎、男子寄宿舎（輕便手押ポンプ）		二八	
倶樂部（輕便手押ポンプ）		二	
新舊女寄宿舎男子寄宿舎（水槽）		一七	（馬欠）八〇
社宅全体（水槽）		一〇七	（馬欠）九一
男子寄宿舎		全上	一
西及中社宅		二	
鉄筋コンクリート			

消火喞筒	種類	ガソリンポンプ、腕用喞筒									
	個數	二									
ハイドランド設置區域		工場構内									
消火栓	設置位置	四一個所									
	個數										
輕便消火器	備付位置	作業場									
	個數	四七									
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	廊下									
	個數	(水桶)一八〇									
防火タンク	設置位置	作業場内外									
	個數	(馬欠)一八									
防火壁	位置	屋上									
	個數	一									
	構造	紡織間及混打棉ト紡機間									
防火扉	位置	煉瓦造									
	個數	二									
	構造	各室出入口									
		木造鉄板張									
		二六									
夜間工場内外巡視員數		二組織ノ									
消防隊	内容	消防指揮役	消防器具檢査役	消防部方	消防器具組長	ガソリンポンプ隊	活動ス	消防器具担當員	檢査役ハ器具ノ		
		二名	一名	若干名	若干名	腕用喞筒		ハ常ニ器具ノ手入ヲナシ不備ノ点ナキ様注意ス	完否及防火裝置ノ適否ヲ檢査ス		
		一	六	一六	九九						

消火喞筒	種類	蒸氣喞筒(立体式)									
	個數	一									
ハイドランド設置區域		工場建物全部									
消火栓	設置位置	工場周圍									
	個數	六									
輕便消火液	備付位置	各									
	個數										
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	部									
	個數	二二									
防火タンク	設置位置	打綿室上階									
	個數	一									
貯水池	設置位置	工場南側									
	容量										
	個數	一									
防火壁	位置	工場南端ヨリ綿場ト捲返室境ヨリ起リテ北端ヘ走ル									
	個數										
	構造	煉瓦造									
防火扉	位置	打綿ト粗紡ノ境、精紡ト灌水、混綿ト打綿、精紡ト綿場、綿場ト灌水、原動ト打綿、綿場ト捲返、精紡ト捲返									
	個數	九									
	構造	鉄板製									
		五									
		防火戸									
		四									
		腕用喞筒									
		一									
		寄宿周圍									
		一									
		各世話係室、寄宿、事務所、通用門									
		八									
		水桶	男寄水桶								
		一四	馬欠								
		二	六								
		社宅周圍									
		三									

火見櫓ノ有無	有	
夜間工場内外巡視員數	六	消防隊組織ノ内容	別紙ノ通リ

紡績業　倉敷紡績株式會社高壽工場

消火喞筒	種類	ガソリンポンプ、腕用喞筒							
	個數	三							
ハイドランド	設置區域	作業場内							
	個數	一〇							
消火栓	設置位置	作業場週圍							
	個數	一六							
輕便消火器	備付位置	作業場内							
	個數	一四二							
輕便消火液	備付位置								
	個數								
粉末消火器	備付位置								
	個數								
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	作業場内							
	個數	四四五							
防火タンク	設置位置	作業場内							
	個數	一							
防火扉	位置	作業場各室出入口							
	個數	三三							
	構造	ドアーハンガー付生子板張							
火見櫓ノ有無		有							
夜間工場内外巡視員數		四							
消防隊組織ノ内容		消防	ガソリン組	三二名	一工場消火栓組	二〇名	一工場手押ポンプ組	二八名	
		二工場消火栓組	二〇名	二工場手押ポンプ組	二八名	寄宿舍消火栓組	二三名		
		社宅手押ポンプ組	三〇名	各組ニ組長一名、副組長一名、小頭二名、隊長一名、各消防組全部ヲ總轄ス					

寄宿建物(中層)	六	寄宿事務所内	四	腕用喞筒	一	社宅建物週圍	九	社宅事務所内	二

紡績業　倉敷紡績株式會社玉島工場

消火喞筒	種類	ガソリンポンプ、腕用喞筒							
	個數	二							
ハイドランド	設置區域	工場内一円							
消火栓	設置位置	作業室内外							
	個數	七六							
輕便消火器	備付位置	作業室内、混棉、打棉室							
	個數								
輕便消火液	備付位置	各作業室内							
	個數	五							
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	(永桶)	(馬欠)						
	個數	一一	二四七						
防火タンク	設置位置	作業室屋上							
	個數	一							

寄宿舍	一	廊下	一四	廊下	八	廊下	七	廊下	三〇
社宅内道路	一	四							

貯水池	設置位置		
	容量		
	個數		
防火壁	位置	作業室內	
	個數	八	
	構造	煉瓦造	
防火扉	位置		
	個數	一三	
	構造	金屬張扉	
寄宿舍庭內		四三、二〇〇立方尺	一

夜間工場內	作業日	一	
外巡視員數	休業日	二	
	外	一	
消防隊	組織ノ內容	消防本部隊	外事班、整理班、傳令班、禁出班
		消防部隊	ハイドランド班、消防ポンプ班、高梯子班
		工場部隊	人事班、整理班
		寄宿部隊	人事班、整理班
		救護部隊	救護班

紡績業　倉敷紡績株式會社岡山北方工場

消火喞筒	種類	ガソリンポンプ		手押喞筒
	個數	一		一
消火栓	設置位置	工場作業場一般	建物中間	井戸脇
	個數	一、九三九	二	三
輕便消火器	備付位置	作業場內外	廊下	
	個數	六四	一	

防火水桶又ハ馬欠	備付位置	作業場內外	
	個數	一八六	
防火タンク	設置位置	工場構內中央	
	個數	一	
防火壁	位置	作業場壁及外壁	
	個數	周圍及作業室每	
	構造	煉瓦造（一枚半積）	
防火扉	位置	防火壁下ノ出入口	
	個數	一六	
	構造	三枚合セ防火戸	
夜間工場內		各室內外	
外巡視員數		一二八	
消防隊	組織ノ內容	社宅居住者從業員ヲ以テ組織ス	
	組織	組長	一名
		副組長	一名
	ポンプ方	八名	小頭 二名
	用度方	二名	傳令 四名
	ホース方	五名	筒先方 二名
	建物中間	一	二
	建物中間		四

紡績業　倉敷紡績株式會社早島工場

消火喞筒	種類	ガソリンポンプ腕用喞筒		
	個數	二		
ハイドランド	設置區域	混綿、打綿、梳綿、粗紡、精紡、繊機、仕上		
消火栓	設置位置	工場內外		
	個數	六		
輕便火消器	備付位置	工場內	廊下	
	個數	一五	八	

輕便消火液	備付位置		廊下	
	個數		四〇	
防火水桶又ハ馬穴	備付位置	作業室内	室外	
	個數	九五	五	
防火タンク	設置位置	作業室外		
	個數	一		
貯水池	設置位置	作業室外		
	容量	一五六八立方尺		
	個數	一		
防火壁	位置	混、打、梳、粗、精、準、織、仕		
	個數	八		
	構造	煉瓦造		
防火扉	位置	打、梳、噺針、粗、調査、精、革準、織、仕		
	個數	九		
	構造			
火見櫓ノ有無		有		
夜間工場内外巡視員數		一		
消防隊組織ノ内容		工場工務課職員役付職工及職工内ヨリ三〇名ヲ撰抜シテ消防隊ヲ組織シ定期及臨時ニ消防演習ヲ行フ		

紡績業　近江帆布株式會社味野工場

消火喞筒	種類	ウオーシントンポンプ		腕押ポンプ
	個數	[illegible]		一
ハイドランド	設置區域	工場内外及同附近	構内建物附近	構内建物附近
消火栓	設置位置	作業場内外		
	個數	八三	八	七
輕便消火器	備付位置	作業場内外	廊下	
	個數	五八	四〇	
輕便消火液	備付位置	休憩室内	廊下	
	個數	一	一	
防火水桶又ハ馬穴	備付位置	作業場内外	廊下	
	個數	三二九	一〇五	
防火タンク	設置位置	工場中央		
	個數	一		
貯水池	設置位置	工場内外		
	容量			
	個數	一		
防火壁	位置	工場外壁及間仕切壁	寄宿舎中央	
	個數	全	一	
	構造	煉瓦造	煉瓦	
防火扉	位置	作業場之入口	寄宿舎廊下	
	個數	一五	二	
	構造	引戸自動式	巻上式	
夜間工場内外巡視員數	運轉日	一		
	休業日	七		
消防隊組織ノ内容		工場班社宅班寄宿班ノ三班ニ分ツ		

消火喞筒	種類	手押喞筒、オーシントンポンプ							
	個數	三							
ハイドランド	設置區域	構内	九個所	屋上	三個所				
	設置位置	舊五ケ所	屋上一ケ所	醫一ケ所					
消火栓	個數	新九ケ所							
	一								
輕便消火器	備付位置	舊一一	醫一	新一二					
	個數	一四							
粉末消火器	備付位置	舊	二						
	個數	四							
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	舊三四	醫一三	新二〇					
	個數	一一							
防火タンク	設置位置	汽機室屋上							
	個數	一							
貯水池	設置位置								
	容量	三四、五六〇立方尺							
	個數	一							
防火壁	位置	作業場入口							
	個數	五							
	構造	煉瓦造							
防火扉	個數	一八							
	構造	鉄板張							

夜間工場内外巡視員數	休業日　五
消防隊組織ノ内容	

消火喞筒	種類	ウオシントンポンプ、腕用喞筒							
	個數	二							
ハイドランド	設置區域	作業場外	三ケ所	屋外	七ケ所				
	設置位置	作業場内	廊下	二一					
消火栓	個數	三〇							
輕便消火器	備付位置	作業場内	廊下	二二					
	個數	二二							
輕便消火液	備付位置		廊下	一三					
	個數								
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	作業場内	廊下	二六					
	個數	三三							
防火タンク	設置位置	工場中央高所							
	個數	一							
貯水池	容量								
	個數	二							
防火壁	位置	工場各室ノ側面							
	個數	一〇							
	構造	煉瓦造							

防火扉	位置 作業場内
	個数 二二
	構造 鉄製自然閉鎖
火見櫓ノ有無	有
夜間工場内外巡視員数	作業場外一
	消防隊組織ノ内容

紡績業　株式會社半田綿行紡績部

消火喞筒	種類 ウオーシントンポンプ
	個数 一
ハイドランド	設置區域 工場内全部
輕便消火器	備付位置 各作業室
	個数 一〇
防火水桶又ハ馬欠	備付位置 各作業室
	個数 六三
防火タンク	設置位置 工場内塵突上
	個数 三
貯水池	設置位置 工場構内、構外
	容量 四〇坪
	個数 (四箇所)
防火壁	位置 作業場外壁幷ニ隔壁
	個数 一一
	構造 鉄網混凝土壁、煉瓦壁、鉄筋混凝土煉瓦壁

防火扉	位置 作業室出入口
	個数 八
	構造 鉄板張
夜間工場内外巡視員数	一
	消防隊組織ノ内容

紡績業　福山撚糸紡績株式會社倉敷支店

消火栓	設置位置 作業場出入口
	個数 二
輕便消火器	備付位置 作業場内
	個数 二
粉末消火器	備付位置 工場内
	個数 二
防火水桶又ハ馬欠	備付位置 作業場内
	個数 一〇
防火タンク	設置位置 作業場出入口
	個数 四

織物業　正織株式會社

消火喞筒	種類 腕用喞筒
	個数 二

粉末消火器（備付位置／個數）
防火壁（位置／個數／構造）

織物業　株式會社井原織物所

廊中煉瓦造　一

輕便消火器（備付位置／個數）　作業場内　一
輕便消火液（備付位置／個數）　作業場内　二
夜間工場内外巡視員數　二
消防隊組織ノ内容

寄宿舍内　一

織物業　尾崎織物株式會社

消火物筒（種類／個數）　手働物筒　一
防火水桶又ハ馬欠（備付位置／個數）　工場内　三〇
消火栓（設置位置／個數）　作業場内及入口　三

織物業　備前織物株式會社

手働物筒　工場外　五
二〇

防火壁（位置／個數／構造）　作業場内　煉瓦造　一
夜間工場内外巡視員數　一
消防隊組織ノ内容

織物業　備前織物株式會社茶屋町工場

輕便消火器（備付位置／個數）　作業場外　五
防火水桶又ハ馬欠（備付位置／個數）　作業場出入口　一
夜間工場内外巡視員數　一
消防隊組織ノ内容

織物業　岡山製織株式會社

消火栓（設置位置／個數）　染色工場ト原動室トノ中間　一
輕便消火器（備付位置／個數）　原動室及各工場ノ中間　二
輕便消火液（備付位置／個數）　事務室　一
防火水桶又ハ馬欠（備付位置／個數）　工場内　二〇

防火壁	位置
	個數
	構造
	一、二工場ト三、四工場トノ中間
	一
	煉瓦造(壹枚半積)
夜間工場内外巡視員數	
消防隊組織ノ内容	男子從業員ヲ以テ組織シ工務係組長トナリ其他消防員タリ

織物業　大塚織布工場

消火喞筒	種類
	個數
	手押喞筒
	二
輕便消火器	備付位置
	個數
	二
防火水桶又ハ馬欠	備付位置
	個數
	五
防火タンク	設置位置
	個數
	一〇
貯水池	設置位置
	容量
	個數
	工場裏手
	二
	一二、九六〇立方尺
	一
夜間工場内外巡視員數	
	二
消防隊組織ノ内容	

織物業　山陽織物合資會社

消火喞筒	種類
	個數
	腕用喞筒
	一
輕便消火器	備付位置
	個數
	作業室内
	三
	寄宿舍内
	一
輕便消火液	備付位置
	個數
	事務所内　工地内　倉庫内
	七
防火水桶又ハ馬欠	備付位置
	個數
	工場入口　工場内
	一　馬欠
	水桶
	三
夜間工場内外巡視員數	
	二
消防隊組織ノ内容	

織物業　合資會社大島工場

輕便消火器	備付位置
	個數
	工場内事務室
	一
防火タンク	設置位置
	個數
	工場前
	二
	參號室ノ西ノ隅
	一
	寄宿舍前工場裏
	一
夜間工場内外巡視員數	
	毎夜一
消防隊組織ノ内容	
	事務室北ノ隅
	一

織物業　日本綿布株式會社

織物業　井原興業株式會社

消火物筒　種類　腕用物筒
　　個數　一
輕便消火器　備付位置　作業場出入口
　　個數　二

織物業　三善織物株式會社

輕便消火器　備付位置　作業場内
　　個數　一
防火水桶又ハ馬欠　備付位置　作業場内
　　個數　一九
防火タンク　設置位置　作業場入口
　　個數　二
貯水池　設置位置　作業場外
　　容量　四〇〇石
　　個數　一

夜間工場内外巡視員數　二
消防隊組織ノ内容

織物業　中國織物株式會社

消火物筒　種類　手押物筒
　　個數　一

輕便消火器　備付位置　作業場内
　　個數　一
防火水桶又ハ馬欠　備付位置　作業場内
　　個數　一九
防火タンク　設置位置　作業場入口
　　個數　二
貯水池　設置位置　作業場外
　　容量　四〇〇石
　　個數　一

夜間工場内外巡視員數　二
消防隊組織ノ内容

織物業　日本殖産株式會社

輕便消火液　備付位置　事務所、本工場
　　個數　二
防火水桶又ハ馬欠　備付位置　工場内
　　個數　六
防火タンク　設置位置　工場出口
　　個數　一
貯水池　設置位置　寄宿舍内
　　容量　三〇石
　　個數　一

夜間工場内外巡視員數　二
消防隊組織ノ内容

織物業　高屋織物株式會社

輕便消火器　備付位置　織機工場
　　個數　三

輕便消火器　備付位置　第二工場工務室　第一工場
　　個數　四
防火水桶又ハ馬欠　備付位置　第二工場出入口及第一工場非常口
　　個數　一〇
防火タンク　設置位置　第二工場出入口及第一工場非常口
　　個數　五

夜間工場内外巡視員数	第一工場	第二工場	消防隊組織ノ内容
	一	一	

織物業　後月織物合資會社

消火喞筒	種類	腕用喞筒	
	個數	一	
輕便消火器	備付位置	工場内	
	個數	一	

織物業　山陽製織株式會社

粉末消火器	備付位置	入口	入口
	個數	五	一
防火水桶又ハ風欠	備付位置	南北兩壁	
	個數	四	二

夜間工場内外巡視員数	一	消防隊組織ノ内容	

織物業　岡野織物工場

輕便消火器	備付位置		
	個數	四	一

織物業　清松社織工場

輕便消火器	備付位置	事務所内	
	個數	一	一

織物業　山本織布工場

粉末消火器	備付位置	工場、整經場	
	個數	三	一

織物業　恵藤染織工場

消火喞筒	種類	腕甲喞筒	
	個數	三	一

織物業　第一織布合資會社

輕便消火器	備付位置	工場出入口	出入口外中央
	個數	三〇	三

織物業　小田綿糸株式會社鄉内織布工場

消火喞筒	種類	ウオーシントンポンプ	
	個數	一	一
輕便消火器	備付位置	室ノ一隅	
	個數	一	一

織物業

輕便消火器	備付位置	出入口	廊下
	個數	一	一
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	出入口	
	個數	二	二

貯水池（容量（二）坪未）個数 一

出入口外側（設置位置）

織物業　矢掛織布株式會社

輕便消火器（備付位置）個数 一　東工場出入口

織物業　大塚織物合資會社

消火喞筒（種類）個数 一　石田式

輕便消火液（備付位置）個数 一　工場内

防火タンク（設置位置）個数 三　工場内

織物業　兒島織物株式會社

輕便消火器（備付位置）個数 二

組物編物業　株式會社島田製織所

消火喞筒（種類）個数 一　腕用喞筒

輕便消火器（備付位置）個数 八　工場内外

船舶車輛製造業　三井物産株式會社造船部玉工場

消火喞筒（種類）個数 二　ガソリンポンプ、腕用喞筒

輕便消火器（備付位置）個数 五〇　工場内外

粉末消火器（備付位置）個数 二　病院、受電所

防火タンク（設置位置）個数 三一　工場内外

貯水池（容量）個数 二　工場内外

火見櫓ノ有無 有

夜間工場内外巡視員数 守衛六、消防隊二、夜警四

消防隊組織ノ内容 消防團司令一名　小頭二名　消防夫二〇名

窯業　品川白煉瓦株式會社伊部工場

消火喞筒（種類）個数 一　腕用喞筒

輕便消火器（備付位置）個数 一〇　作業場出入口

腕用喞筒 二

夜間工場内外巡視員數	二
消防組織ノ内容	

窯業　三石耐火煉瓦株式會社

輕便消火器 備付位置 個數	燒成室 二

窯業　九州耐火煉瓦株式會社伊部工場

消火喞筒 種類 個數	腕用喞筒 一
防火水桶 備付位置 個數	工場門 四
夜間工場内外巡視員數	一
消防組織ノ内容	

製紙業　岡山製紙株式會社

消火喞筒 積載 個數	汽動喞筒及腕用喞筒 三
消火栓 設置位置 個數	各作業場及原料積場全部 二九
輕便消火器 備付位置 個數	各作業場 一三

防火水桶又ハ馬欠 備付位置 個數	各作業場外及原料積場 水桶 二六　馬欠 三〇
防火タンク 設置位置 個數	工場中央 六百石入大タンク 壹個
貯水池容量 設置位置 個數	工場ノ北、西、南 三、四五〇坪
防火壁 位置 個數 構造	離洗場ト抄造場間、工場ト西原料積場間 三 煉瓦造及コンクリート造 二
防火扉 位置 個數 構造	各防火壁ノ中央 二 鉄板製
夜間工場内外巡視員數	一二
消防組織ノ内容	本社ニハ社内消防組、社外消防組ノ二隊ヲ設ケ社内消防組ハ職員及工員全部ヲ以テ組織シ社内ノ非常警戒ニ當リ消防ニ從事セシム、社外消防組ハ工員中ヨリ小頭九名、消防手三十名ヲ任用シ腕用ポンプヲ運用シテ近隣ノ火災消防ニ出援セシム法被、提灯其他ノ器具ヲ貸與シ出働手當ヲ支給ス

製紙業　天城板紙合資會社

消火栓 設置位置 個數	工場内 四
夜間工場内外巡視員數	一
消防隊組織ノ内容	

發火物製造業　株式會社中外燐寸社

消火喞筒	種類
個数	手押喞筒
一	

護謨製造業　九五足袋株式會社

消火栓	設置位置
個数	各建物外側
四	
輕便消火液	備付位置
個数	寄宿舎内
防火水桶又ハ馬欠	備付位置
個数	工場出入口外
一〇	
防火タンク	設置位置
個数	寄宿舎外側
五	

消火栓	設置位置
個数	入口右側
一	事務室、宿直室内、守衛室内、製品倉庫内、原料倉庫内、大工場内、エナメル塗室内、足袋加工室内、汽罐場内、型場内、ゴム仕上室内、ロール室内、配合室内、鉄工室内、足袋裁縫室内、食堂内
二三	鉄工室外側、足袋加工室外側、足袋裁縫室入口、配合室外
二七	

護謨製造業　鈞鑵護謨株式會社

夜間工場内外巡視員数	消防隊組織ノ内容
	會社内ニ於テノ火災ニ備ヘルベク應急ノ消防隊ヲ組織シ夫々役員ヲ定メ受持器具ヲ携帯シ現場ニ至リ活動スル如クナシアリ尚ホ附近ノ火災ニ於テハ法被ヲ着用シ派遣セシム

防火タンク	設置位置
個数	ロール室内、足袋加工室外、貯炭場外、足袋裁縫室外
四	
輕便消火器	備付位置
個数	事務室、宿直室内、守衛室内、製品倉庫内、原料倉庫内、大工場内、エナメル塗室内、足袋加工室内、汽罐場内、型場内、ゴム仕上室内、ロール室内、配合室内、鉄工室内、足袋裁縫室内、食堂内
一二三	鉄工室外側、足袋加工室外側、足袋裁縫室入口、配合室外
二七	
防火水桶又ハ馬欠	備付位置
個数	

護謨製造業　中國工業株式會社

夜間工場内外巡視員数	消防隊組織ノ内容
一	

消火喞筒	種類
個数	押進喞筒
一	
輕便消火液	備付位置
個数	作業場出入口
一〇	
防火水桶又ハ欠	備付位置
個数	原動部
五〇	
防火タンク	設置位置
個数	工場倉庫出入口
四	

護謨製造業　千里足袋株式會社

輕便消火器	備付位置
個数	作業室内
八	
輕便消火液	備付位置
個数	作業室内
一六	
防火水桶又ハ馬欠	備付位置
個数	作業室内
三〇	

防火タンク	設置位置	工場表	
	個數	六	
貯水池	設置位置	工場裏	
	容量	一〇〇石	
	個數	三	
夜間工場内外巡視員數		二	
消防隊組織ノ内容			

護謨製造業　高原護謨合資會社

防火水桶又ハ馬欠	備付位置	工場ノ表隅
	個數	壹

染料塗料顏料糊料類ノ製造業　尾崎染料製造所

防火栓	設置位置	作業場ノ出入口及室内ノ片隅
	個數	一〇ケ所
防火タンク	設置位置	作業場ノ外部
	個數	二ケ所
貯水池	設置位置	作業場ノ外側
	容量	
	個數	二ケ所
夜間工場内外巡視員數		四
消防隊組織ノ内容		各作業場ノ從業員ヲ以テ組織シ事業主ヲ組長トシ各作業場從業員ヲ互選シテホース掛、筒先掛、防火栓及タンク掛ヲ定メ平素之レガ練習ヲナシ居レリ

防火喞筒	種類	腕用喞筒
	個數	一
輕便防火器	備付位置	室内及出入口
	個數	三八
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	
	個數	三四
	（馬欠）	
貯水池	設置位置	
	容量	
	個數	二
夜間工場内外巡視員數		四
消防隊組織ノ内容		工場内ニハ職員職工ノ全員ヲ以テ消防組ヲ既設シ前記防火用諸器具ノ外梯子鳶口高張提灯救護材料等ノ備付ヲ有ス 組織ノ内容ハ組長副組長部長副部長消防技師各區長全助手警戒手小頭消防手信號係機械係繩係梯子係驚備係救護係等ニ配役シ整然タル規則ノ下ニ毎月十五日消防演習ヲ實行シツヽアリ

人造肥料製造業　大日本人造肥料株式會社岡山工場

消火喞筒	種類	手押喞筒、ガソリンポンプ
	個數	三
ハイドランド	設置區域	構内
		一六
消火栓	設置位置	構内
	個數	三六
輕便消火器	備付位置	構内
	個數	

輕便消火液	備付位置 構内
	個數 三
粉末消火器	備付位置 構内
	個數 三
防火水桶又ハ馬欠	備付位置 構内
	個數 一
貯水池	設置位置 工場側山上
	容量 七、五八九石
	個數 一
夜間工場内外巡視員數	警備 二
	補助 二
消防隊組織ノ内容	

精穀製粉業　日清製粉株式會社岡山支店工場

消火喞筒	種類 手押喞筒
	個數 一
消火栓	設置位置 構内廣場、工場各階、製品倉庫
	個數 九
輕便消火器	備付位置 工場各階、製品倉庫、休憩所、其他建物
	個數 二四
粉末消火器	備付位置 工場内、事務室
	個數 四
防火水桶又ハ馬欠	備付位置 構内（四ケ所）
	個數 四〇
夜間工場内外巡視員數	
消防隊組織ノ内容	職員及工手ノ全員ヲ二組（甲乙）ニ分チ各々受持場所ヲ定メ有事ノ際ニハ直ニ其部署ニ就クモノトス

印刷製本業　山陽新報社

消火栓	設置位置 新聞、機械工場
	個數 二
夜間工場内外巡視員數	
消防隊組織ノ内容	

印刷製本業　中國民報社

輕便消火液	備付位置 文選場
	個數 三
夜間工場内外巡視員數	
消防隊組織ノ内容	

木竹蔓莖製品業　東洋木工所第二工場

輕便消火液	備付位置 工場内
	個數 三
馬欠	備付位置 工場内
	個數 一〇
防火タンク	設置位置 物干場
	個數 二

雜工場ノ雜業　木村株式會社

輕便消火器	備付位置	作業場内
	個數	二

雜工場ノ雜業　梶村帽子原料製造工場

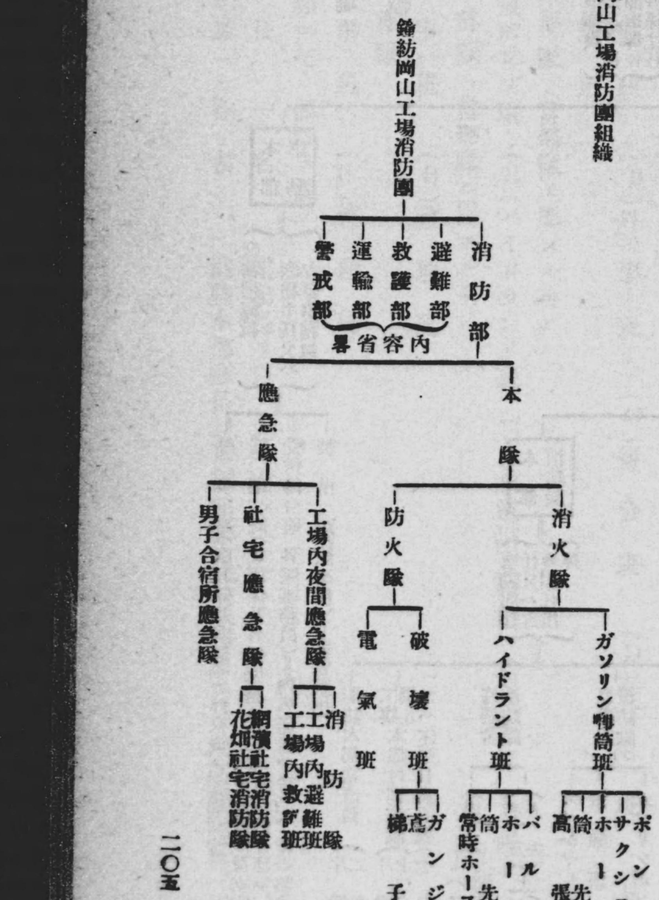
消火喞筒	種類	腕用喞筒
	個數	一
輕便消火液	備付位置	作業場内
	個數	三
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	作業場内外
	個數	二〇
夜間工場内外巡視員數		一
消防隊組織ノ内容		消防隊長　一人　鎗管手　一人　喞筒押手　八人

瓦斯業　岡山瓦斯株式會社

消火喞筒	種類	水揚喞筒直結
	個數	一
消火栓	設置位置	工場内
	個數	二ケ所
輕便消火器	備付位置	事務所
	個數	一
輕便消火液	備付位置	計量器修理工場
	個數	一

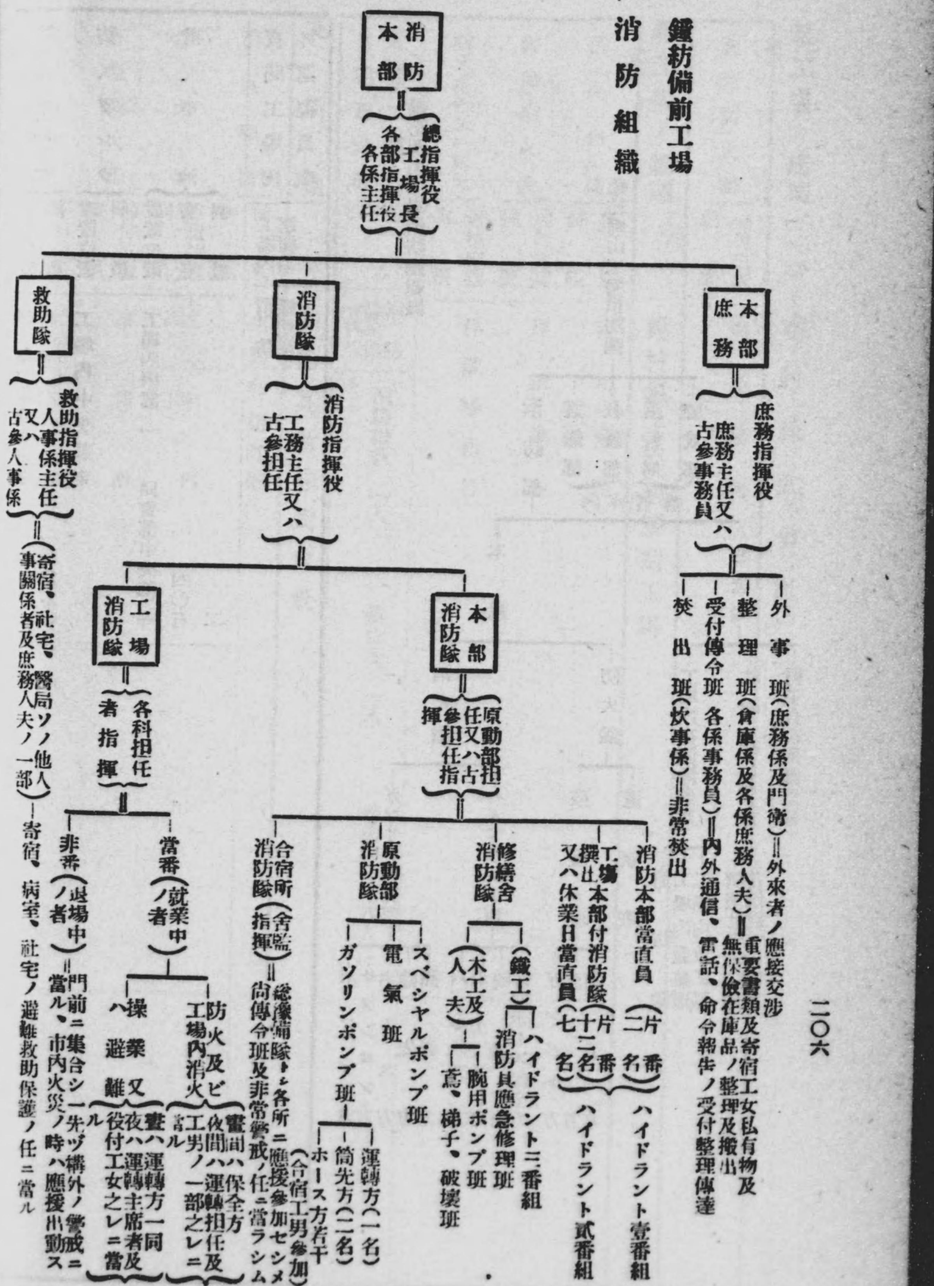
防火水桶又ハ馬欠	備付位置	窯場、事務所其他
	個數	一四（馬欠）
防火タンク	設置位置	工場内中央部東
	個數	一
貯水池	設置位置	工場内南部一　同東部中央部一
	容量	四〇石
	個數	二
夜間工場内外巡視員數	工場内巡視員	二
消防隊組織ノ内容		

鐘紡岡山工場消防團組織



鐘紡備前工場

消防組織



倉紡倉敷工場消防團規程

第一章　總則

第一條　當工場ニ火災消防團ヲ設置シ倉紡倉敷工場消防團ト稱ス

第二條　當團ニ於テハ各擔當部隊同係員ヲ定メ機械器具ヲ整備シ工場有事ノ時及ビ工場外一定ノ區域內ニ於ケル火災ノ場合消防ニ從事スルモノトス

第二章　組織係員及ビ其職務

第三條　當團ノ組織左ノ如シ

一、消防本部隊　當部隊ニ屬スルモノ

（A）記錄 班　（B）外事 班　（C）傳令 班　（D）焚出 班　（E）救護 班

（F）整理 班

二、消防部隊　當部隊ニ屬スルモノ

（A）蒸氣ポンプ班　（B）ハイドランド班　（C）水道消火栓班　（D）鳶梯子 班

三、工場部隊　當部隊ニ屬スルモノ

（A）人事 班　（B）整理 班

四、寄宿部隊

（A）人事 班　（B）整理 班

第四條　當團ニ左ノ係員ヲ置ク

一、團長　一名　工場長ヲ以テ之ニ充ツ

二、部隊長　各一名　消防本部隊長、寄宿部隊長ハ事務課長、消防部隊長、工場部隊長ハ工務課

長ヲ以ヲ之ニ充ツ、但課長缺員ノ場合ハ首席課員ヲ以ヲ之ニ代フ

三、部隊副長　若干名
四、班　長　各一名
五、副班長　若干名
六、班　員　若干名　部隊長以下ノ係員ハ工場長之ヲ任命ス

第五條　團長不在ノ時ハ本社ノ席次ニ依リ部隊長之ニ代リ部隊長不在ノ時ハ本社ノ席次ニ依リ部隊長之ニ代ル各部隊班ニ於テモ上長者不在ノ時ハ前項ニ準ジ之ヲ代行ス

第六條　各部隊長ハ團長ノ命ヲ受ケ所屬各班ノ指揮ヲ掌ル、各部隊副長ハ部隊長ヲ輔佐ス

第七條　各班長ハ團長又ハ部隊長ノ指揮ニ從ヒ所屬班ノ職務ヲ主掌ス、各副班長ハ班長ヲ輔佐ス、各班員ハ團長以下上職ノ指揮ニ從ヒ所屬班務ニ從事ス

第八條　各班ノ職務左ノ如シ

一、消防本部隊所屬

(A)記錄班ハ團ノ庶務及ビ記錄ヲ掌ル　(B)外事班ハ外來者ノ應接官公署トノ交涉等一般外部關係ノコトヲ掌ル　(C)傳令班ハ本部ヨリ發スル命令ヲ傳達スルコトヲ掌ル　(D)焚出班ハ臨時焚出ノコトヲ掌ル　(E)救護班ハ傷病者ノ救護ヲ掌ル　(F)整理班ハ事務所延燒ノ處アルトキ書類帳簿什器ノ蒐集搬出整理ノコトヲ掌ル

二、消防部隊所屬

(A)蒸氣ポンプ班ハ蒸氣ポンプニ依ル消火延燒防禦ノコトヲ掌ル　(B)ハイドランド班ハ「ハイドラント」ニ依ル消火延燒防禦ノコトヲ掌ル　(C)水道消火栓班ハ水道消火栓ニ依ル消火延燒防禦ノコトヲ掌ル　(D)梯子班ハ消火延燒防禦幷ニ火災區域ヲ局限シ區內整理ノコトヲ掌ル

三、工場部隊所屬

(A)人事班ハ工場內外有事ノ際工場勤務ノ男女職工ヲ保護シ其ノ立退キヲ處理スル等專ラ人命ノ危險ヲ豫防スルト同時ニ秩序ヲ亂サヾルコトヲ掌ル　(B)整理班ハ職工ノ立退キヲ命ジタル後機械及ビ仕掛品幷ニ記錄等ノ蒐集整理ヲ掌ル

四、寄宿部隊所屬

(A)人事班ハ職工ノ起床立退病者ノ保護等順列ヲ誤ラザル樣混雜ト危險トヲ豫防シ最モ安全ニ避難集合セシムルコトヲ掌ル　(B)整理班ハ職工ノ安寧ヲ保護シ記錄書類ノ蒐集室內備品及ビ小荷物ノ搬出整理幷ニ立退キ後ノ處置ヲ掌ル

第三章　動作

第九條　有事ノ際ハ消防團本部ヲ事務所又ハ現場ニ置ク

第十條　工場內寄宿舍社宅幷ニ其ノ附屬建物ニ非常災害アルトキハ非常電笛(亂吹)ヲ以テスヽヲ報ズ但寄宿舍社宅及ビ附屬建物ノ發火初期ノ場合ニ限リ警報ヲ以テ之ヲ報ズ

第十一條　各團員非常電笛又ハ警報ヲ聞知シタルトキハ直ニ馳附ケ各所屬部隊長ノ指揮ヲ受ケ受持部署ニ就クベシ、各團員ハ指揮者ノ命アルニアラザレバ擔當部署以外ニ行動シテ統秩ヲ缺グベカラズ、電燈所屬ノ班員ハ消防部隊長ニ從ヒ其ノ指揮アルニアラザレバ漫リニ行動スルコトヲ得ズ

第十二條　團長及ビ部隊長ハ現場ニ於テ一定ノ位置ヲ表示スルタメ晝間ハ旗、夜間ハ高張提灯ヲ以テ動作ノ連絡ヲ敏捷ナラシムベシ

第十三條　工場又ハ寄宿舍內ニ出火アリタルトキハ團長ノ許可ヲ受クルニアラザレバ各出入門ヲ開放シテ避難者ヲ出門セシメ又ハ外來者ヲ入門セシムルコトヲ得ズ、門ヲ開放シタルトキハ外事班ハ直ニ門側ニ於テ

外來者ノ受附ヲナシ消防從事員以外一切入門ヲ拒絕スベシ

第十四條　水道消火栓「ハイドランド」ノ開放又ハ蒸汽ポンプノ出動ハ必ズ消防部隊長ノ指揮ヲ受クベシ

第十五條　「ハイドランド」ノ使用數ハ通常二本ヲ限度トス但指揮者ノ意見ニ依リ三本ヲ用フルコトアルベシ若シ四本以上ヲ用フルトキハ放射能力減退スルコトヲ忘ルベカラズ、普通一箇所ノ火災ニ對シテハ唯一本ノ「ノッズル」ヲ以テ容易ニ消火ノ目的ヲ達シ得ベキモノトス

第十六條　「ノッズル」ヲ握ルモノハ現場ニアル上級隊員トス、最初水栓ヲ開クニハ必ズ「ノッズル」及「ホース」ヲ準備シタル後ニ於テ之ヲ爲スベシ

第十七條　工場以外ニ火災アリタルトキハ消防部隊長ハ團長ノ許可ヲ得左ノ範圍內ニ於テ行動スベシ

一、工場ヲ中心トシテ平地拾町以內ノ區域ナルトキ

二、前項區域外ト雖特ニ工場ト關係アル場所ナル時

第十八條　蒸氣ポンプ班工場外ニ行動スルトキハ必ズ部隊長又ハ班長ノ指揮ニ依ルモノトス

第十九條　各班員ノ動作ハ總テ敏捷、迅速ヲ旨トシ秩序ト連絡トノ保持ニ周到ナル注意ヲ用フベシ

第二十條　各部隊長ハ防火任務終了後各所屬隊員ノ點檢及器具機械ノ檢查ヲナシ後解散ヲ命ズベシ

第四章　訓練

第二十一條　團長ハ平素訓練ノタメ臨時ニ團員ヲ召集シテ演習ヲ爲サシムルコトアルベシ

第二十二條　消防部隊長ハ每月一回所屬部隊員ヲ以テ器具機械ノ整理狀況ヲ點檢シ其ノ都度結果ヲ團長ニ報告スベシ其ノ修理ヲ要スルモノアルトキハ急速完備ヲ怠ルベカラズ

第五章　報酬及給與

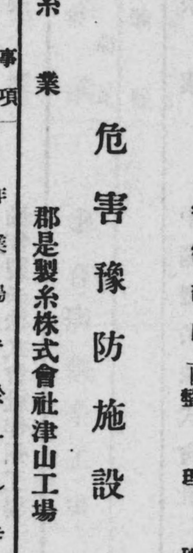
第二十三條　本團員ハ凡テ無報酬トス但團長ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時手當ヲ支給スルコトアルベシ其他ノ給與ニ關シテハ會社ノ定ムル所ニ依ル

第六章　雜則

第二十四條　本團ニ關スル總テノ記錄書類ハ工場庶務係之ヲ保管ス

第七章　附則

第二十五條　本規程ハ大正拾參年十月一日ヨリ之ヲ實施ス



危害豫防施設

製糸業　郡是製糸株式會社津山工場

區分＼事項	作業場ニ於ケルモノ			寄宿舍ニ於ケルモノ		
	設備アルモノノ作業室數	個數	設備アルモノノ棟數	設備ナキモノノ棟數	個數	
非常口	二	二	三	七	三	
警報器	二	五	三			

製糸業　備作製糸株式會社岡山工場

非常口	七		一〇	二		三
危害信號器	一		一	三		五

製糸業　備作製糸株式會社作州工場

非常口	二			二		
非常梯子	一			二		
警報器	一			一		

製糸業　中備製糸株式會社

非常口	六		一三	一		一

製糸業　中備製糸株式會社笠岡工場

非常口	七		四	二		二
警報器	一					

製糸業　三河製糸株式會社備前工場

非常口	四		五	四		八

製糸業　東備製糸株式會社

非常口		三		一	一	一

製糸業　久米製糸販賣利用組合

非常口	一	五	一	一	一	一

製糸業　合資會社原田製糸場

非常口	五	四	七	一		二

製糸業　中國蠶糸株式會社

非常口	四		四	二		四
非常梯子				二		四

製糸業　河內玉繭製糸株式會社

非常口			三			三
非常繩			三			三

製糸業　㊐合同製糸工場

非常口	三		二	一		
非常梯子			一			一
警報器			一			一

紡績業　鐘淵紡績株式會社岡山工場

紡績業	警報器	危害警報器	非常呼出器	非常梯子口
倉敷紡績株式會社倉敷工場				
倉敷紡績株式會社玉島工場		同全部ニ對シ	一三	一三
倉敷紡績株式會社万壽工場			(原動室)一	一
	(精紡)一			
	(男部)一			
	(女部)一			
	一二二四			

紡績業	警報器	危害警報器	非常呼出器	非常梯子口
倉敷紡績株式會社岡山北方工場	スプリンクラー附屬警報器(大廠下)		一四	
	四			一三
	一		一四	一二
倉敷紡績株式會社早島工場				
	四			
	四			九

紡績業	警報器	危害警報器	非常呼出器	非常梯子口
鐘淵紡績株式會社西大寺工場				
	四三	一三		
	九〇		全作業室四	七
	一七三	三四	一六	一四
	五	二八	二六	一六
	三八六			
	一	二六		一五

紡績業	警報器	危害警報器	非常呼出器	非常梯子口
鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場	(自動警報器火災警報器)一	(止危装置防護停止)一三		三三
	(自動警報器火災警報器)三〇二	(普通警報器)三三三		四五
	二二一			六六
	四	六六六		
	一			一八

非常口	三	一四	三	五		五

紡績業　近江帆布株式會社琴浦工場

非常口				六		六
非常繩				一		二
辷り台				六		六

紡績業　近江帆布株式會社味野工場

非常口	工場全部ニ對シ			九	一		三
非常梯子	同			三	一		一
危害信號器	同			二			
警報器	同			四			

紡績業　福島紡績株式會社笠岡工場

非常口	一八		三六	四		八
非常梯子				一		一

紡績業　株式會社半田綿行紡績部

非常口	四	九	六			

紡績業　福山撚糸紡績株式會社倉敷支店

非常口	二		二		一	

織物業　株式會社井原織物所

非常口	八		一六	二		三
警報器	一		一			

織物業　尾崎織物株式會社

非常口	三		三	三		三

織物業　備前織物株式會社

非常口	三	一	六		二	

織物業　備前織物株式會社茶屋町工場

非常口	四		五	一		一

織物業　岡山製織株式會社

非常口	四		八			

織物業　大塚織布工場

非常口	五			二		

危害信號器警報器	非常口	非常口	非常口	非常口	非常口危害信號器警報器	非常口非常梯子	非常口	非常口	非常口	非常口非常梯子	非常口
一	四	三	六	三	三三三	四三	二	七	四	一	五
織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業
山陽織物合資會社	合資會社大島工場	日本棉布株式會社	井原興業株式會社	三善織物株式會社	中國織物株式會社	日本殖產株式會社	高屋織物株式會社第二工場	後月織物合資會社	山陽製織株式會社	岡野織物工場	清松社織工場
一	四	三	三	六	四九一一	四三	一四	二	四	二	五
二	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	四	三	六	二三	四三	一	二	二	一	三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

非常口	非常口危害信號器警報器	非常口非常梯子	非常口	非常口	非常口	非常口非常梯子	非常口	非常口	非常口	非常口非常梯子	非常口
二	三三三	四三	六	三	一	四三	二	七	四	一	五
織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業	織物業
日本殖產株式會社	三善織物株式會社	中國織物株式會社	井原興業株式會社	日本棉布株式會社	合資會社大島工場	高屋織物株式會社第二工場	後月織物合資會社	山陽製織株式會社	岡野織物工場	清松社織工場	山陽織物合資會社
四	四九一一	四三	六	三	四	一四	二	四	二	一	五
二	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	三
二	二三	四三	六	三	四	一四	二	四	二	一	三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一

織物業	山本織布工場					
非常口 非常梯子	一	一	二	三		
織物業	惠藤染織工場					
非常口	工場全部ニ對シ		五			
織物業	第一織布合資會社					
非常口	四				四	
織物業	小田綿糸株式會社鄉内織布工場					
非常口	三	一	五	一		
織物業	矢掛織布株式會社					
非常口	二	九	一	五		
織物業	大塚織物合資會社					
非常口 非常梯子	三三	三				
製紙業	岡山製紙株式會社					

非常口 非常ニ上リ合圖警報器	九	一一	八	八	一五	
製紙業	天城板紙合資會社					
非常口 非常梯子 危害信號器 警報	六 二 一 一	一	六	六	五	
護謨製造業	九五足袋株式會社					
非常口	三	一	三			
護謨製造業	釣鐘護謨株式會社					
非常口 非常梯子	五 三	三	五			
護謨製造業	千里足袋株式會社					
非常口 危害信號器 警報器	二 一 二	五	一	二		

區分	危險標示箇所數				安全デー	安全週間		警句ポスター掲示數	危險防止講演	
業種ノ別 工場名	危險標	注意標	危險部朱塗	其他	回數	期日	回數	期日	掲示數	回數	期日
精穀製粉業 日清製粉株式會社岡山支店工場											
非常口	五										
非常梱	三										
危害信號器	五	二									
印刷製本業 中國民報社											
非常口	一	二									
雜工場ノ雜業 木村株式會社											
非常口	三										
雜工場ノ雜業 いしや足袋株式會社											
非常口	六										
雜工場ノ雜業 梶村帽子原料製造工場											
非常口	五										
危害信號器	一	四									
瓦斯業 岡山瓦斯株式會社											
非常口	七				毎週一金曜日						
製糸業 郡是製糸株式會社津山工場	二					自九月廿六日至十月廿一日	二	七	一〇	一	一
郡是製糸株式會社久世工場	五					自十月二日至十月八日	三	七	一〇	一	一
備作製糸株式會社岡山工場	一五	一五				自十月二日至同月八日	五	一四	一〇	一	一
備作製糸株式會社作州工場	一〇	一〇			毎月一〇日	毎回七日間	五	五	毎月一日	一	一
中備製糸株式會社	八	二				自十月二日至十月八日	三	二〇			
中備製糸株式會社笠岡工場	五					自十月二日至十月八日	一	三〇	安全週間中		
合名會社浮田商店浮田工場	八					十一月二日ヨリ一週間	一	五〇			
三河製糸株式會社備前工場	一五	一五				十一月二日	二五	三八			
東備製糸株式會社	三	一二			一一月二日	十一月二日	二	一〇	安全週間中	二	一一月二日
久米製糸販賣利用組合	四	八				自十月二日至十月八日	一	三六			
合資會社原田製糸場	二					自十月二日至十月八日	一	一〇			

業	物							織							業	績				紡							
井原興業株式會社	日本綿布株式會社	合資會社大島工場	山陽織物合資會社	大塚織布工場	岡山製綿株式會社	深川町工場株式會社	備前織物株式會社	尾崎織物株式會社	株式會社井原織物所	正織株式會社	倉敷山陽紡績會社倉敷山陽紡績支店	株式會社倉敷紡績部	株式會社半田綿行	笠岡工場株式會社	倉敷紡績株式會社玉島工場	近江紡織株式會社彦浦工場											
二五	一〇五	三	九	一〇	一九	四	二	一〇	三	三	三	三	五	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	八	一〇七	二〇	一五	一〇	一〇	三	二	一五	一	三	三	四五	一〇	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日
				二六											三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
															六〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
															十九九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
															月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日	月十八日

業	糸							製																			
有終製糸株式會社	會社河内紀州製糸株式	株式會社玉島製糸工場	倉敷紡績株式會社	株式會社鐘淵紡績兵庫工場	株式會社鐘淵紡績岡山紡績所	株式會社鐘淵紡績作州工場	株式會社鐘淵紡績大寺工場	西備製糸株式會社	株式會社倉敷紡績工場	株式會社倉敷紡績玉島工場	株式會社倉敷紡績岡山北方工場	株式會社倉敷紡績山陽工場	株式會社近江紡織彦浦工場	株式會社近江紡織野洲工場	株式會社倉敷紡績玉島工場	株式會社倉敷紡績岡山北方工場	株式會社倉敷紡績山陽工場	株式會社倉敷紡績早島工場	株式會社近江紡織野洲工場	株式會社近江紡織彦浦工場	株式會社倉敷紡績玉島工場	株式會社倉敷紡績岡山北方工場	株式會社倉敷紡績山陽工場	株式會社倉敷紡績早島工場	株式會社近江紡織野洲工場	株式會社近江紡織彦浦工場
八	三	八	三	三	一二六	三〇	二〇	二〇	四七	八〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一〇	八	三	三	五	二五九	三〇	三〇	三〇	四七	二〇〇	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
					五						至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日	至自十月八二日
					三〇〇						三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
					五〇〇						一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇
					十四						九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
					月						一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
					月						十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四
					日						日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

織物業	三善織物株式會社	三三	二六	三一	一七			一	自十月二日至十月八日	一七六	八〇		
	中國織物株式會社	八	八					一	自十月二日至十月八日	四	三	一	
	日本殖產株式會社	二〇	一〇	二				一			三九		
	高屋織物株式會社第二工場	七	二〇	二				一三	毎月始壹週間	五〇	六〇	一二	毎月始
	後月織物合資會社	三	一		三			一			五		
	山陽製織株式會社	六	四					一	自十月二日至十月八日		四		
	岡野織物工場	一〇	一〇			二		一	十月		二		
	清松社織工場	一〇	一〇	五	一	一		一		二	五	一	
	山本織布工場							一		五	六	一	
	惠藤染織工場	二	一	三				一					
	小田綿糸株式會社鄕內織布工場	三		二				一			四		
	矢掛織布株式會社							二			三	二	
組物編物業	株式會社島田製織所	七	七			一		一			一	一	十月十日
船舶車輛製造業	三井物產株式會社造船部玉工場							一				一	
窯業	三石耐火煉瓦株式會社							一	自十月二日至十月八日	五〇	五〇		
	九州耐火煉瓦株式會社伊部工場	三	五	一				一	自十月貳日至十月八日		五		
製紙業	岡山製紙株式會社	一八	一八					一	自十月二日至十月八日	五	八	一	十月五日
	天城板紙合資會社	一一						一					
發火物製造業	株式會社中外燐寸社	一	四	二						六	六		
護謨製造業	丸五足袋株式會社	三	三					一			一〇	一	
	釣鐘護謨株式會社	五	八	五			十一月一日	一	自十月二日至十月八日	一四	五四		
	千里足袋株式會社	三〇	三〇	二〇		三	十一月廿五日	一	自十月二日至十月八日	二〇	二〇	二	三月五日 九月五日
	高原護謨合資會社		二	二			十二月十日						
染料顏料類塗料糊料製造業	尾崎染料製造所							一					
人造肥料製造業	神島人造肥料株式會社神島工場	一〇	一〇							五	八	三	三月二十日 七月十五日 十月十五日
	大日本人造肥料株式會社岡山工場		一五〇	三四				一	自十月二日至十月八日	一四	五〇	二	
精穀製粉業	日清製粉株式會社岡山支店工場	三	五					一	十月	七	一		
印刷製本業	山陽新報社					一		一			二〇		
	中國民報社	四	五	二		一		一		五	五		

木製工業	東洋木工所第二工場	一〇	一〇						
雜工業	木村株式會社梶村帽子原料製造工場	六	八	一（毎月）三日	一	自十月二日至十月八日	二〇	一	
瓦斯業	岡山瓦斯株式會社	五	五	一	七		七	五	
		四			一		三	一〇	一
		五					七	七	

扶助救濟

七 扶助救濟施設

被傭者ノ扶助救濟施設ハ福利施設中最モ重要ナルモノニシテ業務上ノ死傷及疾病扶助、非業務上ノ死傷、疾病、扶助、職工家族ノ傷病及死亡扶助、退職者扶助、妊産婦扶助、災害救濟等ガ其ノ主タルモノデアルガ業務上ノ扶助ハ勿論非業務上ノ扶助ニ於テモ其ノ一部ハ（健康保險法、工場法）法規ヲ以テ規定サレテアル

從來ハ主トシテ會社ガ扶助規則ヲ設ケ其レニヨリテ一般從業員ノ扶助ヲナスコトガ普通デアッタガ近頃自治精神ノ進歩ト共ニ被傭者ノ組織セル共濟組合及之ニ類スル組合ノ制度漸次發達シテ此ノ制度ヲ設ケ居ル工場モ增加シ尙ホ斯ル制度ナキ工場ニ於テモ法規ニ規定セル以外ノ救濟ニ努メテ居ル

(1) 業務上ノ傷病死亡扶助及其他

業務上ノ傷病死亡ニ對スル扶助及歸鄉旅費解雇手當葬祭料ハ法定額ノ最低ヲ支給シ居ルモノ多ク今此所ニ調査セル左表（扶助救濟ノ一）ニ揭クルモノハ最低額ヲ超ヘテ支給セルモノニシテ鐘淵紡績工場ノ如キハ休業手當最低額百分ノ六十外ニ百分ノ四十即チ日給金額其ノ他扶助歸鄉旅費、解雇手當ノ如キモ同樣相當ニ支給シ居レリ

叙上以外ニ從業員ハ勿論家族ニ對シテ傷病ノ見舞金、無料又ハ實費治療、死亡弔慰金、香奠、退職ノ年金姙産婦ノ出産祝儀、助産料、兵事應召手當、災害見舞金、冠婚ノ祝儀等ニ付テ扶助シテ居ルモノヲ擧グレバ次表（扶助救濟ノ二）ノ通リデアル

扶助救濟ノ一

（傷病死亡扶助）

製糸業　郡是製糸株式會社津山工場（工場法、健康保險法ニヨル最小扶助規定額以上ヲ扶助セルモノ）

區分＼事項	支給人員	支給總額	最高率
休業扶助料	四	八、〇〇〇円	百分ノ二十
歸鄉旅費	六	二三二、五八	

製糸業　郡是製糸株式會社久世工場

解雇手當	一	三〇円	
歸鄉旅費	二	一五	

製糸業　東備製糸株式會社

休業扶助料	一〇	六七、〇七円	百分ノ二十

製糸業　河内玉繭整理株式會社

休業扶助料	六	百分ノ二十	五円	
葬祭料	二	四〇		
解雇手當	二	二〇		
歸鄉旅費	一〇〇	百分ノ二十	五〇	

紡績業　鐘淵紡績株式會社岡山工場

休業扶助料	二	百分ノ四十	二二八、八三円	
障害扶助料	一	四四八、四〇	二百二十日分	

紡績業　鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場

休業扶助料	二〇	百分ノ四十	一三二、三九円	
障害扶助料	一	一三一、〇〇	二百二十日	

紡績業　鐘淵紡績株式會社備前工場

休業扶助料	一六	百分ノ四十	一九四、三六円	

紡績業　鐘淵紡績株式會社西大寺工場

休業扶助料	一二	百分ノ四十	七九四、三二円	
障害扶助料	一一	一〇四、〇〇〇	二十日分	
		九十日分		

紡績業　倉敷紡績株式會社萬壽工場

休業扶助料	一五	百分ノ十	一〇五、九一円	
障害扶助料	二	九二、四〇		
葬祭料	四	八〇、〇〇		
解雇手當	二四	三九〇、一五		

紡績業　倉敷紡績株式會社玉島工場

休業扶助料	五二	百分ノ十	七七、八四円	
障害扶助料	一	六三、〇〇	九十日	

紡績業　倉敷紡績株式會社北方工場

休業扶助料	三	百分ノ二十	一三、五六円	
障害扶助料	三	七六、四〇	三十日分	
解雇手當	二七	六四四、四一	十四日分	

紡績業　倉敷紡績株式會社早島工場

休業扶助料	二五	百分ノ二十	三〇五、八一円	
障害扶助料	二	四三二、〇〇		

紡績業　福島紡績株式會社笠岡工場

休業扶助料	八	百分ノ二十	五七、四〇円	
障害扶助料	一	一九〇、〇〇	百九十日分	

織物業　株式會社井原織物所

休業扶助料		六	一一、一〇	円		
織物業	井原興業株式會社					
葬祭料 解雇手當	二 八					
織物業	岡野織物工場					
歸郷旅費	三〇					
織物業	惠藤染織工場					
解雇手當 歸郷旅費	二〇 五		一、七八五、七〇 一五、〇〇	円	平均收入三ケ月分	
織物業	大塚織物合資會社					
葬祭料	一		一〇〇	円		
人造肥料製造業	大日本人造肥料株式會社岡山工場					
休業扶助料	一		一〇三、七四	円		
精穀製粉業	日清製粉株式會社岡山支店工場					
休業扶助料 解雇手當	九 一八		八九、七七 一、四七七、六〇	円	百分ノ三十 百四十一日弱	

扶助救濟ノ二（工場法健康保險法關係ノモノヲ扶助セルモノ）

製糸業　郡是製糸株式會社津山工場

區分	事項	職工	職工家族		
		支給（受應）人員	總金額	支給（受應）人員	總金額
傷病者扶助	見舞金	二二	一〇四、二二 円		
	無料診斷				
	實費治療	七四	二八三、九八		
	扶助				
死亡扶助	弔慰金	八	三三〇、〇〇		
	埋葬料				
	香奠				
	社葬				
休業手當		七	二二三、五〇		
産出産祝儀			一四〇、〇〇		
産出産扶助	助産料	七			
	分娩必要品給與		二〇		
見舞金		二			
傳染病ニ依ル交通遮斷手當					
災害扶助					
罹災者ノ必要品給與					
祝儀					
冠婚葬祭					
物品給與		一八	一三六、八〇		
其ノ他					

郡是製糸株式會社久世工場

死亡扶助				災害扶助			冠婚救済		
弔慰金	埋葬料	香奠	社葬	見舞金	傳染病ニ依ル交通遮斷手當	罹災者ノ必要品給與	祝儀	物品給與	其ノ他
							三		
							三〇、〇〇円		
		一〇		三					
		三〇円		九					

備作製糸株式會社岡山工場

傷病者扶助				死亡扶助			
見舞金	無料診斷	實費治療	診療扶助	弔慰金	埋葬料	香奠	社葬
二		三〇三	四〇三			七	
一〇、〇〇円		六〇、〇〇	五六〇、〇〇			三〇、〇〇	
				二			
				四〇円			

兵事應召扶助				姙產出產扶助				冠婚救済		
入營餞別	勤務演習入營手當	簡閲点呼出席手當	兵事應召中ノ家族手當	休業手當	出產祝儀	助產料	分娩必要品給與	祝儀	物品給與	其ノ他
一							一	二		
一〇							一〇	一三〇		

中備製糸株式會社

傷病者扶助				死亡扶助				退職扶助		
見舞金	無料診斷	實費治療	診療扶助	弔慰金	埋葬料	香奠	社葬	養老一時金	養老年金	退職慰勞金
四						二三				一
一九一、八六円						七九、六八				七九二、九五
一二										
一二、六五円										

製糸業　合資會社原田製糸場

	祝儀	冠婚葬祭	物品給與	其ノ他
四				

	弔慰金	死亡埋葬料	扶助	香奠	葬社
八					

	見舞金	災害扶助	傳染病ニ依ル交通遮斷手當	罹災者ノ必要品給與
一				

	祝儀	冠婚葬祭	物品給與	其ノ他
七				

	見舞金	傷病者扶助	無料診斷	實費治療	診療扶助	弔慰金	死亡扶助	埋葬料	香奠	社葬
三										

製糸業　合資會社浮田工場

	見舞金	傷病者扶助	無料診斷	實費治療	診療扶助	弔慰金	死亡扶助	埋葬料	香奠	社葬
五										

	入營餞別	兵事應召扶助	勤務演習入營手當	簡閲点呼出席手當	兵事應召中ノ家族手當	休業手當	産出産扶助	出産祝儀	出産扶助	分娩必要品給與	祝儀	冠婚葬祭	物品給與	其ノ他
二														

製糸業　三河製糸株式會社備前工場

	弔慰金	死亡埋葬	料	香奠	社葬
九					

製糸業　河内玉繭製糸株式會社

	見舞金	傷病者扶助	無料診斷	實費治療	診療扶助
一五					

紡績業

鐘淵紡績株式會社岡山工場

扶傷病助者	災害扶助	扶産	扶兵事應召	退職扶助	死亡扶助
診療無見料	罹災者ノ必要品給與	分娩必要品給與	傷病ニ依ル交通遮金	出産祝儀當	休職兵事關係ノ者ニ對スル應召中ノ家族手當	勤務演習召集ノ際ノ手當	入營別金	退職老養金	埋葬料
二	二	二	一	一	一	葬慰
一、三〇四、八〇〇	一〇〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	二一〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	金
診斷料ハ總テ無料制度トス						弔慰金
一、四五〇						
三六七、五〇						

紡績業

鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場

扶傷病助者	寡婦孤兒救助物品	扶産	扶兵事應召	退職扶助	死亡扶助
診療無見料	罹災者ノ必要品給與	分娩必要品給與	傷病ニ依ル交通遮金	出産祝儀當	休職兵事關係ノ者ニ對スル應召中ノ家族手當	勤務演習召集ノ際ノ手當	入營別金	退職老養金	埋葬料
舞	品	娩	病ニ依ル	産	職兵事關係	召中ノ	營	職	葬
扶治診	ノ給與	必要品給與	交通	祝儀當	家族手當	出ノ際ノ手當	入營	老	慰
助療斷金	他ノ救恤金品給與	産婦ニ對スル必要品給與	傷病ニ依ル交通遮金	出産祝儀當	休職兵事關係ノ者ニ對スル應召中ノ家族手當	勤務演習召集ノ際ノ手當	入營別金	退職老養金	埋葬料	弔慰金
九二〇	三三	六	一	一	一	四	一	一	一	一
五、六六、四七	六三、九〇	八〇、七六	一、九一三	二三三	一四四、五七	一、九四二、一〇	一三九	二	二	二

鐘淵紡績株式會社備前工場

冠婚葬祭	災害扶助	扶産助	扶兵事扶助	退職扶助	死亡扶助	扶傷病扶助
其ノ他ノ給與	物品ノ給與	祝儀	罹災者ノ必要品給與	斷傳染病ニ依リ交通遮斷ノ爲メ災害手當ヲ給スル場合ニ於ケル見舞金	分娩必要品給與料	助産	出産祝儀	休業手當	兵事關係者ノ召集中ノ家族ニ對スル手當	簡閲點呼ノ爲メ出席ノ場合ニ於ケル手當	勤務演習召集ノ爲メ入營ノ場合ニ於ケル手當	入營別離金	退職給與金	老養老金	一時慰藉金	疲勞回復ノ爲メ年一回ノ休養ニ對スル手當	埋葬料	香奠	弔祭料	扶助料	療養ノ爲メ扶助ヲ受ケタル者ノ數	療養ノ爲メ扶助ヲ受ケタル者ニ對スル診察料	無料診察ノ爲メ扶助ヲ受ケタル者ノ數	無料診察ノ爲メ扶助ヲ受ケタル者ニ對スル診察料	斷金
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
二一四七	一五	一四	七	七	一六二二	六一五	一四																		
一三〇三一〇〇	一四九八二	四四〇〇	九三九四	二一二〇七四	二一二七〇〇	六三六三五	二一七四五七四	七三〇〇〇	一七八〇〇〇	三一八〇〇	七三	二	一四六〇〇	三〇〇〇	二九〇〇
退職后年金																									
二一九〇	三三		六五五	一五三	六九六	一六																			
二五〇七〇	二五三一〇	二五五〇	八	一一一六六三六七	一一七二七〇	三一七〇七																			
八七七	二三〇	二	二九																						
九七九六九	三〇〇〇	二二三〇〇	二九〇〇																						

傷病者扶助	見舞金	負傷者期末見舞	一四	四六七、八九	四二、〇〇	九
	無料診斷實費治療扶助			一、五八五、〇〇		
死亡扶助	弔慰金		八			
	埋葬料	死亡退社後ノ香奠	二七	四八、〇〇		三五
	香奠					
退職扶助	養老一時金			二、〇六〇、〇〇		
	養老年金			一〇、〇〇〇		
	退職慰勞金		八	七八、四七		
	入營餞別		五	一〇、九一		
兵事應召扶助	勤務演習入營手當		二			
	簡閱点呼出席手當	教育召集		五三七、〇〇		二
	兵事應召中ノ家族手當		一四			
災害扶助	見舞金					
	傳染病ニ依ル交通遮斷手當					
	罹災者ノ必要品給與					
祝儀	冠婚救濟物品給與		一二			
其ノ他						

備考　傷病者扶助欄中見舞金ノ中ニハ普通見舞金四人七、〇〇〇円并濟組合扶助料七一人四六〇、八九円ヲ含ム

傷病者扶助	見舞金					
	無料診斷實費治療扶助			八、四五〇、二〇円		四〇六
死亡扶助	弔慰金		六	九〇、〇〇		
	埋葬料					
	香奠		二	四〇、〇〇		
	社葬					
退職扶助	養老一時金					
	養老年金					
	退職慰勞金		二四六	二四、九一三、二一		
	入營餞別		五	二五、〇〇		
兵事應召扶助	勤務演習入營手當			八四、九二		
	簡閱点呼出席手當		五			
	兵事應召中ノ家族手當					
災害扶助	見舞金			三五、〇〇		
	傳染病ニ依ル交通遮斷手當					
	罹災者ノ必要品給與		三			

倉敷紡績株式會社玉島工場

退職扶助 退養養	死亡扶助 社香埋弔	扶傷病 診實無見
職老老	葬慰	療費料舞
慰一一		扶治診
勞年時		
金金金	葬奠料金	助療斷金
三二二	一〇八	三三
	二	
二五、二一〇	四〇、〇〇	三三、四〇
	三四九、〇〇四	七六四、四四
	二八七	二八七

災害救助 罹災者、手荒ク落莉 必要品給與	退職扶助 退養養	死亡扶助 社香埋弔
依舞ル交通	職老老	葬慰
金金金	慰一一	慰
金金金	勞年時	
金金金	金金金	葬奠料金
五一四	四	
三四、三九二、二九	八〇、四四	
八二、四〇	〇〇	

倉敷紡績株式會社岡山北方工場

退職扶助 退養養	死亡扶助 社香埋弔	扶傷病 診實無見
職老老	葬慰	療費料舞
慰一一		扶治診
勞年時		
金金金	葬奠料金	助療斷金
九八	二四	二八
五、七二九、〇一	二八、〇〇	六三、四八七
	三	二、五五四
	〇〇、〇〇六	一、一四二、四五

倉敷紡績株式會社早島工場

死亡扶助 社香埋弔	扶傷病 診實無見
葬慰	療費料舞
	扶治診
葬奠料金	助療斷金
二	
四〇、四	三三、四〇
	一三五
	六〇五、四一一

紡績業　株式會社半田綿行紡績部

見舞金	災害扶助	傳染病ニ依ル交通遮斷手當	罹災者ノ必要品給與
六			
八一円			
二四六			

紡績業　近江帆布株式會社琴浦工場

弔慰金	死亡扶助	埋葬料	香奠	社葬
養老一時金	退職扶助	養老年金	退職慰勞金	
入營餞別	兵事應召扶助	動務演習入營手當	簡閲点呼出席手當	兵事應召中ノ家族手當
出産祝儀	出産扶助	休業手當	分娩必要品給與	
二	一	七	二	
五五〇、九四円				
一〇、〇〇				
三、七七				
六、二七				
五				
四六円、〇〇				

紡績業　福島紡績株式會社笠岡工場

弔慰金	死亡扶助	埋葬料	香奠	社葬
一				
二五円				
二				
五円				

見舞金	傷病者扶助	無料診斷	實費治療	診療扶助
弔慰金	死亡扶助	埋葬料	香奠	社葬
養老一時金	退職扶助	養老年金	退職慰勞金	
入營餞別	兵事應召扶助	動務演習入營手當	簡閲点呼出席手當	兵事應召中ノ家族手當
出産祝儀	出産扶助	休業手當	分娩必要品給與	
二七二				
二七二				
七				
五二二円三一				
八八、〇〇				
六				
三九〇円、〇〇				
一〇、二六				
九六、〇〇				
一三				

弔慰金	埋葬料	死亡扶助 香奠	社葬	入營餞別	兵事應召 動務演習入營手當扶助	簡閲点呼出席手當	兵事應召中ノ家族手當	祝儀	冠婚救濟 物品給與	其ノ他
		三						一二		
		一四	六円							
			一〇							
			八、五〇〇円							

弔慰金	埋葬料	死亡扶助 香奠	社葬	養老一時金	養老年金	退職扶助 退職慰勞金	祝儀	冠婚救濟 物品給與	其ノ他
		一				九四			
		一〇五	三円						
		二五							

見舞金	傷病者扶助 無料診斷	實費治療	診療扶助	祝儀	冠婚救濟 物品給與	其ノ他
五						
二五円						
五〇						

弔慰金	埋葬料	死亡扶助 香奠	社葬	入營餞別	兵事應召 動務演習入營手當扶助	簡閲点呼出席手當	兵事應召中ノ家族手當	祝儀	冠婚救濟 物品給與	其ノ他
										四

織物業	死亡扶助 証書 埋葬料 弔慰金	扶傷病助者 診療資料 扶治診 助療斷金 実見 無見	織物業	死亡扶助 証書 埋葬料 弔慰金	扶傷病助者 診療資料 扶治診 助療斷金 実見 無見
			高屋織物株式會社		
	六	六		一	一
	三〇〇	二四、五五円		五〇〇	一九、八〇〇
			山本織布工場		
				一	一
				五〇〇	一九〇〇

織物業	退職扶助 退職老年時金	扶傷病助者 診療資料 扶治診 助療斷金 実見 無見	織物業	災害扶助 罹災者ノ必要品給貸	扶傷病助者 傳染病ニ依ル交通遮斷 実見 無見
矢掛織布株式會社			蔦藤染織工場		
	五	一〇		四	二
	一一〇〇	五〇円		四、〇〇〇	一五〇〇

船舶車輛製造業	災害扶助 罹災者ノ必要品給貸	扶傷病助者 傳染病ニ依ル交通遮斷 実見 無見
三井物産株式會社造船部玉工場	(類燒)	
	一六	
	一一〇〇円	

弔慰金	埋葬料	香奠	死亡扶助	社

護謨製造業　九五足袋株式會社

見舞金	無料診斷	實費治療	傷病者扶助	診療扶助	弔慰金	埋葬料	香奠	死亡扶助	貸
七				七				二	

弔慰金	埋葬料	香奠	死亡扶助	貸	養老一時金	養老年金	退職扶助	退職慰勞金

護謨製造業　鈎鑓護謨株式會社

弔慰金	埋葬料	香奠	死亡扶助	貸	養老一時金	養老年金	退職扶助	退職慰勞金
三								六

見舞金	無料診斷	實費治療	傷病者扶助	診療扶助	弔慰金	埋葬料	香奠	死亡扶助	貸
七				七				二	

入營餞別	兵事應召扶助	動務演習人營手當	簡閱点呼出席手當	兵事應召中ノ家族手當
				二

護謨製造業　千里足袋株式會社

見舞金	無料診斷	實費治療	傷病者扶助	診療扶助
三				

人造肥料製造業　合資會社神德組

見舞金	無料診斷	實費治療	傷病者扶助	診療扶助
二				

人造肥料製造業　大日本人造肥料株式會社岡山工場

弔慰金	埋葬料	香奠	死亡扶助	貸
六				

二五二	七四〇円	八	二五二	七〇円	三〇〇	六〇	六〇円	一四	六〇	三〇円	三〇	二〇円	二	二五三	二四五、〇〇〇円

業糸製 ＼ 區分 ＼ 工場名	組合員數	資格組合員ノ	役員數	會社ノ補助リ金額一ケ年ノ	一組ケ月合會費員	シーズン一年間ニ救濟金額	資金
會社内幸繭製糸株式	二二〇	男女職工	六	二〇〇、〇〇〇	五〇、	一五〇、〇〇	八〇〇、〇〇
共愛會	一二〇	從業全部	二〇		一〇、	一六九、九四	三〇〇、〇〇円
救式中會會社繭糸株	一五〇	從業全部	二〇		一〇、	一六九、九四	三〇〇、〇〇円
東備製糸株式會社	二六	男子從業員	四	二〇〇、〇〇円	一〇、	二四〇、〇〇	
浮田合名會社浮田商店工場	二五〇	自製糸部從業	二		實入ニ付一〇、〇〇円	二一〇、〇〇円	

救濟組合

工場ノ雜業 ＼ 傷病助者	診療費無見	料飼	治診	斷療金助
梶村帽子原料製造工場	七			
	三六			

木竹莖蓁製品業 ＼ 傷病助者	診療費無見	料飼	治診	斷療金助
東洋木工所第二工場	一			
	五四			

冠婚葬祭 ＼ 扶兵事應助召	退職扶助 ＼ 養養	扶養出産助費 ＼ 分娩必要品給與料	扶兵事應助召 ＼ 入
其ノ他物品販賣	退職老一時金	休業出産手當	勤務演習入營餞別
常備兵應召中ノ家族手當	老一時金	出産祝手當	簡閲點呼出營手當
四	九	四	一七
九四〇	五六八四〇	一四〇	二二六
			六〇七一八

日清製粉株式會社岡山支店工場

日清製粉株式會社岡山支店工場

紡績業							
鐘淵紡績株式會社	鐘紡共濟組合	一、一九九	一般從業員	五二、〇〇〇、〇〇円	特別組合員給料百分ノ三	一、七一〇、七八円	一、二〇、四三、八八円
鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場	鐘紡共濟組合	一、四二六	一般從業員	五	一、七七六、六一	九五、三五円	二、九二〇、八九
鐘淵紡績株式會社西大寺工場	鐘紡共濟組合西大寺支部	六六五	從業員全部	五	貸金ノ千分ノ三	五一三、八七	一、八〇、〇〇〇、〇〇
倉敷紡績株式會社倉敷工場	倉紡交友會倉敷支部	一、三四〇場	倉紡倉敷工從業員	六四	一、九九〇、〇〇	一〇	三、二六、〇〇
近江帆布株式會社味野工場	近味共濟會	一、五一四	當工場從業員一同	一六	九八二、三二	八一、八六	一、三九八、〇九
近江帆布株式會社澤浦工場	近紡共濟會	六五〇	當工場職工	五	八〇、九〇	入會金 三〇	三〇、〇〇
窯業製品製造業							
株式會社中外耀土物業	鐵友會	一五二	工員	一一	時々寄附行爲	六〇、八〇	二五八、〇〇
尾崎染料製造所染料製造部	共濟會	九五	職工	二二		一〇	一六〇、〇〇
大日本人造肥料株式會社岡山工場	大日本人造肥料株式會社岡山工場共濟組合	六二	岡山工場ニ勤務スル職工、傭員	一三	報酬日額ノ十分ノ二	五四三、一九	二四〇、〇〇
印刷業							
山陽新報社	工場共濟會	一五三	職工	二一	日給ノ三分ノ一	六〇〇、一七	組合員ノ醵金並ニ會社ノ助成金及寄附金トス
瓦斯業							
岡山瓦斯株式會社	岡山瓦斯株式會社共濟會	五七	職工長及組長外職工	七	各個日給額ノ百分ノ十五	一二五、五〇	

倉敷紡績株式會社交友會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ倉敷紡績株式會社交友會ト稱ス

第二條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ計リ品性ヲ陶冶シ智識ヲ涵養シ併テ會員ノ福利ヲ增進スルヲ以テ目的トス

第三條 前條ノ目的ヲ達セムカ爲メ學藝娯樂保健衛生金融其ノ他ノ事業ヲ行フ

第四條 本會ハ倉敷紡績株式會社從業員ヲ以テ會員トス

第五條 本會ハ本部ヲ倉敷紡績株式會社本店内ニ支部ヲ同社本店各工場高松發電所及倉敷中央病院内ニ置ク

第二章 會員ノ權利義務

第六條 倉敷紡績株式會社從業員ハ入社ノ當日ヨリ本會ニ加入スル義務アルモノトス但シ臨時雇ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 本會員ハ會費トシテ毎月金拾錢ヲ納付スヘシ但シ其ノ月ノ給料金拾圓以下ノ者ハ之ヲ免除ス
前項ノ規定ニ依ル會費ハ倉敷紡績株式會社ニ委託シテ給料支拂ノ際之ヲ控除シ本會ニ納付セシムルモノトス

第八條 本會員ハ別ニ定ムル所ニ依リ本會ノ機關及事業ニ參與スル權利ヲ有ス

第九條 本會々員ニシテ倉敷紡績株式會社ノ從業員タラサルニ至リタルトキハ本會々員タル資格ヲ喪失ス

第十條 本會々員ニシテ本會ノ目的ニ違背スル行爲アリタルトキハ委員會ノ決議ニ依リ支部長ハ之カ權利ノ一部又ハ全部停止スルコトヲ得

第三章 基金及事業費

第十一條 本會ノ基金ハ萬千百圓トシ倉敷紡績株式會社ニ預ケ入ルヽモノトス

第十二條　本會ノ基金ハ評議員ノ決議ヲ經テ會社ノ承認ヲ得ルニアラサレハ之ヲ使用處分スルコトヲ得ス
前項ノ決議ハ評議員四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ定ムルコトヲ要ス
第十三條　本會ノ事業費ハ基金利子寄附金及會費ヲ以テ之ニ充ツ

第四章　會計

第十四條　本會ノ會計年度ハ毎年十一月二十六日ニ始マリ翌年十一月二十五日ニ終ルモノトス
第十五條　本會ノ豫算及決算ハ毎年度評議員會ノ承認ヲ經テ一般會員ニ公示ス
第十六條　本會事業費ノ割當ハ別ニ定ムル所ニ依ル
第十七條　本會本部又ハ各支部ノ經費ニ過不足ヲ生シタルトキハ本部又ハ各支部ノ次年度ノ會計ニ繰越スモノトス
第十八條　本會現金出納ニ關スル事務ハ倉數紡績株式會社ニ之ヲ委託ス

第五章　役員役員ノ職勝及役員會

第十九條　會務ヲ掌リ本會ノ事務ヲ行フ爲メ左ノ役員ヲ置ク
一、本部役員　會長　一名　理事　若干名
二、支部役員　支部長　一名　幹事　若干名　委員　若干名
第二十條　役員ノ任期ハ會長理事支部長ハ二年其ノ他ハ一年トシ再任ヲ妨ケス任期ハ選擧又ハ指名ノ日ヨリ之ヲ起算ス
役員ニ闕員ヲ生シタルトキハ直ニ之ヲ補充スヘシ但シ互選役員ノ場合ハ次點者ヲ以テ補充シ次點者ナキトキハ補缺選擧ヲ行フ補闕當選者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
役員ハ其ノ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任スルマテ仍其ノ職務ヲ行フモノトス
第二十一條　會長ハ職員タル會員中ヨリ支部長之ヲ選擧ス

第二十二條　理事ハ會員中ヨリ會長之ヲ指名ス
第二十三條　評議員ハ理事支部長及支部委員ノ選出シタル幹事ノ互選ニ依ル若干名ノ幹事トス
前項ノ場合各支部ニ於テ互選スヘキ評議員ノ數ハ各支部會員ノ數ニ應シ會長之ヲ定ム但シ會員五百人以下ノ支部ニ於テハ一名トス
第二十四條　支部長ハ職員タル會員中ヨリ委員之ヲ選擧ス
第二十五條　幹事ハ委員ノ互選トス但シ支部長必要ト認ムルトキハ外ニ會員中ヨリ指名スルコトヲ得
第二十六條　委員ハ會員中ヨリ會員之ヲ選擧ス委員ノ選擧ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム
第二十七條　役員ノ職務左ノ如シ
一、會長ハ本會ヲ代表シ本規則又ハ評議員會ノ決議ニ依リ本會ニ關スル一切ノ事務ヲ總理ス
會長故障アルトキハ其ノ職務ヲ代理スヘキ者ハ理事中ヨリ會長之ヲ指名ス
二、理事ハ會長ノ命ニ依リ本會ニ關スル一切ノ事務ヲ處理ス
三、支部長ハ支部ニ於ケル一切ノ事務ヲ統轄ス
支部長故障アルトキハ其ノ職務ヲ代理スヘキ者ハ幹事中ヨリ支部長之ヲ指名ス
四、幹事ハ支部長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ分擔處理ス
五、委員ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ支部ニ於ケル重要ナル事項ヲ調査審議ス
六評議員ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ本會ノ重要ナル事項ヲ調査審議ス
第二十八條　本會ノ役員會トシテ本部ニ評議員會ヲ支部ニ委員會ヲ置ク
第二十九條　評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ本會全般ニ亘ル重要事項ヲ調査審議ス
第三十條　評議員會ノ權限左ノ如シ
一、本規則ノ改廢及本會事務執行ニ關スル規定ノ制定及改廢

二、諸建議案ノ議定
四、本會外ニ對スル意志ノ表示及達成
三、本會經營事業ノ諮問調査
五、其ノ他本規則ニ定メラレタル評議員會ノ權限ノ執行

第三十一條　評議員會ハ毎年一回定期ニ會長之ヲ招集スル會長必要ト認ムルトキハ臨時評議員會ヲ招集スルコトヲ得

評議員三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ評議員會招集ノ請求ヲ爲シタルトキハ會長ハ二十日以内ニ之ヲ招集スヘシ

第三十二條　評議員會ノ議長ハ會長ヲ以テ之ニ充ツ會長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フ

第三十三條　評議員會ノ招集ハ少クトモ開會二十一日前ニ議案收支豫算案及決算表ハ七日前ニ會長之ヲ各支部ニ通告スヘシ但シ緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條　評議員會ハ評議員過半數出席スルニアラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第三十五條　評議員會ノ議事ハ出席議員ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十六條　評議員ハ評議員三名以上會員及委員ハ當該支部ノ會員又ハ委員過半數ノ同意ヲ以テ評議員會ニ對シ建議ヲ爲スコトヲ得

建議ハ少クトモ開會十四日前ニ文書ヲ以テ會長ニ提出スヘシ但シ會員及委員ノ建議ニ限リ當該支部長ヲ經由スルコトヲ要ス

第三十七條　會長必要ト認ムルトキハ會員ヲシテ評議員會ニ參與セシムルコトヲ得但シ決議ニ加ハルコトナシ

會長又ハ支部長必要ト認ムルトキハ會員ヲシテ支部委員會ニ參與セシムルコトヲ得但シ決議ニ加ハルコト

第三十八條　委員會ハ委員ヲ以テ組織シ支部ニ於ケル重要事項ヲ審査決議ス

第三十九條　委員會ハ毎月一回支部長之ヲ招集ス支部長必要ト認ムルトキハ臨時委員會ヲ招集スルコトヲ得

委員會ハ支部長之ヲ開閉ス

第四十條　委員會ハ委員ノ過半數出席スルニアラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第四十一條　委員會ノ議長ハ支部長ヲ以テ之ニ充ツ支部長故障アルトキハ代理者議長ノ職務ヲ行フ

第四十二條　委員會ノ開催ノ日時及議案ハ少クトモ開會三日前ニ支部長之ヲ委員ニ告知スルコトヲ要ス但シ緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　委員會ノ議事採決ニ關シテハ第三十四條及第三十五條ノ規定ヲ準用ス

第四十四條　委員ハ委員會ニ對シ建議ヲ爲スコトヲ得建議ハ文書ヲ以テ委員會開會ノ日前五日迄ニ支部長ニ提出スヘシ

第四十五條　會員ハ所屬支部會員十五名以上ノ同意ヲ以テ委員會ニ對シ建議ヲ爲スコトヲ得

建議ノ手續ハ前條ノ規定ニ同シ

第六章　支部事業及其ノ分掌

第四十六條　支部ノ事業ヲ分擔處理スルタメ各支部ニ左ノ部ヲ置ク但シ支部ノ都合ニ依リ其ノ分合ヲ爲スコトヲ得

一、庶務部　二、會計部　三、學藝部　四、娯樂部　五、家庭部　六、保健衛生部

第四十七條　各部ノ事業左ノ如シ

庶務部ハ選擧ノ經過委員會評議員會等ヘ議事其ノ決議シタル事項ノ記錄ノ作成發表選擧ニ要スル準備會議招集ノ傳達及決議事項ノ公示報告入會及退會ニ關スル事項其ノ他本會ニ關スル一切ノ庶務竝ニ他ノ部ニ屬セサル事務ヲ掌ル

會計部ハ豫算收支決算其ノ他會計ニ關スル事務ヲ掌ル
學藝部ハ教育學藝ニ關スル事務ヲ掌ル
娯業部ハ會員ノ趣味娯樂ニ關スル事務ヲ掌ル
家庭部ハ會員ノ生計金融ニ關スル事務ヲ掌ル
保健衛生部ハ會員ノ保健衛生ニ關スル事務ヲ掌ル

第四十八條　各部ニ幹事若干名ヲ置ク

第四十九條　各部ノ事務ハ委員會ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ但シ支部長重要ナラサル事項ト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　各部ノ事務ハナルヘク作業時間外ニ之ヲ處理スヘキモノトス

第五十一條　各部ノ事業遂行ニ關スル細則ハ各支部ニ於テ之ヲ定ム

第七章　顧問

第五十二條　各部ニ顧問ヲ置クコトヲ得

顧問ハ支部長之ヲ推薦ス

第五十三條　顧問ハ支部委員會ニ出席シ發言スルコトヲ得但シ決議ニ加ハルコトナシ

附則

第一條　第三條及第七條ノ規定ハ昭和二年一月一日ヨリ其ノ他ノ規定ハ本規則公示ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　評議員會ニ於ケル本規則改正ノ決議ハ評議員總數ノ四分ノ三以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルコトヲ要ス

第三條　倉紡分院（高松分院ヲ除ク）及倉敷中央病院出張所ノ從業員ハ各其ノ附屬工場支部ニ高松分院ノ從業員ハ倉敷中央病院支部ニ本店實驗所倉紡圖書館及勞働科學研究所ノ從業員ハ本店支部ニ屬ス

第四條　有限責任倉敷購買利用組合從業員ニ對シテハ本規定ヲ準用シ本店支部ニ所屬セシム

交友會委員選擧規則

第一章　選擧ニ關スル區域

第一條　委員ハ各選擧區ニ於テ之ヲ選擧ス

第二條　選擧區ハ左ノ如ク之ヲ定ム

本店支部

萬壽支部	第一區（寄宿）	同	第二區（社宅）
倉敷支部	第一區（寄宿）	同	第二區（社宅）
玉島支部	第一區（寄宿）	同	第二區（社宅）
坂出支部			
松山支部	第一區（寄宿）	同	第二區（通勤）
高松支部			
早島支部	第一區（寄宿）	同	第二區（社宅）
岡山北方支部	第一區（寄宿）	同	第二區（社宅）
枚方支部	第一區（寄宿）	同	第二區（社宅）
高松發電所支部			
中央病院支部	第一區（寄宿）	同	第二區（通勤）

各選擧區ニ於テ選擧スヘキ委員ノ數ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一、一選擧區ノ會員五拾人以下　二人　　二、同百人以下　三人

同	第三區（通勤）	同	第三區（社宅）
同	第三區（通勤）	同	第三區（社宅）
同	第三區（通勤）	同	第三區（社宅）
同	第三區（通勤）	同	第三區（通勤）
同	第三區（通勤）	同	第三區（通勤）
同	第三區（通勤）	同	第三區（通勤）
同	第二區（通勤）	男子寄宿ハ社宅ノ區域ニ入ルモノトス	

三、同　二百人以下　五人　四、同二百人以上ハ五拾人ヲ增ス每ニ一人ヲ增ス
一支部カ一選擧區ナル場合ニ於テ會員ノ數五十人以下ナルトキハ前項第一號ノ規定ニ拘ハラス委員ノ數ハ三人トス
會員ノ數ノ增減ニ依リ委員數ニ異動ヲ生スルモ次ノ選擧期マテ之ヲ變更セス

第三條　投票區及開票區ハ選擧區ノ區域ニ依ル

第二章　選擧權及被選擧權

第四條　本會員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス
一、本會員トナリテ三ケ月ヲ經過セサル者
二、現ニ休業又ハ休職中ノ者
三、倉敷紡績株式會社ノ囑託ニヨリ從業スル者

第五條　本會員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ被選擧權ヲ有セス
一、男子ニ於テハ二十歲未滿ノ者女子ニ於テハ十八歲未滿ノ者
二、本會員トナリテ六ケ月ヲ經過セサル者
三、本會規則第十條ノ規定ノ適用ヲ受ケ其ノ決定アリタル日ヨリ一年ヲ經過セサル者

第三章　選擧長選擧立會人及選擧人名簿

第六條　支部長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ハ選擧長トナリ選擧會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

第七條　支部長ハ選擧長トナリ選擧區ニ付二人又ハ四人ノ選擧立會人ヲ指名スヘシ
支部長ハ選擧ノ期日前二十日ノ現在ニ依リ其ノ支部ノ各選擧區ニ於ケル有權者ニ付選擧人名簿ヲ調製スヘシ

第八條　支部長ハ選擧ノ期日前少クトモ七日間選擧人名簿ヲ縱覽ニ供スヘシ

第九條　選擧人名簿ニ脫漏又ハ誤載アリト認メタルトキハ其ノ修正ヲ支部長ニ申出ツルコトヲ得

前項ノ申立ハ選擧人名簿縱覽開始ノ日ヨリ五日以內ニ爲スコトヲ要ス

第十條　支部長前條ノ申立ヲ受ケ正當ナリト認メタルトキハ遲滯ナク名簿ヲ修正シ且其ノ旨ヲ申立人及關係人ニ通知スヘシ

第十一條　選擧人名簿ハ選擧期日ノ前日ヲ以テ確定ス

第四章　選擧

第十二條　委員ノ總選擧ハ委員ノ任期終リタル日ノ翌日之ヲ行フヲ例トス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ委員ノ任期終リタル日ヨリ十日以內ニ之ヲ行フヲ妨ケス

第十三條　支部長ハ選擧ノ期日前少クトモ十日間當該選擧區ニ於ケル投票及開票ノ日時選擧會場選擧委員數ヲ公示スヘシ

第十四條　選擧人ハ選擧ノ當日自ラ選擧場ニ至リ選擧人名簿ノ對照ヲ經タル後投票用紙ノ交附ヲ受ケ之ニ被選擧人一名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票ハ無記名トシ一人一票ニ限ル

投票用紙ニ記載スヘキ被選擧人ノ氏名ハ漢字假名ノ孰レニ依ルモ妨ナシ

投票用紙ハ支部長ノ定メタル一定ノ式ヲ要スルモノトス

第十五條　選擧人名簿ニ登錄セラレサル者又ハ自ラ被選擧人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條　投票ノ拒否ハ選擧立會人之ヲ決ス可否同數ナルトキハ選擧長之ヲ決ス

第十七條　左ノ投票ハ無效トス
一、成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
二、當該選擧區內ニ居住セサル被選擧人ノ氏名ヲ記入シタルモノ

三、一票ニ二人以上ノ被選擧人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
四被選擧人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
五、被選擧人ノ氏名ヲ自書セサルモノ
六、被選擧權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
七、被選擧人氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ業務ノ種別身分住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　投票ノ效力ハ選擧立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選擧長之ヲ決ス

第五章　當選

第十九條　委員ノ選擧ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ本組合員タル期間ノ長キ者ヲ取リ其ノ期間モ亦同シキトキハ年齡多キ者ヲ取リ年齡モ同亦シキトキハ選擧長抽籤シテ之ヲ定ム

第二十條　選擧長ハ選擧錄ヲ調製シテ選擧ノ顚末ヲ記載シ選擧立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第二十一條　當選者定マリタルトキハ選擧長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三日以內ニ之ヲ支部長ニ申出ツヘシ

第二十二條　選擧ストキ委員ノ數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選擧ヲ行フ

第二十三條　當選者當選ヲ辭シタルトキ死亡シタルトキ又ハ當選ノ期日後ニ於テ被選擧權ヲ有セサルニ至リタルトキハ第十九條第一項ノ得票者ニシテ當選者トナラサリシ者ヲ以テ順次當選者トス

前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ得ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　選擧ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選擧ノ結果ニ異動ヲ生スル虞アル場合ニ限リ其ノ選擧ヲ無效トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限リ當選ヲ失フコトナシ

第二十五條　第二十三條ノ規定ハ當選無效ト確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條　委員ニ闕員ヲ生シタルトキハ第二十三條ノ例ニ依ル

第六章　選擧又ハ當選ノ効力ニ關スル異議

第二十七條　選擧人委員ノ選擧又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ當選者確定ノ日ヨリ七日以內ニ之ヲ支部長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立アリタルトキハ支部長ハ遲滯ナク之ヲ委員會ノ決定ニ附シ其ノ決定アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ公示スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ公示ノ日ヨリ十四日以內ニ文書ヲ以テ會長ニ審査ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求書ニハ不服ノ要點理由要求及請求人ノ業務ノ種別住所年齡ヲ記載シ之ニ署名捺印シテ支部長ヲ經由シテ會長ニ提出スルコトヲ要ス

第二十八條　會長必要アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ委員會及請求人交互ニ辨駁書及答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十九條　審査請求書ノ提出アリタルトキハ會長ハ遲滯ナク審査ニ着手シ審査決定シタルトキハ文書ヲ以テ之ヲ請求人及委員會ニ通知シ且之ヲ公示スルコトヲ要ス

第三十條　委員ハ委員會又ハ會長ノ決定アルマテハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失フコトナシ

附　則

本規定ハ大正十五年十二月十四日ヨリ之ヲ施行ス

第一回ノ選擧ニ限リ倉敷紡績株式會社ノ指名セル者選擧長トナリ大正十五年十二月二十四日ニ之ヲ行フ

第一回ノ選擧ニ依リ委員トナリタル者ノ任期ニ限リ昭和二年十一月五日ニ滿了スルモノトス

本規則ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ民法ノ期間計算ニ關スル規定ヲ準用ス

昭和二年十二月末日以前ニ行ハル可キ選擧ニ限リ第四條第一號及第五條第二號ニ「本會員トナリテ」トアルヲ「倉敷紡績株式會社ノ從業員トナリテ」トシテ之ヲ適用ス

第一回ノ選擧ニ限リ第八條ノ規定ニ依ル選擧人名簿縱覽ノ期間七日ヲ四日トシ第九條第二項ニ依ル選擧人名簿修正ノ申告期間ヲ二日トシ第十二條ノ規定ニ依ル投票及開票ノ日時選擧會場及選擧スヘキ議員ノ數ニ關スル公示ノ期間十日ヲ四日トス

交友會事業費割當規則

第一條　本會事業ヲ分チテ本部事業費及支部事業費トス

第二條　本部事業費ハ豫算ノ定ムル所ニ依リ毎年度ノ基金利子會社補助金及寄附金ノ合計額ヨリ之ヲ控除ス

第三條　支部事業費ハ毎年度ノ基金利子會社補助金及寄附金ノ合計額ヨリ前條ノ規定ニ依ル本部事業費ヲ控除シタル殘額トシ其ノ十分ノ一ハ左ニ揭クル比ニ依リ十分ノ九ハ會員ノ數ニ應シ之ヲ各支部ニ配分スルモノトス

會員數	比
二百人未滿	一・〇
二百人以上四百人未滿	二・〇
四百人以上六百人未滿	三・〇
六百人以上千二百人未滿	四・五
千二百人以上二千人以上	六・〇

前項ノ規定ニ依ル會員ノ數ハ前年度末日現在ニ於ケル各支部ノ會員ノ數ヲ指スモノトス

第四條　各支部ノ會費ハ當該支部ノ收入トナシ事業費ニ繰入ルモノトス

第五條　各支部事業費ハ毎年度ノ頭初ニ於テ其ノ額ヲ算定シ年度經過後決算スルモノトス

第六條　本規則ニ年度トハ交友會規則第十四條ノ規定ニ依ル會計年度ヲ指スモノトス

附則

本規則ハ大正十五年十二月十三日ヨリ之ヲ施行ス

役員旅費規則

第一條　交友會役員職務ノ爲メ出張スルトキハ本規則ノ定ムル所ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條　旅費ハ車馬賃、汽車賃、船賃、日當及宿泊料ノ五種トス

旅費ハ順路ニ依リテ之ヲ計算ス但シ職務ノ都合又ハ天災其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ依リ順路ニ依ルコト能ハサルトキハ其ノ現ニ經過シタル通路ニ依ル

旅費ノ額ハ別表第一號ニ依リ之ヲ算出ス但シ車馬賃ハ其ノ旅程ヲ通シテ合算シ一里未滿ノ端數ハ切捨トス

第三條　宿泊料ハ夜數ニ應シ日當ハ日數ニ應シ之ヲ支給ス但シ水路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セス

第四條　乘合自動車ヲ利用シ得ヘキ區間ニ付テハ實費ニ依リ車馬賃ノ支給ハ之ヲ爲サス

第五條　特定區間ノ日返旅費ノ額ハ別表第二號ニ依ル

第六條　會長又ハ支部長必要ト認ムル場合ハ本規則ノ範圍内ニ於テ實費支給ヲ爲スコトヲ得

別表

第一號

車馬賃	汽車賃	汽船賃	日當宿泊料	日返
一里 一、〇〇	三等實費		三、五〇	五、〇〇	二、〇〇

第二號

區間	倉敷玉島間	倉敷早島間	倉敷岡山間	早島岡山間	坂出高松間	枚方大阪間
旅費額	一、五〇	一、八〇	一、五〇	一、二〇	一、五〇	一、五〇

倉紡交友會萬壽支部香料支給規程

第一條　當支部ハ會員及會員ノ一等親以内ノ家族ノ死亡ニ對シテ金拾五圓ノ香料ヲ支給ス

第二條　香料ハ一事故ニ對シ支給ヲ受クヘキモノ二人以上ノ場合ト雖一人ノミニ支給ス

第三條　支給ノ順位ハ工場法施行令第十條乃至第十二條ニ依ル

第四條　支給ノ範圍及金額左ノ如シ

會員　金十五圓也

會員ノ尊屬一等親　金拾圓也

此場合尊屬一等親トハ血屬ヲ原則トシ養家先ナルトキハ養父母ヲ、婚姻先ナルトキハ婚家先ノ父母ヲ指ス

會員ノ子ニシテ他家ニ入レルモノニハ支給セズ

內緣ハ三ヶ月以上同棲スルコトニヨリテ之レヲ配偶者ト見做ス

生後十四日以內ノ死亡者ニ對シテハ之レヲ支給セズ

第五條　香料ハ入會後三ヶ月以內ノモノニ對シテハ支給セズ

第六條　休職又ハ休業中ノ事故發生ノ場合ハ支給セズ　但シ休職又ハ休業ガ其事故ニ原因スルトキハ此限リニ非ス

第七條　事故發生後三ヶ月經過後ニ請求アリタルトキハ之レヲ支給セス

附　則

一、本規程ハ昭和二年一月一日ヨリ實施ス

但シ昭和二年三月十六日現在ニ於テ退職ノモノハ此限リニ非ズ

鐘紡共濟組合定款

（昭和二年一月一日改正）

第一章　總　則

第一條　本定款中ノ用語ノ意味ハ左ノ通リ解釋スベシ

一、會社トハ鐘淵紡績株式會社ヲ謂フ

一、醫師トハ鐘淵紡績株式會社所屬醫師又ハ特ニ會社ノ認定スル醫師ヲ謂フ

第二條　本組合ハ組合員ニシテ疾病、負傷、姙娠ニヨリ勞働能力ヲ減少又ハ喪失シタル者若クハ死亡者ノ遺族ニ對シ救濟ヲナスヲ以テ目的トス

第三條　本組合ハ鐘紡共濟組合ト稱ス

第四條　本組合ハ本部ヲ會社營業部內ニ、同支部ヲ各店內ニ置ク

第五條　本組合ハ會社保護監督ノ下ニ會社雇人ヲ以テ組織ス

第二章　組　合　員

第六條　會社雇人ハ在社中必ズ本組合員タル義務アルモノトス但シ臨時雇及短期間ノ特別契約ニヨル雇人ハ此限リニアラズ

第七條　組合員ヲ分チテ甲種特別組合員、乙種特別組合員及ビ甲種通常組合員、乙種通常組合員ノ四種トス

第八條　甲種特別組合員トハ會社雇人中月給金五十圓以上ヲ受クルモノニシテ鑛紡健康保險組合ノ被保險者タラザルモノヲ謂ヒ乙種特別組合員トハ會社雇人中月給五十圓以上ヲ受クルモノニシテ鑛紡健康保險組合ノ被保險者タルモノヲ謂フ

第九條　甲種通常組合員トハ會社雇人中甲乙特別組合員ニアラザルモノニシテ鑛紡健康保險組合ノ被保險者タラザルモノヲ謂ヒ乙種通常組合員トハ會社雇人中甲乙特別組合員ニアラザルモノニシテ鑛紡健康保險組合ノ被保險者タルモノヲ謂フ

第十條　會社雇人ニアラズシテ會社ニ關係アル者本組合ノ事業ニ贊成シ寄附金ヲナシタルトキハ之ヲ贊助員トス

第三章　組合員ノ待遇

第十一條　甲乙特別組合員ハ如何ナル組合ニ於テモ第十五條以下ニ規定スル保險料ノ免除、保險料ノ拂戻及扶助金ヲ受クルコトヲ得ズ

第十二條　甲種通常組合員ハ第十五條以下ニ規定スル保險料ノ免除及ビ扶助金ヲ受クル資格ヲ有ス但シ會社使用人病傷老衰退職恩給規則ノ適用ヲ受クル資格アルモノハ第廿七條ノ待遇ヲ受クルコトヲ得ザルモノトス

第十二條ノ二　乙種通常組合員ハ第十八條第二十條第二十一條第二十二條第二十七條ノ葬式料及第二十八條ノ葬式料ヲ除ク外第十五條以下ニ規定スル保險料ノ免除及扶助金ヲ受クル資格ヲ有ス但シ會社使用人病傷老衰退職恩給規則ノ適用ヲ受クル資格アルモノハ第二十七條ノ待遇ヲ受クルコトヲ得ザルモノトス

第四章　保險料

第十三條　組合員ハ本組合ニ對シ保險料ノ拂込ヲナスコトヲ要ス但シ扶助料ヲ受ケツヽアルモノハ此限リニアラズ

第十四條　保險料ハ毎月一回之ヲ徴收シ其額ヲ左ノ通リ定ム

一、甲種特別組合員及甲種通常組合員ハ給料月額ノ百分ノ三

二、乙種特別組合員及乙種通常組合員ハ給料月額ノ千分ノ三

第十五條　組合員中組合加入後五ヶ年以上一回モ扶助ヲ受ケサリシ者ニ對シテハ左ノ割合ニヨリ拂込保險料ノ一部ヲ免除ス

一、勤續五ヶ年ニ及ブトキハ以後三分ノ一ヲ免除ス

一、勤續十ヶ年ニ及ブトキハ以後三分ノ二ヲ免除ス

第十六條　本組合ニ既ニ拂込ミタル保險料ハ一切之ヲ返戻セザルモノトス但シ組合員ニシテ在社中一回モ扶助ヲ受ケズ左ノ事由ニヨリ組合ヲ脫退シタル者ニ對シテハ特ニ左ノ各號ノ拂戻ヲナスコトヲ得

一、會社ノ命ニヨリ會社以外ニ轉勤シタル者又ハ制裁ニ依ラズシテ會社ノ都合上解雇セラレタル者或ハ會社ト合意上辭職シタル者ニ對シテハ拂込保險料ノ全額

二、勤續三ヶ年以上ニシテ制裁ニ依ラズシテ退社シタル者ニ對シテハ拂込保險料ノ半額

三、勤續三ヶ年未滿ノ者ニシテ結婚又ハ家督相續ノタメ退社シ退社後一ヶ年以内ニ其事實ヲ戸籍謄本ヲ以テ證明シタルトキ又ハ會社ニ於テ認メタルトキハ拂込保險料ノ三分ノ一額

第十七條　第廿五條乃至第廿六條第廿八條ノ規定ニヨル扶助ハ第十五條及ビ第十六條ノ範圍内ニ於テ之ヲ扶助ト看做サズ

第五章　病氣、負傷又ハ姙娠ノ場合ニ於ケル扶助

第十八條　組合員病氣又ハ負傷ノタメ勞動不能トナリタルヨリ療養中一日ニ付當時ノ給料七分ニ相當スル扶助料ヲ給ス但シ此場合ニ於テ會社ヨリ給料ノ幾分ヲ支給

セラルルトキ其支給額ト本組合ヨリノ扶助料トヲ合シ給料全額ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十九條　前條ノ場合ニ於テ組合員會社所屬ノ病院又ハ會社指定ノ病院ニ入院シ會社費用ヲ以テ治療ヲ受ケタル場合ハ本組合ハ規定ノ扶助料ノ內十分ノ二ヲ本人ニ支給シ殘額ハ直接會社ニ支拂フモノトス

第廿條　組合加入後三ヶ月ヲ經過シタル組合員ニシテ直接扶養ノ義務アル家族アルモノニ對シテハ第十八條ノ扶助料ヲ特ニ給料全額迄增額スルコトヲ得

第廿條ノ二　組合加入後三ヶ月ヲ經過シタル組合員ニシテ直接扶養ノ義務アル家族アルモノガ鐘紡健康保險組合ヨリ傷病手當金ノ支給ヲ受クルモノニ對シテハ其ノ手當金ヲ受ケツヽアル間ハ特ニ療養中一日ニ付當時ノ給料三分ニ相當スル扶助料ヲ給スルコトヲ得

第廿一條　第十八條ノ扶助料給與期間ハ一回百二十日ヲ限リトス但シ五ヶ年以上引續キ本組合員タルモノニ對シテハ特ニ其期間ヲ百八十日迄ニ延長スルコトヲ得

第廿一條ノ二　五ヶ年以上引續キ本組合員タルモノニシテ鐘紡健康保險組合ヨリ傷病手當金ノ支給ヲ受ケザルニ至リタルトキハ爾後六十日ヲ限リ療養中一日ニ付當時ノ給料七分ニ相當スル扶助料ヲ給ス此場合直接扶養ノ義務アル家族アルモノニ對シテハ特ニ給料全額迄扶助料ヲ增額スルコトヲ得

第廿二條　組合員妊娠又ハ分娩ノタメ勞動不能トナリタル時ハ本組合ハ醫師ノ證明ニヨリ缺勤當日ヨリ一日ニ付當時ノ給料七分ニ相當スル扶助料ヲ給ス但シ救濟期間ハ分娩前三十日分娩後四十五日ヲ限リトスレドモ前後各三週間ヲ除キタル殘餘期間ハ之ヲ通算スルヲ妨ケズ

第廿三條　第十八條ノ場合ニ於テ負傷ガ本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ基クモノナルトキ又ハ病氣ガ本人過度ノ飲酒其他ノ不品行ニ起因シタルトキハ本組合ハ規定ノ救濟ヲナサザルモノトス

第廿四條　業務上ノ負傷又ハ病氣ノタメ鐘紡健康保險組合ヨリ傷病手當金ノ支給ヲ受クル者ニ對シテハ其ノ支給ヲ受ケツヽアル間特ニ從來會社ヨリ受クル賃金トノ差額ヲ扶助ス

第廿五條　業務上ノ負傷又ハ病氣治癒シタルトキニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル程度ノ身體障害ヲ存スル組合員ニ對シテハ本組合ハ本部委員會ノ決議ニヨリ左ノ區別ニ從ヒ病氣又ハ負傷手當金ヲ給ス

一、終身自用ヲ辨ズルコト能ハザルモノ
　給　料　五百日分以上六百日分以內

二、終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
　給　料　三百日分以上四百日分以內

三、從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルモノ、健康舊ニ復セサルモノ又ハ女子ノ外貌ニ醜痕ヲ殘シタルモノ
　給　料　百五十日分以上三百日分以內

四、身體ヲ障害シ舊ニ復スルコト能ハズト雖モ引續キ從來ノ勞務ニ服スルコトヲ得ルモノ
　給　料　三十日分以上百五十日分以內

第二號又ハ第三號ニ該當スルモノ引續キ會社ノ業務ニ服スルトキハ病氣又ハ負傷手當金ハ病氣又ハ負傷治癒ノトキ本人ニ給スベキ手當金ヲ記錄シ置キ本人退社ノ際之ヲ給ス

第廿六條　第廿五條第二號乃至第四號ニ該當スルモノガ病氣又ハ負傷治癒ノ際直ニ會社ノ業務ニ從事スルヲ欲セズ退社スルトキハ本組合ハ本部委員會ノ決議ニヨリ病氣又ハ負傷手當金トシテ給料五十日分以上五百日分以下ヲ給ス

第六章　死亡ノ場合ニ於ケル扶助

第廿七條　組合員病氣又ハ負傷ノタメ死亡シタルトキハ本組合ハ其ノ遺族ニ對シ左ノ各號ノ扶助ヲナス

一、葬式料　金二十圓以下

二、遺族扶助料　給料三十日分以上五百日分以下

第廿八條　業務ノタメ負傷シ又ハ病氣ニ罹リタル組合員即死シ又ハ治療中死亡シタルトキハ本組合ハ本部委員會ノ決議ニヨリ其遺族ニ對シ左ノ各號ノ扶助ヲ爲ス

一、葬　式　料　　金四十圓以下

第廿九條　組合員ノ夫又ハ妻死亡シタルトキハ本組合ハ其配偶者ニ對シ左ノ救濟ヲナス但シ死亡者組合員タルトキハ此限リニアラズ

一、弔　慰　料　　金十五圓以下

二、遺族扶助料　　給料四百日分以上七百日以下

第三十條　第廿五條乃至第廿六條第廿八條ノ規定ハ組合員ノ負傷疾病又ハ死亡ガ天災其他不可抗力又ハ會社ノ責ニ歸スベキ事由ニヨリタルモノナリト本部委員會ニ於テ認定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七章　役　員

第卅一條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

本　部　委員長　一名　委員　四名

支　部　委員長　一名　委員　四名以上　會計監督　一名

第卅二條　本部委員長、委員及ビ會計監督ハ會社社長之ヲ選任スルモノトス

第卅三條　支部委員長ハ各店工場長ヲ以テ之ニ當テ委員ノ內一名ハ委員長ノ指命ニヨリ他ハ各店組合員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

組合員ノ互選ニヨル委員ノ任期ハ二ケ年トス

第卅四條　本部委員會ハ本部委員及ビ會計監督ヲ以テ之ヲ組織ス

第卅五條　本部委員會ハ本組合ニ關スル一切ノ事務ヲ處決遂行シ會社及組合員ニ對シ其責ニ任ズ

第卅六條　支部委員長及委員ハ本部委員ノ職務ヲ輔佐シ其委任ヲ受ケタル事項ニ就テハ之ヲ處決遂行シ本部委員會及ビ其支部組合員ニ對シ其責ニ任ズ

第卅七條　會計監督ハ基金ノ會計ヲ管理シ毎月收支ノ計算表ヲ調製シ之ヲ本部委員會ニ提出スルモノトス

第八章　基　金　ノ　保　管

第卅八條　基金ハ現金ニテ一切之ヲ會社ニ預ケ入ルルモノトス

第九章　準　備　金

第卅九條　本組合ハ準備金トシテ毎年拂込保險料金額ノ十分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第四十條　準備金ハ會社ノ承認ヲ經ルニアラザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十章　雜　則

第四十一條　本組合ハ會社ヨリ毎期收入保險料ノ四分ノ一以上ニ相當スル補給金ヲ受クルモノトス

第四十二條　毎年ノ支出ガ收入保險料會社補給金及ビ基金利子合計ヲ超過スルトキハ本部委員會ノ決議ニヨリ支部委員會ノ同意ヲ得タル後會社ノ承認ヲ經テ保險料ノ增額又ハ組合員待遇ノ縮小ヲナスコトアルベシ

第四十三條　毎年ノ收入保險料會社補給金及ビ基金利子合計ガ其支出ヲ償ヒ剩餘金ガ收入保險料ノ半額以上ニ達スルトキハ本部委員會ノ決議ニヨリ支部委員會ノ同意ヲ得タル後會社ノ承認ヲ經テ保險料ノ減額又ハ組合員待遇ノ擴張ヲナスコトアルベシ

第四十四條　本組合ノ事務及會計ニ關スル廣告ハ「鐘紡ノ汽笛」又ハ「女子の友」ニ揭載シ或ハ各店工場所定ノ場所ニ揭示スベシ

第四十五條　本組合施行ニ關スル細則ハ之ヲ定ム

第四十六條　本定款ハ本部委員會ノ決議ニヨリ支部委員會ノ同意ヲ得タル後會社ノ承認ヲ經テ改正スルコトヲ得

附　則

本定款ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

以　上

合名會社浮田商店浮田工場共濟會々則

一、本會ヲ稱シテ浮田製絲部職工共濟會トス
二、本會本部ヲ製絲部事務所ニ置ク
三、會員ハ製絲部勤務者ヲ以テ組織ス
　但シ養生工ハ勘定ヲ受クル月ヨリ會費ヲ納入スルモノトス
四、會員ヲ左ノ如ク區分ス
　イ、名譽會員　事務所員、各工場教婦
　ロ、正會員　一般職工
五、本會ノ會務ヲ處理スル爲メ左ノ役員ヲ置ク
　會長　一名　幹事　若干名　庶務會計
六、役員ハ會員ノ投票ヲ以テ之レヲ定メ最高點者ヲ當選トス
　但シ同點ナル時ハ年長者ト定ム
七、役員ノ任期　會長ハ無限、其他ノ役員ハ一ケ年ヲ以テ滿期トス
八、役員中死去又ハ事故ノ爲メ本會ヲ離ルトキハ補欠選擧ヲ行フ
　但シ補欠選擧ニ於テ當選シタルモノハ前役員ノ殘任期間トス
九、會員ハ基金トシテ每月金五錢宛納入スルモノトス基金ハ每月勘定ヨリ差引クモノトス
　但シ納入濟ノ金員ハ如何ナル理由アルモ返還セサルモノトス
十、基金取扱ハ幹事之レヲ取纏メ會長之ヲ管理ス
十一、基金保管ハ銀行預金トス
十二、每年一回總會ヲ開催ス

十三、總會ニ於テハ庶務、會計報告及ビ役員ノ改選ヲ行ヒ其他必要ノ事項ヲ協議ス
十四、會員中職工トシテノ体面ヲ汚シ又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノ、當工場ヨリ退社又ハ解雇セラレタルモノ、本會ノ名譽ヲ毀損シ又ハ本會ニ對シ不利益ナル行爲アルモノハ除名ス
十五、會員大患ニ罹リタルトキ當該幹事ハ其旨本部ヘ報告シ會名ヲ以テ之レヲ見舞フモノトス
　本項ノ見舞金ハ六ケ月以上一年未滿二圓　一年以上二年未滿三圓　二年以上五圓
　但シ津山町在住者以外ハ書面ニテ之レヲ見舞フ
十六、會員若シ不幸ニシテ死亡ノ場合ハ當該幹事ハ本部ニ報告シ會員二名以上會葬スルモノトス
　本項ノ場合弔慰金ハ一年未滿五圓　二年以上拾圓　三年以上拾五圓
　但シ津山町在住者以外ハ弔文ヲ送ル
十七、會員精勤ニシテ十四項ニ該當セザル理由ノモトニ退社スル者ニ對シテハ餞別金ヲ贈ル六ケ月以上一年未滿二圓　一年以上二年未滿三圓　二年以上五圓
十八、本會基金ノ臨時支出ヲナス特別協議ヲ要スル場合ハ役員ニ於テ決定スルモノトス
十九、會員ニシテ一般職工ノ模範タルモノハ本會之ヲ表彰スルト同時ニ縣當局ヘ上申シ其善行ノ表彰方ヲ申請ス

昭和二年十一月改正

東備製糸株式會社安全委員會規定

第一條　工場内安全保持ヲ謀ルタメ東備製糸工場安全委員會ヲ組織ス
第二條　委員會ハ會長一名副會長一名委員主査四名委員八名ヨリ成ル
第三條　會長ハ現任工場長之レニ當リ委員會ヲ總括ス

第四條　副會長ハ現業主任之レニ當リ會長ヲ補佐シ委員會ヲ總括ス

第五條　安全保持ヲ左ノ四部ニ區分シ各主査ヲ置ク

一部　委員主査　宣　傳　人事係主任　　二部　委員主査　傷害豫防　工場係主任

三部　委員主査　衞　生　寄宿係主任　　四部　委員主査　火災豫防　機關係主任

第六條　委員ハ各主査ニ於テ合議ノ上社員工手中ヨリ推選シタル者ヲ會長ニ稟申シ會長之レヲ依屬ス

第七條　各部ノ職責ニ關スル細則ハ別ニ之レヲ制定セズ

第八條　委員ノ任期ハ六ケ月トシ滿期後ハ更ニ第六條ノ手續ヲ取ル但シ再任ハ妨ゲサルモ可成新任スルヲ原則トス

第九條　委員會ハ毎月一回會合シ安全保持ニツキ協議ス

但シ臨時ニ會合必要トスルトキハ會長之レヲ委員會ニ諮リ會長ノ承認ヲ經ルコト

第十條　委員會ノ事業トシテ毎月一回安全週ヲ設ケ安全ノ習慣ヲ養成ス

第十一條　會則ヲ變更セントスルトキハ主査ニ於テ合議シ之レヲ委員會ニ諮リ會長ノ承認ヲ經ルコト

近江帆布株式會社琴浦工場共濟會規約

第一條　本會ハ近紡共濟會ト稱ス

第二條　本會ハ近江帆布株式會社琴浦工場ニ勤務スル工手又ハ其遺族ノ救濟及慰藉ヲナスヲ以テ目的トス

第三條　近江帆布株式會社琴浦工場ニ勤務スル工手ハ本會々員タルベキモノトス

第四條　會員ハ左ノ場合ニ限リ脫退スルモノトス

一、死　亡　　二、解　雇

第五條　本會ヲ退脫シタルトキハ本規約ニ依ル救濟金ヲ受クル外本會ニ對シ何等ノ權利ナキモノトス

第六條　會員ハ入會金トシテ入社ノ際金參拾錢ヲ醸出スルモノトス但シ前近紡共濟會ニ會費ヲ納入セルモノハ入會金ヲ徵收セス

第七條　入會金ハ貸金支拂ノ際會社ニ於テ扣除徵收シ本會ニ送付ヲ請フモノトス

第八條　貳ケ年以上繼續シタル會員ニシテ負傷又ハ疾病ニ罹リ勤務スル能ハズ會社ニ於テ解雇ヲ許シタルトキハ評議委員會ノ決議ニ依リ金參拾圓以內ノ救濟金ヲ支給スルコトヲ得

第九條　會員ニシテ死亡シタル時ハ其遺族ニ金拾圓乃至百圓ノ救濟金ヲ支給ス

第十條　前條ノ遺族救濟金ヲ受クベキモノヽ順位ハ工場法施行令第十條乃至第十二條ヲ準用ス

第十一條　會員ニシテ天災地變其他不可抗力ノ災害ヲ被リタルトキハ金貳拾圓以內ノ見舞金ヲ贈ルモノトス

第十二條　一ケ年以上繼續シタル會員ニシテ現役兵ニ入營又ハ補充兵ノ教育召集ニ應ジタル時若クハ戰時事變ニ際シ應召シタル場合ハ餞別トシテ金拾圓乃至參拾圓ヲ支給ス

第十三條　會員ト同一戶籍內ニアル父母夫妻子死亡シタルトキ香料トシテ金貳圓乃至五圓ヲ贈ルモノトス

但シ戶籍手續未濟ノモノハ同一戶籍內ニ在ルモノト見做ス

第十四條　救濟金額ノ一件（數回ニ亘ルトモ）參拾圓ヲ超ユルトキハ總テ評議委員會ノ決議ヲ經ヘキモノトス

第十五條　本會ノ資金ハ左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

一、前共濟會ヨリ受ケタル殘餘資金　　二、會員ノ入會金

三、有志ノ寄附　　四、資金ノ利子

第十六條　本會ノ資金ハ利殖ノ爲メ會社ニ預ケ入レ利子ハ百圓ニ付一日貳錢貳厘ノ割トシ毎年四月十月ノ兩度ニ計算シ資金ニ繰リ入ヲ請フモノトス但シ金融繁閑ニ依リ利息ノ割合ヲ變更セラレタルトキハ其旨揭示シテ會員ニ周知セシム

第十七條　支給金ハ資金ガ永存シ得ベキ樣其規程ヲ計畫スベキヲ本旨トス少クトモ貳ケ年ハ評議委員會及會社ノ共同責任ニヨリ支持スベク二ケ年以後ニ支出切ニテ資金ヲ失ヒタルトキハ最後ノ蠟金ノ場合ハ會社ヨリ補塡ヲ受ケテ解散ス但シ直前壹ケ年內入社ニシテ何等支給ヲ受ケサリシ者ノ醵出金ヲ會社ヨリ代テ拂戻シ以テ解散ス

第十八條　本會ハ左ノ役員ヲ置ク

一、會　長　壹名　　二、副會長　壹名
四、會　計　壹名　　五、書　記　壹名　　三、理　事　壹名

第十九條　會長ハ工場長之ニ任シ本會ノ事務ヲ總理ス

第二十條　副會長ハ副工場、工務長又ハ工務主席社員之ニ任シ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十一條　理事會計及書記ハ會長之レヲ囑託ス

第二十二條　理事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ本會ノ事務ヲ處理ス

第二十三條　會計ハ理事ノ指揮ヲ受ケ本會ニ關スル金錢出納ニ從事ス

第二十四條　書記ハ理事ノ指揮ヲ受ケ本會ニ關スル庶務記錄及計算ニ從事ス

第二十五條　本會ハ各階級ヨリ互選ヲ以テ左ノ評議委員ヲ置ク

一、技工長　貳名　　一、技　工　貳名　　一、技工補　貳名
一、工　男　貳名　　一、工　女　貳名

第二十六條　評議委員會ハ會長副會長理事及評議委員ヲ組織ス

第二十七條　會長ハ定時（六月、十二月）又ハ臨時ニ評議委員會ヲ招集ス

第二十八條　評議委員會ノ議長ハ會長之ニ任ス

第二十九條　評議委員會ハ半數以上出席シ其ノ過半數ヲ以テ決議ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第三十條　評議委員ノ任期ハ二ケ年トシ補缺ノ場合ハ前任者ノ殘任期間トス

第三十一條　本會ノ會計ハ前年十一月二十六日ヨリ五月二十五日迄ヲ上半期トシ五月二十六日ヨリ十一月二十五日迄ヲ下半期トス

第三十二條　本會ノ收支ハ每半期ノ終了後計算書ヲ作リ評議委員會承認ヲ經テ揭示シ會員ニ周知セシムルモノトス

第三十三條　本規約ノ改正ハ評議委員四分ノ三以上出席シ其ノ過半數ヲ以テ決議シ會社ノ承認ヲ受クヘシ

附　則

第三十四條　本規約ハ昭和二年一月一日ヨリ實施ス

尾崎染料製造所會則

第一條　本會ハ尾崎染料工場ニ勤務スル工手ヲ以テ組織ス

第二條　本會ハ尾崎染料共濟會ト稱ス

第三條　本會ハ尾崎染料製造工場ニ勤務スル工手ノ救濟及慰藉ヲナスヲ目的トス

第四條　尾崎染料工場ニ勤務スル工手ハ本會會員タルノ義務アルモノトス但シ入會ノ際ハ入會金五拾錢納附スベキモノトス

第五條　會員ハ左ノ場合ニ限リ脫退スルモノトス

一、死　亡　　二、解　雇

第六條　本會ヲ脫退シタル時ハ本規約ニ依ル救濟金ヲ受クル外本會ニ對シ何等ノ權利ナキモノトス

第七條　會員ハ會費トシテ入會ノ月ヨリ每月貳拾錢ヲ醵出スルモノトス

第八條　本會員ニシテ本會救濟ヲ一ケ月以上受クル時ハ其期月ノ會費ノ醵出ヲ免除ス

第九條　會費ハ毎月賃金支拂ノ際工場ニ於テ扣除徴收シ本會ニ拂込ムモノトス

第十條　會員ニシテ負傷亦ハ疾病ニ罹リ勤務スルコト能ハザル時ハ本會ハ調査ノ上欠勤八日目ヨリ評議委員會ノ決議ニ依リ救濟金ヲ支出スルモノトス

但シ一ケ月以内一日四拾錢二ケ月以内一日參拾錢參ケ月以内ハ一日貳拾錢

第十一條　負傷又ハ疾病ノ原因ガ本人ノ過失ニ依ルトキト雖モ評議委員會ノ決議ニ依リ救濟金ヲ支給スルコトヲ得

第十二條　會員ニシテ死亡シタル時ハ其遺族ニ葬祭料ヲ支給シ手傳一名會葬者一名ヲ出ス但シ手傳ノ日給ハ會員負擔トス

第十三條　會員ニシテ天災地變其他不可抗力ノ爲メニ災害ヲ被リタル時ハ見舞金ヲ贈リ其爲生計困難ニ陷リタルモノニ對シテハ評議委員會ノ決議ニ依リ相當ノ救濟ヲナスコトアルベシ

第十四條　本會員ニシテ傳染病ノ發生ニ際シ交通ヲ遮斷セラレシ爲メ勤務ニ服スルコト能ハザル時ハ其旨ヲ直チニ申出ス可シ本會ハ調査ノ上救濟金ヲ支給スルコトアルベシ

第十五條　會員ニシテ兵役ニ服シ入營スル者ハ評議委員會ノ決議ニ依リ餞別ヲ贈與スルモノトス

第十六條　本會ノ資金ハ左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

一、會員ノ醵出金　二、有志ノ寄附金　三、資金ノ利子　四、物品販賣ノ利益金

第十七條　本會ノ資金ハ銀行預金ニ預ケ入ルモノトス

第十八條　本會ハ左ノ通リ役員ヲ置ク

一、會長　一名　一、副會長　一名
一、評議員　若干名　一、顧問　二名
一、理事　二名
一、相談役　若干名

第十八條　會長ハ本會ノ事務ヲ總理ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス理事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ本會ノ事務ヲ處理シ金錢出納ニ從事シ庶務記錄及會計ニ從事ス

第二十條　本會ハ工場内ノ各一部ヨリ評議員一名ヲ選出ス

第二十一條　評議委員會ハ會長副會長理事評議員ヲ以テ組織シ評議員會ノ議長ハ會長之ヲ任ス

第二十二條　本會ノ役員及評議員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年四月一日ヲ以テ改選ス但補欠ノ際ニ補欠選擧ヲ行フ

第二十三條　本會ノ會計報告ハ毎月上旬計算書ヲ作製シ幹部ノ承認ヲ經テ掲示シ會員ニ周知スルモノトス

第二十四條　本會則ノ改正ハ評議委員會ヲ以テ之ヲ決議シ相談役ノ同意ヲ得決定ス

第二十五條　評議委員會ハ評議員及役員ノ過半數出席シ共ノ過半數ヲ以テ議決シ可否同數ナル時ハ議長之ヲ決ス

第二十六條　會員緣者ニ死亡アリタル際ハ香奠トシテ金二圓ヲ支給ス但シ十四日以内ノモノハ支給セズ但シ同住居スル者ニ限ル

第二十七條　本會員ニシテ生計困難ト認メタル時ハ評議委員會ノ決議ニ依リ金貳拾圓以下無利息ヲ以テ貸與セシムルコトアルベシ

但シ證人貳名以上ヲ要ス返還方法ハ一時又ハ月賦トス

第二十八條　會員ニシテ解雇セラレタルモノハ評議委員會ノ決議ニ依リ手當金ヲ支給スルコトアルベシ

第二十九條　會員ニシテ疾病ノ際ハ發病八日以内ニ必ス部内ノ評議員ヲ通シ其旨ヲ會長ノ許ヘ報告スヘキモノトス

補則

疾病三日後評議員ヲ以テ(不在ノ時ハ代人)會長ノ許ヘ報告スヘキモノトス

若シ報告ナキ時ハ何月休ムトモ無効ニテ支給セザルベシ

細則

第一條　評議委員會開催ノ際ハ評議員ハ成ル可ク出席スベキモノトス若シ差支ヘノ場合ハ部内ヨリ代人一名ヲ必ズ參加セシムルモノトス萬一出席ナキ時ハ決議事項ニ對シ異議ノ申出スル事ヲ得ズ

第二條　會員ニシテ評議員會ノ決議事項ヲ聞知シタル時ハ部内ノ評議員ヨリ聽取セラルベシ

第三條　部内ニ於テ報告スベキ件アル時ハ必ズ評議員ヲ以テ會長ヘ通報スルモノトス若シ評議員欠席ノ場合ハ第一條ヲ適用ス

第四條　會則第拾條疾病ニ對スル救濟金ノ支給率ハ當分ノ内適用シ資金ノ關係上支給率ノ改正ヲナスコトアルベシ

第五條　評議委員會ハ毎月貳拾八日定期トシテ開催ス但シ急ヲ要スル場合ハ此限リニアラズ

大日本人造肥料株式會社岡山工場共濟組合助成規則

第一條　會社ハ各工場ノ從業員カ本則並ニ規約準則ニ依リ共濟組合ヲ設立スルトキハ本則ニ依リ之ヲ助成ス

第二條　會社ハ本店ニ理事會ヲ置ク

理事會ハ前條ニ依ル共濟組合ヲ指導シ其事業監督ノ責ニ任ス

第三條　理事會ハ理事長一名理事八名ヲ以テ組織シ理事中常任理事一名ヲ置ク

第四條　會社ハ理事會ノ認メタル共濟組合ニ對シ其事業ヲ助成スル爲メ毎月組合員醵金ト同額ノ助成金ヲ交附ス

第五條　會社ハ從業員ノ貯蓄ヲ奬勵スル爲メ前條ノ共濟組合ニ對シ規約貯金ト同額ノ貯蓄奬勵金ヲ交附ス

第六條　會社ハ共濟資金ニ不足ヲ生シタル組合カ借入ヲ申請シタルトキハ理事會ノ審査ニ依リ貸付ヲナス

前項ノ貸付金ハ滿一年以内ニ償還スルヲ要ス

第七條　會社ノ都合ニ依リ工場閉鎖若ハ事業縮少ヲ爲シタルトキ會社ハ相當ノ利息ヲ附ス

審議ニ依リ會社ハ之ヲ補塡ス

第八條　組合カ貯金並ニ貯蓄奬勵金ヲ會社ニ預託シタルトキ會社ハ相當ノ利息ヲ附ス

第九條　理事長ハ社長之ヲ任命シ理事ノ半數ハ理事長之ヲ指名シ他ノ半數ハ各組合長之ヲ互選ス

常任理事ハ理事中ヨリ理事長之ヲ指名ス　理事ノ任期ハ二年トシ再選ヲ妨ケス

第十條　理事長ハ理事會ノ會務ヲ總轄シ會議ノ議長トナリ其決議ヲ執行ス

常任理事ハ理事長ヲ補佐シテ理事會ノ常務ヲ掌リ理事長事故アルトキハ理事長ニ代リ其職務ヲ行フ

第十一條　理事會議ハ必要ニ應シ理事長之ヲ招集ス

第十二條　理事會ノ會務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

第十三條　工場ノ從業員少數ナルトキハ理事會ノ審議ニ依リ之ヲ附近ノ組合ニ加入セシムルコトアルヘシ

第十四條　組合委員會ヲ開キタルトキハ組合長ハ速ニ其議事及決議ノ要綱ヲ理事長ニ報告スヘシ

第十五條　理事會ハ組合委員會ノ決議ヲ審議シ其採否ヲ當該組合ニ通知ス

第十六條　理事會ノ審議ニ依リ組合委員會ノ決議ヲ妥當ナラスト認メタルトキ理事長ハ委員會ニ命シテ之ヲ再議セシム

第十七條　前條ノ再議ヲ命セラレタル組合委員會ニシテ尚其議ヲ改メサルトキ若ハ本則又ハ規約準則ニ違反シタルトキハ本則ノ交附金ヲ停止スルコトアルヘシ

第十八條　組合長ハ毎月組合ノ收支計算書ヲ作成シ速ニ理事長ニ提出スヘシ

附則

第一條　從來會社ヨリ補助ヲ受ケタル共濟組合ハ本則並ニ規約準則ニ依リ規約ヲ改正スルコトヲ要ス

第二條　前條ノ組合ニ屬スル組合員ニシテ組合加入ノ日カ大正九年一月一日以前ナルトキハ同日ヲ以テ組合ニ加入シタル者ト見做ス

第三條　新ニ共濟組合ヲ設立スル工場ニ於テハ本則施行ノ際ニ限リ規約準則第四十三條ノ組合員ノ組合加入年數ハ勤續年數ヲ以テ計算スルモノトス

第四條　規約準則第四章貯金ニ關スル規定ハ事情ニ依リ當分施行セサルコトヲ得

第五條　本規則ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

共濟組合規約

第一章　總則

第一條　本組合ハ大日本人造肥料株式會社岡山工場共濟組合ト稱ス

第二條　本組合ハ岡山工場勤務ノ從業員ヲ以テ組織ス

第三條　本組合ハ組合員ノ共濟及貯蓄ヲ爲スヲ目的トス

第四條　本組合ハ事務所ヲ岡山工場內ニ置ク

第五條　本規約中會社ト大日本人造肥料株式會社、從業員トハ大日本人造肥料株式會社ノ岡山工場ニ勤務スル職工及傭員、報酬日額トハ健康保險法施行例ニ依ル標準報酬日額、理事會トハ共濟組合助成規則ニ依ル理事會ヲ云フ

前項ノ從業員ハ試驗工、臨時夫及傭員見習ヲ含マス

第六條　從業員本組合ニ加入スルトキハ組合員名簿ニ捺印スヘシ

第七條　組合員ハ從業員タル資格ヲ失ヒタルトキ又ハ他ノ工場ニ轉任ヲ命セラレタルトキノ外ハ脫退スルコトヲ得ス

第八條　組合員ハ本規約所定ノ給付ヲ受クルノ外ハ本組合ニ對シ何等ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第二章　共濟資金

第九條　本組合ノ共濟資金ハ組合員ノ醵金並ニ會社ノ助成金及寄附金ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

第十條　組合員ハ每月賃金受取ノトキ報酬日額ノ十分ノ二（錢位未滿切捨）ニ相當スル共濟資金ヲ醵出スヘシ

第十一條　組合員休職其他ノ事由ニ依リ賃金月額カ報酬日額一日分ニ達セサルトキハ其月分ノ醵金ヲ免除スルコトヲ得

第十二條　第十條ノ醵出率ヲ決定スルトキハ理事會ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第三章　共濟

第十三條　組合加入後滿一年ヲ經過シタル組合員結婚シタルトキハ金拾圓以內ノ結婚祝儀ヲ寄贈ス

第十四條　組合加入後滿一年ヲ經過シタル組合員ノ子出生シタルトキハ長子金五圓次子以下金三圓ノ出產祝儀ヲ寄贈ス但死產ノ場合ハ此限ニ在ラス

第十五條　組合加入後滿一年ヲ經過シタル組合員ノ子ノ初節句ニハ金二圓以內ノ祝品ヲ寄贈スルコトヲ得

第十六條　組合加入後滿一年ヲ經過シタル組合員ノ父母ノ喜字祝及米壽祝ノトキハ金五圓以內ノ祝品ヲ寄贈スルコトヲ得

第十七條　水火風震災ニ因リ組合員損害ヲ蒙リタルトキハ左表ノ範圍ニ於テ災害見舞金ヲ寄贈ス其他ノ罹災又之ニ準ス

住居別 / 災害例	組合員一家ヲ構フルトキ	組合員一家ヲ構ヘサルトキ
全燒	三〇圓以內	一五圓以內

全治又ハ半額	二〇圓以内
半治又ハ床上療水	一〇圓以内
	一〇圓以内
	五圓以内

第十八條　傳染病流行ニ際シ組合員交通遮斷ヲ受ケ休業シタルトキハ四日目ヨリ休業一日ニ付報酬日額ノ二分ノ一ニ相當スル特別見舞金ヲ寄贈ス但此寄贈ハ報酬日額十五日分ヲ限度トス

第十九條　組合員軍務ノ爲メ一週間以上召集セラレタルトキハ休業一日ニ付報酬日額ノ三分ノ一ニ相當スル軍務慰勞金ヲ寄贈ス但此寄贈ハ往復ニ必要ナル日數ヲ含ミ報酬日額十日分ヲ限度トス

第二十條　組合員ニシテ父母、配偶者又ハ子ノ疾病看護ノ爲メ連續十日以上休業シタルトキハ金拾圓以内ノ看護見舞金ヲ寄贈スルコトヲ得

第二十一條　同居セル組合員ノ父母、配偶者又ハ子重病ニ罹リ治療ニ多額ノ出費ヲ要スル場合ハ金貳拾圓以内ノ家族見舞金ヲ寄贈スルコトヲ得

第二十二條　組合員ノ家族ニシテ左表ニ該當スルモノ死亡シタルトキハ所定ノ弔慰金ヲ寄贈ス

家族	組合員ノ關係	弔慰金
父母	組合員葬祭ヲ行フ場合	三五圓
父母	組合員葬祭ヲ行ハサル場合	一〇圓
配偶者		三五圓
子	組合員葬祭ヲ行フ場合	二〇圓

但一年未滿ノ幼兒ハ半額トス

第二十三條　組合員死亡シタルトキハ報酬日額三十日分ニ相當スル弔慰金ヲ其遺族ニ寄贈ス

第二十四條　本組合ニ加入後滿一年ヲ經過シタル組合員左ノ各號ノ一ニ該當シ脫退シタルトキハ組合加入年數一年ニ付報酬日額三日分ニ相當スル慰勞金ヲ寄贈ス但一年未滿ノ端數ハ切捨ツルモノトス

一、事業ノ縮少、變更、其他ノ事由ニ依リ剩員トナリ解雇セラレタルトキ

二、軍務ノタメ辭職シタルトキ

三、停年ニ達シ退職シタルトキ（職工規則第十三條ニ依ル）

四、傷痍疾病又ハ衰弱ニ依リ勞務ニ堪ヘスシテ解雇セラレタルトキ

五、他ノ工場ニ轉任ヲ命セラレタルトキ

六、昇格シタルトキ

第二十五條　組合員脫退シタルトキハ左表ニ依リ餞別金ヲ寄贈ス

加入年數	寄贈金	加入年數	寄贈金
滿一年以上同二年同	報酬日額二日分	滿六年以上同七年同	報酬日額四日分
滿二年同三年同	同四日分	滿七年同八年同	同五日分
滿三年同四年同	同七日分	滿八年同九年同	同十日分
滿四年同五年同	同十日分	滿九年同十年同	同十五日分
同	同十四日分	滿十年同	同六十一日分
滿一年以上同二年同	報酬日額十八日分	滿十一年以上同十二年同	報酬日額四十日分
滿二年同三年同	同二十二日分	滿十二年同十三年同	同四十五日分
滿三年同四年同	同二十六日分	滿十三年同十四年同	同五十日分
滿四年同五年同	同三十日分	滿十四年同十五年同	同五十五日分
同	同三十五日分	同	同六十一日分

以上滿一年ヲ增ス毎ニ報酬日額六日分ヲ加算スル

第二十六條　組合員本規約ニ依リ寄贈ヲ受クヘキ事由發生シタルトキハ組合員又ハ其家族若ハ同僚ヨリ速ニ

組合事務所ニ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ六十日ヲ經過スルモ報告ナキトキハ寄贈ヲ爲サス

第二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ本規約ニ依ル寄贈ヲ爲サス

一、組合員又ハ其家族カ醫師ノ診察若ハ委員ノ調査ヲ拒ミ又ハ虚僞ノ報告ヲナシタルトキ

二、傷痍又ハ疾病カ組合員若ハ家族ノ犯罪行爲ニ基因スルトキ

三、甚シク風紀ヲ紊亂シ或ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四、會社ニ對シ故意ニ物質的損害ヲ與ヘ若ハ會社ノ信用ヲ毀損シ又ハ其秘密ヲ洩シ解雇セラレタルトキ

第二十八條　寄贈ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ工場法施行令ノ規定ニ依ル但組合員カ死亡前ニ特別ノ意思ヲ表示シタルトキ又ハ家庭ノ事情止ムヲ得サルモノアリト認メタル場合ニ於テハ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十九條　本組合ハ前各條所定ノ外特ニ委員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ慶弔慰問表彰等ノ爲メ組合員若ハ組合員以外ニ寄贈ヲ爲スコトヲ得

第四章　貯金

第三十條　組合員ハ毎月賃金受取ノトキ報酬日額ノ三分ノ一（錢位未滿切捨）ヲ貯蓄スヘシ

第三十一條　本組合ハ共濟組合助成規則ニ依リ貯蓄奬勵金ヲ受ケ各組合員ノ口座ニ積立ヲ爲スモノトス

第三十二條　組合員休職其他ノ事由ニ依リ賃金月額カ報酬日額十五日分以下ナルトキハ其月分ノ貯蓄ヲ爲サルコトヲ得

第三十三條　組合員ハ第三十條所定ノ外隨意ニ貯蓄ヲナスコトヲ得但此貯蓄ニ對シテハ本組合ハ貯蓄奬勵金ノ積立ヲナササルモノトス

第三十四條　組合員死亡シタル場合ニ於テハ貯金ノ拂戻ヲ爲シ且其口座ニ積立テタル貯蓄奬勵金ヲ交附スヘシ

第三十五條　本組合ハ第二十七條第三號及第四號ニ該當シ脫退シタル者ニ對シテハ其口座ニ積立テタル貯蓄奬勵金ヲ交附セス

前項ノ貯蓄奬勵金ハ本組合共濟資金中ニ繰入ルルモノトス

第三十六條　組合員死亡シタル場合ニ於テハ貯蓄奬勵金ノ拂戻並ニ貯蓄奬勵金ノ交附ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ第二十八條ヲ適用ス

第五章　會計

第三十七條　共濟資金ハ郵便貯金、銀行預金又ハ信託預金ト爲シ一部ハ之ヲ以テ國債、地方債ヲ買入ルルコトヲ得

第三十八條　貯金並ニ貯蓄奬勵金ハ本組合ニ傾置シ該金額ハ理事會ノ審議ヲ經テ郵便貯金、銀行預金、信託預金又ハ會社ニ預託シ若ハ會社ノ株式ヲ購入ス

第三十九條　轉任ニ依リ加入シタル組合員ハ前組合ヨリ受ケタル錢別金、貯金並ニ貯蓄奬勵金ヲ本組合ニ保管轉換ヲ爲シタルトキハ前組合ノ加入年數ハ之ヲ通算スルモノトス

第四十條　本組合ノ決算期ハ毎年五月末日及十一月末日ノ兩度トシ毎期決算報告書ヲ作成シ之ヲ組合員ニ提示スヘシ

第六章　役員及委員會

第四十一條　本組合ニ組合長一名、委員若干名（十二名以下タルコト）ヲ置ク

第四十二條　組合長ハ理事長之ヲ指名ス

第四十三條　委員ハ半數ヲ職員中ヨリ組合長之ヲ指名シ他ノ半數ハ滿二十五年以上ノ男子ニシテ組合加入滿二年以上ノ組合員中ヨリ組合員之ヲ選擧ス

委員ノ任期ハ一年トシ再選ヲ妨ケス其選擧事項ハ組合長之ヲ定ム

第四十四條　組合長ハ幹事及書記各一名ヲ推薦シテ其事務ヲ委囑スルコトヲ得

第四十五條　組合長ハ本組合ノ事務ヲ統轄シ委員會ノ議長トナリ其決議ヲ執行ス

組合長事故アルトキハ臨時代理者ヲ指名スルコトヲ得

第四十六條　委員ハ委員會ニ於テ組合ニ關スル要務ヲ議決ス

第四十七條　幹事ハ組合長ノ指揮ヲ受ケ組合ノ事務ヲ掌理シ書記ハ幹事ヲ補佐シテ事務ニ從事ス

第四十八條　委員會ハ必要ニ應シ組合長之ヲ招集ス

委員二名以上ノ同意ヲ以テ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ委員會招集ノ請求ヲ爲シタルトキハ組合長ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ

第四十九條　委員會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

第五十條　委員會ノ決議ハ特ニ定ムル場合ヲ除ク外出席委員ノ過半數ニ依リテ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十一條　委員會ニ於テ議決スヘキ事項左ノ如シ

一、組合ノ收支決算報告書

二、寄贈ニ關スル諸事項

三、貯金及貯蓄奬勵金ノ拂戻並ニ交附

四、遺族ノ順位ニ關スル事項

五、貯金及貯蓄奬勵金ノ保管及利殖ノ方法

六、釀金及貯金免除ニ關スル事項

七、組合規約ノ改正

八、釀金ノ增減

九、前各號ノ外重要ト認ムル事項

第五十二條　前條第五號、第七號、第八號ハ委員會ニ於テ委員三分ノ二以上出席シ全會一致ノ同意アルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第五十三條　委員會ニ常任委員ヲ置キ第五十一條第二號及第三號ニ關スル事項中金額ノ雜定セルモノヲ委任處理セシムルコトヲ得

第五十四條　本規約ノ改正ハ理事會ノ同意ヲ得タル後社長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

附則

本規約ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照條項

職工規則

第十三條　職工ハ滿五十五歲ニ達シタルトキハ退職スヘシ但シ身体及精神健全ニシテ引續キ從來ノ業務ニ從事シ得ル者ト認メタルトキハ工務部長ノ承認ヲ得テ一ケ年宛繼續シ五ケ年迄特ニ留職ヲ命スルコトアルヘシ

工場法施行令

第十條　遺族扶助料ヲ受クヘキ者ハ職工ノ配偶者トス

配偶者ナキ場合ニ於テ遺族扶助料ヲ受クヘキ者ハ職工死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル職工ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其順位ハ親等相同シキトキハ卑屬ヲ先ニス

第十一條　前條第二項ニ定メタル同順位者ノ間ニ在リテハ其順位ハ左ノ規定ニ依ル

一、職工ノ家督相續人又ハ戶主ハ之ヲ他ノ者ヨリ先ニス

二、男ハ之ヲ女ヨリ先ニス

三、直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニシ嫡出子庶子及私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子ハ女ト雖之ヲ私生子ヨリ先ニス

四、前二號ニ揭クル事項ニ付相同シキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第十二條　第十條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ左ニ揭クル者ノ中一人ニ遺族扶助料ヲ支給スヘシ但シ職工ノ遺言又ハ工業主ニ對シテ爲シタル豫告ニ依リ左ニ揭クル者ノ中一人ヲ指定シタルトキハ之ニ從フヘシ

一、職工ノ家督相續人又ハ戶主

二、職工ノ兄弟姉妹ニシテ職工死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル者

三、職工死亡當時其收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者

岡山瓦斯株式會社共濟會規約

第一條　本會ハ岡山瓦斯株式會社共濟會ト稱ス

第二條　本會ハ岡山瓦斯株式會社（以下會社ト略稱ス）內ニ置ク

第三條　本會ハ會社ノ業務ニ從事セル職工、見習職工及定夫ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條　本會ハ會員ノ負傷、疾病其他災厄ニ罹リタル者ヲ救濟シ且ツ退社應召等ニ際シテ會員ヲ賜與シ相互ニ慰安スルヲ以テ目的トス

第五條　本會員ハ第一回會費納入ノ翌月ヨリ資格ヲ生ジ退社、解雇又ハ第三條ニ於ケル資格ヲ失フト共ニ消滅ス

第六條　會員ノ住所又ハ居所移動シタル場合ハ七日間以內ニ幹事ニ屆出ヅルモノトス

第七條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長　一名　本會々務ヲ統轄ス　二、副會長　一名　會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ其代理ヲナス

三、幹事　三名　會務ヲ分担處理シ役員會ニ於テ評議員ト同シク議事ニ參加ス

四、評議員　若干名　其所屬ヲ代表シ本會一切ノ事務ニ關與シ常ニ其所屬會員諸般ノ狀況ヲ調査スルモノトス

第八條　會長ハ會社取締役中ヨリ副會長及幹事ハ會社々員中ヨリ評議員之ヲ選擧ス

第九條　評議員ノ被選擧資格ハ會員ニシテ二ケ年以上會社ニ勤續セルモノトシ其選擧ハ左記所屬別ニ依リ其所屬會員ノ互選ヲ以テ各一名ヲ選出スルモノトス

製造課　瓦場甲組　仝乙組　機關室修繕室其他

供給課　本抜管係　裝置係　修理係　計量器係

但職工長ハ任命ト共ニ評議員ノ資格ヲ有スルモノトス

第十條　本會ノ役員ハ左ノ場合其資格ヲ失フ

一、會社ヲ退職シタル時　一、任期中ト雖モ病氣其他ノ事故ニ依リ六ケ月以上連續シテ職務ニ從事スルヲ能ハサル時　一、評議員ニシテ其所屬ヲ變更シタル時　一、評議員ニシテ會員タル資格消滅シタル時

第十一條　役員ノ任期ハ二ケ年トシ重任スル事ヲ得若シ欠員ヲ生シタル場合ハ直ニ其補欠ヲ爲スモノトス

但其任期ハ前任者ノ殘任期間中トス

第十二條　役員會ハ會長ヲ以テ議長トシ評議員二分一以上出席スルニ非サレハ開會スル事ヲ得ス

第十三條　會長ハ每年春秋二回定時役員會ヲ招集シ決算其他諸般ノ決議ヲナス尙必要ノ場合ハ臨時役員會ヲ開クモノトス

第十四條　本會規約ノ改正又ハ議事ノ決議ハ凡テ役員會ニ於テ出席者ノ多數決トシ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十五條　役員會ノ決議事項ハ總テ會社ノ承認ヲ得ルモノトス

第十六條　會員ハ會費トシテ毎月日給額ノ百分ノ十五（厘位ハ切上）ヲ醵出スルモノトス

第十七條　會費ハ翌月分ヲ毎月給料日ニ組長之ヲ集金シ直ニ幹事ニ納ムルモノトス　但會費納入前退會シタル場合ハ其翌月分ハ徴收セズ而シテ徴收シタル會費ハ如何ナル場合ト雖返金セサルモノトス

第十八條　本會ノ主旨ニ賛成シ金品ノ寄贈有リタル時ハ會長ノ承認ヲ得タル後之ヲ收受シ役員會ニ於テ處理スルモノトス

第十九條　第四條ノ目的ヲ遂行スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、職務上負傷又ハ疾病ノ爲メ引續キ休業十日間以上ニ及ヒタル者ニ對シテ十一日以後一日ニ付日給額ノ十分ノ二ヲ支給ス　但支給期間ハ六十日ヲ以テ限度トス

二、負傷又ハ疾病ノ爲メ引續キ休業十日間以上ニ及ヒタル者ニ對シテ十一日以後一日ニ付日給額ノ十分ノ七ヲ支給ス　但支給期間ハ六十日ヲ以テ限度トシ入社後三ケ月未滿ノ者ニ對シテハ支給セズ

三、三ケ月以上勤續セル會員ニシテ死亡シタルトキハ祭祀料トシテ金參拾圓ヲ其遺族ニ贈呈ス

四、三ケ月以上勤續セル會員ノ父母（養子ナルトキハ養父母）妻子ニシテ死亡シタルトキハ吊慰金トシテ金拾圓ヲ贈呈ス　但生後三ケ月滿タサル者ニ對シテハ支給セズ

五、三ケ月以上勤續セル會員ニシテ不時ノ災厄ニ罹リタル時ハ其實狀ヲ審査シ役員會ノ決議ヲ經タル後見舞金トシテ金貳拾圓以内ヲ贈呈スルコトアルベシ

六、會員ニシテ退社シタル時ハ二ケ年以上勤續者ニ對シ金參圓其レヨリ滿一ケ年ヲ增ス毎ニ金壹圓ヲ加算シ餞別金トシテ贈呈ス

但不都合ノ行爲アリタルモノニ對シテハ此限リニアラス

七、會員ニシテ兵役ニ關係アルモノ應召十日間以上ニ及ヒタルモノニ對シ十一日以後一日ニ付日給額ノ十分ノ三ヲ支給ス

但支給期間ハ六十日ヲ以テ限度トシ入社後三ケ月未滿ノ者ニ對シテハ支給セス

第二十條　第十九條ニ依リ給與ヲ受ケントスル者ハ其所屬評議員ヲ通シテ死亡証明書、診斷書其他ノ必要書類ト共ニ書面ヲ以テ會長ニ申請スベシ

第二十一條　本會ノ目的ニ副フ事業ニシテ必要ト認ムルトキハ役員會ノ決議ニヨリ之ヲ行フモノトス

第二十二條　本會々費收支計算上不足ヲ生シタル場合ハ會社ヨリ補助ヲ受クルモノトス

第二十三條　本會ノ決算報告ハ定時役員會ニ於テ事業報告書、財産目錄、貸借對照表及收支計算表ヲ作成シ會社ノ承認ヲ得タル後一般會員ニ揭示スルモノトス

第二十四條　本會ニ左ノ張簿ヲ備フ

一、會員名簿　一、金錢出納簿　一、記錄簿　一、其他必要ナル帳簿

第二十五條　會員ニシテ本規約ニ違背シ又ハ本會ノ体面ヲ汚ス行爲アルモノハ役員會ノ決議ニ依リ相當ノ處罰ヲナス

第二十六條　會員ニシテ慮爲ノ申出ヲナシ第十九條ノ給與ヲ申請シタルモノハ直ニ除名シ既ニ給與シタル金員アリタルトキハ之ヲ返還セシムルモノトス

賞與

八　賞與

賞與ニハ皆勤賞與、精勤賞與、勤續賞與、期末賞與、滿期賞與、特別賞與等ガ其主タルモノデアル

一　皆勤及精勤賞與

皆勤及精勤賞與ハ從業員ノ出勤奬勵ヲ目的トスル賞與デアッテ皆勤又ハ精勤者ニ對シテ賞金又ハ物品ヲ與ヘ

ヲ之ヲ奬勵スルト共ニ一般從業者ノ出勤ヲ督勵センガ爲メノ施設デアル、皆勤者トハ普通或一定期間中ニ缺勤ナク全部出勤セルモノヲ言ヒ、精勤者トハ其ノ期間中ニ缺勤數少ナキモノヲ言フ、此ノ皆勤又ハ精勤ヲ定メル期間ハ普通一週間、一ケ月、三ケ月、六ケ月、一箇年等デアル、中ニハ臨機ニ支給スル處又ハ出勤率ノ低イ七、八月頃ニ於テノミ支給スル所モアル賞與ノ額モ多種多樣デアル左ニ其ノ給與人員、給與金額給與物品額、給與標準規定等ヲ工場毎ニ擧ケ見ヨウ

賞與

製糸業　郡是製糸株式會社津山工場

區分＼事項	給與人員	給與總額			給與標準規定
		現金給與		物品給與	
皆勤賞與	四〇〇	六、一六〇	円		一ケ年皆勤給料二十二日分
精勤賞與	五二〇	二、九一二			一期（四ケ月）給料五日分　二期（八ケ月）同十二日分　給料五日乃至十二日分
勤續賞與	六五	四五五			六年勤續　鏡台　一　八年同　箪笥　一
期末賞與	五二〇	二、九一二			精期賞ト同シ　一期精勤給料五日分　二期同十二日分　全期同廿二日分（但シ一期ト八四ケ月ヲ標準トス）
特別賞與	五五	一、二五〇			其程度決定スルモノニシテ技術優秀ノモノニ與フ

製糸業　郡是製糸株式會社久世工場

皆勤賞與	一五〇	一、一二〇	円		
精勤賞與	四〇〇	四〇			
勤續賞與	七	一二〇			

製糸業　備作製糸株式會社岡山工場

皆勤賞與	四八〇	一、八〇〇	円		現金給與ハ一ケ月皆勤シタルモノナリ　物品給與ハ臨時夏期八月一ケ月皆勤賞與トシテ給與ス
勤續賞與	二九	三一五			三年五年七年十年等ノ勤續者ニハ其期間ノ精勵ヲ參酌シ賞與金ヲ與フ
期末賞與	四〇三				
滿期賞與	三四八 五				盆祭ノ際及歲末ニ給與ス
				三五〇	円　養成業手五ケ年ノ契約期間滿了シタル時ハ賞品ヲ贈ル、其品目ハ箪笥、反物類ナリ

製糸業　備作製糸株式會社作州工場

皆勤賞與	一二六	一、一四〇	円		一ケ月皆勤者壹圓七拾錢但シ各自能率ノ進ミシ者ハ漸次額ヲ增ス
精勤賞與	五〇			五〇〇	円　事業日數ノ八割勤務―七圓　事業日數ノ九割勤務―拾三圓
勤續賞與					事業日數ノ全部皆勤―貳拾圓
期末賞與	四〇〇				右ニ該當セル價格ノモノヲ支給ス
其ノ他ノ賞與	七五〇				開業ヨリ日尙淺キ爲メ勤續賞給與者ナシ
				八〇〇	勤務日數ノ如何ニ拘ラズ半期毎一人當リ貳圓程度ノ物品ヲ支給ス
				六〇〇	職工奬勵ノ爲種々ナル方法ヲ以テ等級ヲ定メ平均八拾錢程度ノ物品ヲ給與ス

製糸業　中備製糸株式會社笠岡工場

皆勤賞與	三、一三五	一、二三五、〇〇	円	
期末賞與	二八〇	八六三、九〇		
特別賞與	二六〇	八〇六、六〇		

製糸業　中備製糸株式會社

皆勤賞與	一七〇
精勤賞與	六五
期末賞與	一六七

製糸業　合名會社浮田商店浮田工場

皆勤賞與	七二六、四〇円
精勤賞與	一三〇、〇〇
期末賞與	二八〇、五〇

一期間六拾錢　二期八拾錢　三期壹圓以下　毎期壹圓
一期貳拾錢　二期四拾錢　以上皆勤
勤務日數ト收得金ニ依ル

精勤賞與	一〇〇
勤續賞與	三五〇

精勤賞與	二〇〇円

給地單衣地各一反
ツヽ二期ニ給與セ
リ　四〇〇円

製糸業　三河製糸株式會社備前工場

皆勤賞與	八五
精勤賞與	二二八
勤續賞與	一三
デニール特別賞	七三

皆勤賞與	七四〇円
精勤賞與	八五〇
勤續賞與	六八四
デニール特別賞	三六二

一ケ月皆勤日給ノ二日分
一ケ月精勤日給ノ半日分
退場滿一ケ年後ニ支拂
半ケ月間目的デニールヲ擴エタモノ壹圓

製糸業　東備製糸株式會社

皆勤賞與	一三〇
特別賞與	九二五、四五〇

皆勤賞與	三五〇、〇〇円

一ケ月皆勤者壹圓五拾錢　一ケ月一日ノ欠勤者壹圓
技術優秀ナル者ヘ一圓ヨリ拾圓ノ範圍

製糸業　久米製糸販賣利用組合

勤續賞與	一八
期末賞與	一七五

勤續賞與	四九六円
期末賞與	三一二

五ケ年以上勤續日給一割增
七ケ年同　二割增　六ケ年同　一割五分增
勤務ノ狀態及成績ノ如何ニ依リ斟酌給與ス

製糸業　合資會社原田製糸場

皆勤賞與	工賃ニ計上スルニ付不明
勤續賞與	一四二　四〇三、〇〇円
期末賞與	一四七　八三八、五〇

一月皆勤　一等級一圓五拾錢　二等級一圓　三等級六拾錢
一ケ年壹圓トシテ一年增毎ニ壹圓增
一ケ年作業日數成績調査ノ上四等級ニ分チ一等級三圓二等級貳圓五拾錢參等級壹圓支給セリ

製糸業　中國蠶糸株式會社

皆勤賞與	一三九
勤續賞與	三五
期末賞與	一一

皆勤賞與	三〇五円
勤續賞與	一ケ月間皆勤者ニ對シテ金五拾錢ヲ標準トス
期末賞與	三ケ年以上當會社ニ勤續シタル者ヲ以テ標準トス（實收給與ノ一割）
	六〇〇
	二五〇　一ケ月分月給又ハ日給ヲ標準トス

製糸業　眞庭製糸株式會社

皆勤賞與	二〇五
精勤賞與	一四七
特別賞與	一
其ノ他ノ賞與	三〇〇

皆勤賞與	二〇五、〇〇円
精勤賞與	七三、五〇
特別賞與	相當額 七
其ノ他ノ賞與	一八
	一八〇、〇〇

壹ケ月皆勤ニ對シ壹圓各壹人
壹ケ月精勤ニ對シ五拾錢各壹人
一年間皆勤セル者又ハ品行方正ニシテ技術優秀ト認メタルモノ
一、工程、糸目、テニール、糸質、出勤等ノ各部ヲ綜合シタル月成績ニ依リ全工場中每月拾五人ヲ限リ各壹圓ヲ賞與ス
一、前月ニ比較シ技能成績勝リタル者拾人ヲ限リ繰返シ各タオル壹枚宛ヲ賞與ス

製糸業　河內玉繭製糸株式會社

皆勤賞與	一〇二
精勤賞與	一〇八

一ケ月皆勤日給一日分
六ケ月間一日以內日給六日分二日以內四日分三日以內日給二日分

紡績業	期末賞與	期末賞與	滿期賞與
倉敷紡績株式會社玉島工場	三、六五二、八一六円	二、一五四、二〇五、〇〇〇	工場指定席（繭）檢查
倉敷紡績株式會社高壽工場	六四〇	三六八、二一四円	一、四五四、一一二	一ノ日給ノ百分ト定メ二年以上勤續ノ者ニ對シ退社ノ時支給ス　勤續二年以内ノモノニ對シ退社ノ時支給ス　毎年期末ニ於テ欠勤日數ガ常期操業日數ノ十分ノ一ニ滿タザルモノニ對シ期末賞與ノ外ニ特別賞與ヲ支給ス
倉敷紡績株式會社倉敷工場	六四〇	三六八、二一四円	一、四五四、〇〇〇	滿了ノ際出勤ヨリ算出シ毎年期末ニ支給ス　毎年期末ニ支給ス一期間ノ勤務日數ガ常期操業日數ノ十分ノ一ニ滿タザルモノニ對シ期末賞與ノ外ニ特別賞與ヲ支給ス
鐘淵紡績株式會社西大寺工場	二、一六〇	三、七八、二一二	二、五四九、二〇五、〇〇〇円	男子（女子ヲ含ム）勤續七ケ年以上ノ者ニ對シ在社中給與セルモノ　機械器具ノ改良、技術ノ方法ノ改善其他社内一般ノ利益ニ關シ特別ノ考案ヲ爲シタル者ニ對シ賞與ヲ與フ　不良品ノ發生ニ關シ責任アル者ニ對シ賞與ヲ與フ

紡績業	滿期賞與	特別賞與	期末賞與	動續賞與
鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場	六	一、〇九二、三六〇、〇〇〇	六二三	六七四、一八	資格勤續年數及勤怠ニヨリ支給額ヲ決定ス　工場解雇ニ際シ有益ナル提案ヲナシタル職工又ハ特別功勞アリタル者（昭和二年中ニ發表シタル提案ニ對シ高等會同ニ於テ表彰ス）	女子ニ對シ勤續七ケ年以上男子五ケ年以上ノ者ニ對シ給與ノ百分ト定メ資格發生ノ時ニ於テ支給ス

紡績業	期末賞與	滿期賞與
鐘淵紡績株式會社岡山工場	四八〇円	一ケ月賞與額

製糸業	滿期賞與	期末賞與	勤續賞與
有限製糸株式會社	六	一〇	三ケ年勤續現在一ケ年給ノ二十日分　日給百日分

紡績業	特別満期	特別満期	特別満期	特別満期	特別満期
	定期賞與	定期賞與	定期賞與	定期賞與	定期賞與
兵庫紡績株式會社	一〇一	五八五	二三九	四、七七四	四、三五
兵庫紡績株式會社支店	六〇、〇〇〇	一八、八五〇	四、六一三	四、九三五	六、一七五

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

紡績業	満期賞與	満期賞與	満期賞與	満期賞與	満期賞與
兵庫紡績株式會社兵庫工場	一、四〇一	四七、〇〇〇円	二三、〇〇〇	一四、〇〇〇	一、〇〇〇
近江帆布株式會社彦根工場	四八六	九七八円	七二四	三〇九	一〇
近江帆布株式會社味野工場	一、七八二	八三、二〇〇円	一、〇〇〇	一、二六二	一、〇九五

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

毎年業務ノ都合ニ依リ適宜ノ日ヲ定メ十日以内ニ支給ス

紡績業	特別満期	特別満期	特別満期	特別満期	特別満期
	定期賞與	定期賞與	定期賞與	定期賞與	定期賞與
近江帆布株式會社味野工場	一〇一	五八五	二三九	四、七七四円	四、三五
倉敷紡績株式會社早島工場	八、〇〇〇	五、七二九、〇〇一	四、一五〇、五三	四六五	九八
倉敷紡績株式會社岡山北方工場	一、〇九五	二、二六二、〇〇〇	一、〇〇〇	八三、一五二円	一、七八二

勤續期間、成績、退社理由ニヨリテ定ム

賞金、平均日收、支拂期日手工女工

勤續期間、成績ニ依リ決定ス

同年齢ノ男子ニ同額ノ賞與金ヲ支給ス

同女子

同年齢ノ男子ニ同額ノ賞與金ヲ支給ス

同年齢ノ男子ニ同額ノ賞與金ヲ支給ス

同年齢ノ男子ニ同額ノ賞與金ヲ支給ス

同年齢ノ男子ニ同額ノ賞與金ヲ支給ス

同年齢ノ男子ニ同額ノ賞與金ヲ支給ス

紡績業	特別満期	特別満期	特別満期	特別満期	特別満期
	功加給金	定期賞與	定期賞與	定期賞與	定期賞與
倉敷紡績株式會社岡山北方工場	一、〇九五	二、二六二、〇〇〇	一、〇〇〇	八三、一五二円	一、七八二

滿二年以上勤續シ滿二十歳以上ノ女子ニ對シ勤續年數一年ニ付キ一日ノ割合ヲ以テ加給ス

滿四年以上勤續シ滿二十歳以上ノ女子ニ對シ勤續年數一年ニ付キ一日ノ割合ヲ以テ加給ス

滿四年以上勤續シ滿二十歳以上ノ女子ニ對シ勤續年數一年ニ付キ一日ノ割合ヲ以テ加給ス

滿四年以上勤續シ滿二十歳以上ノ女子ニ對シ勤續年數一年ニ付キ一日ノ割合ヲ以テ加給ス

滿四年以上勤續シ滿二十歳以上ノ女子ニ對シ勤續年數一年ニ付キ一日ノ割合ヲ以テ加給ス

滿四年以上勤續シ滿二十歳以上ノ女子ニ對シ勤續年數一年ニ付キ一日ノ割合ヲ以テ加給ス

精勤賞與	
	一、三五一円五〇

織物業　正織、株式會社

期末賞與	四三〇
滿期賞與	六、〇〇〇円
	一五
	六五四

出勤歩合、勤續年數、作業工賃收得高、品行性格、職務等ニ付考査シ壹圓以上貳百五拾圓位迄十數等級ニ區別ス
三ケ年間工賃收得高ノ百分ノ五額ヲ給ス

織物業　株式會社井原織物所

皆勤賞與	一八七
期末賞與	一五八円六〇
	四七〇
	二、四二〇〇

一ケ月皆勤日給一日分昭和二年七月一日ヨリ不況ニ付キ廢止

織物業　尾崎織物株式會社

皆勤賞與	三
精勤賞與	五
期末賞與	一八〇
	一、〇〇〇
	一五〇円

織物業　備前織物株式會社

皆勤賞與	一、一一七
期末賞與	五五八円五〇
	二三三〇
	二、三四二〇〇
滿期賞與	三九
	六八六、四九

一ケ月皆勤五十錢

各人毎月所得ノ百分ノ五ニ相當スル三ケ年分ノ金額入社後三年目ニ支給ス
其後一ケ年毎ニ各所得ノ百分ノ五ニ相當スル一ケ年分ノ百分ノ二十ヲ支給ス

織物業　備前織物株式會社茶屋町工場

皆勤賞與	（毎期十二ケ月）
期末賞與	正月及盆（二回） 一、〇六三 六三八円
	三三九 二、三一七 帽子、前掛、洋服シヤツシ等

役付工員一ケ月皆勤總收入ノ百分ノ四、一日欠勤、同百分ノ三
平工員一ケ月皆勤總收入ノ百分ノ三、一日欠勤同百分ノ二

織物業　岡山製織株式會社

精勤賞與	延人員 一、二二八 八九五、六〇円
勤續賞與	延人員 二七一 七三〇、五〇
期末賞與	延人員 二九一 八八七、一五
滿期賞與	一四 四四二、三〇
特別賞與	延人員 一〇 四八、〇〇

六ケ月以上三年以上 壹、〇〇 五年以上 五、〇〇 四年以上 四、〇〇
一年以上二、〇〇 貳年以上 三、〇〇 一年半以上 二、五〇

精勤賞與ト同額ノモノヲ一月ヨリ六月迄ヲ盆ニ七月ヨリ十二月迄ノモノヲ年末ニ給與ス資格ナキ者ニハ金五〇錢ヲ給ス
勤續一年未滿總員金ノ千分ノ二十一年以上同千分ノ二十五
二年以上同千分ノ三十三年以上同千分ノ三十五四年以上同千分ノ四十五年以上同千分四十五ヲ年々積立テ置キ滿二年以上勤續シテ退社スル者ニ給與ス
別ニ規定ナシ

織物業　大塚織布工場

皆勤賞與	八四〇 一、二六〇円
精勤賞與	一、四四〇 七二〇
勤續賞與	六 一八〇
期末賞與	二二 三、八六五

一ケ月一人一圓五拾錢
一日一人五錢
一人參拾圓三ケ年勤續

織物業　山陽織物合資會社

織物業　三善織物株式會社

満皆勤賞與	期末賞與
一三ヶ月皆勤者一人ニ付二圓六十錢トス	一三五二三 一、三四〇、〇〇円

勤續并ニ勤勉ノ狀況ニ依リ任意額ヲ定ム

織物業　井原興業株式會社

期末賞與	
一三八五	腰卷（八五枚）
九二、二〇五〇円	給與標準規定ナシ

織物業　井原興業株式會社

期末賞與	精勤賞與	皆勤賞與	
二四八	一四六	三〇、三五円	全全全欠壹ヶ年皆勤賞十日分　但半ヶ年半分トス
一、一六八、七九	三五、九二	全全全賞金半分トス	此ノ分年貳回ニ付人員數日延人員ヲ記入ス

織物業　日本綿布株式會社

期末賞與	期精勤賞與	皆勤賞與	
二〇〇	二五〇	一八五	一ヶ月皆勤者壹圓五拾錢 日遅刻早引者五拾錢也 ナキ者壹圓也
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇円	一日欠勤ニ付キ五錢也
二〇〇円			

織物業　大島工場合資會社

期末賞與	期精勤賞與	皆勤賞與	
一二三	一二八	一、二〇〇円	出勤日數二五、欠勤日數六、遅刻早退欠勤五ケ月間無欠勤一日拾錢一日欠勤一日七錢
一、三九九、六〇円	六五四、七〇〇		出來高ニ依リテ定ム

織物業　中國織物株式會社

特別賞與	特別精勤賞與	皆勤賞與	
五五	四	九七	毎日規定時間就業シタルモノ一日ニ付五錢宛
一〇		七〇〇	組合工場協會表彰規定ニ依リ表彰サレタル者ニ對スル賞金
八四〇円		一、一五〇	中元及歲暮ノ紀念トシテ純利益金ノ幾分ヲ分配

織物業　高屋織物株式會社

期末賞與	期精勤賞與	皆勤賞與	
二一二	二、八〇五、八四		一ヶ月間無遅刻早引ノ日數ヲ其ノ月工賃支給額ノ百分ノ二ヲ以テ精勤手當トシテ支給ス
一、六五〇、〇〇			事務員并ニ工場ニ勤務スル者ニハ社長適宜給與

織物業　後月織物合資會社

勤續賞與	
一一	一年以上一年毎ニ一圓、二年以上五年毎ニ二圓、五年以上十年毎ニ三圓、十年以上十四年毎ニ四圓、十四年以上廿年毎ニ五圓、廿年以上ハ一律ニ六圓
一一八、五〇	

織物業　山陽製織株式會社

皆勤賞與	
一八四	壹ヶ月皆勤者壹圓別ニ三ヶ月皆勤者貳圓給ス
二四八円	

織物業　岡野織物工場

期末賞與	期勤續賞與	皆勤賞與	
八〇	五三	一五	
六〇〇円			
七〇〇	五〇五	一八〇円	

織物業	山本織布工場		
精勤賞與	二	五〇〇円	
織物業	惠藤染織工場		
皆勤賞與	一〇	一〇〇円	
精勤賞與	九	四五	
期末賞與	七五	一、八〇〇	
織物業	小田綿糸株式會社鄉内織布工場		
期末賞與	六〇	一二七円	
織物業	矢掛織布株式會社		
精勤賞與	七〇	九九円	
期末賞與	四八	二〇	四八円
組物編物業	株式會社島田製織所		
皆勤賞與	三六	一八三、〇〇〇円	
期末賞與	一二七	二三三、二八〇	
船舶車輛製造業	三井物産株式會社造船部玉工場		

日給ニ依リ從事セル者ニ對シ最高八十五圓最低二十圓ヲ支給セリ（但シ男工ノミ）

一ケ年總收入工賃ノ七分掛

一日一人拾錢ノ割合（自十一月一日至十二月三十一日）

一ケ月勤皆者五拾錢給與

皆勤賞與	上半期	三四一	六、三六〇円
期末賞與	下半期	一八五	六、八七六
		一七五	六、六〇二
窯業	品川白煉瓦株式會社伊部工場		
精勤賞與	一ケ月	二二〇	九〇〇、〇〇〇円
期末賞與		二〇〇	四二一、八〇〇
窯業	三石耐火煉瓦株式會社		
期末賞與		一五〇	五〇円
窯業	九州耐火煉瓦株式會社伊部工場		
期末賞與		一一二	四七二、六〇〇円
製紙業	岡山製紙株式會社		
皆勤賞與		一四九	二、〇七六円
精勤賞與		三〇	一四八
勤續末與		八	九五二
期末賞與		一五八	七、二三二

役付職工一ケ年欠勤七日以内日給五日乃至廿日分
平職工同　三日以内同　五日乃至廿日分
役付職工ニノミ支給ス

一ケ月間欠勤一日以内ノ者ニ實收一割給與ス

職工出勤奬勵ノ爲メ期末皆勤賞與規定ヲ設ケ一期營業期間中公休以外ニ一日ノ缺勤ナク出勤シタル者ヲ皆勤トシ日給金拾日分ヲ支給ス

同上三日以内ノ缺勤者ヲ精勤トシ日給金四日分ヲ支給ス

勤續皆勤賞與規定ヲ設ケ左ノ賞與金ヲ給ス
三ケ年皆勤（日給金二十日分）六ケ年皆勤（日給金二十五日分）
九ケ年皆勤（日給金百八十日分）十二ケ年皆勤（日給金二百四十日分）十五ケ年皆勤（日給金三百日分）皆勤十五ケ年以上八ケ年ヲ加フル毎ニ日給金六十日分ヲ增加ス

期末濟勞金給與規定ヲ設ケ職工一期間ノ成績ヲ調査シ毎年六月十二月ノ二回支給ス

製紙業　天城板紙合資會社

皆勤賞與	一〇六	一六七、四一	円
精勤賞與	二八	三一、八六	

一ケ月皆勤者ハ日給一日分繼續二ケ月目ハ日給二日繼續六ケ月目ニハ日給三日分ヲ支給ス六ケ月迄ニテ更新ゼバ七月ヨリ實施）
一ケ月一日以内ノ欠勤者遲刻三度以内ヲ精勤者トシ日給ノ二分ノ一ヲ支給ス（七月ヨリ實施）

護謨製造業　丸五足袋株式會社

皆勤賞與	二八	四三六、八〇	円
期末賞與	二六五	二、五〇〇、〇〇	

一ケ月皆勤一日分

護謨製造業　釣鐘護謨株式會社

皆勤賞與	延人員 一、三九四	二、〇三九、九〇	円
精勤賞與	年末 二	六、〇〇	
勤續賞與	五ケ年（年末）一ケ年一四〇	七〇、〇〇〇 一〇〇、〇〇〇	
期末賞與	年末 二一三	七一三、〇〇	

受負者一ケ月皆勤者ニ對シ給料全額ヲ出勤日數ニテ割リタル一日分平均壹圓廿錢
日給者一ケ月皆勤者ニ假定日給一日分ヲ皆勤賞與トス
一ケ年間遲刻若クハ早引一回ノ者ニ對シ參圓
五ケ年引キ續キ勤續シタルモノニ五圓
一ケ年皆勤者ニ對シ五圓

護謨製造業　中國工業株式會社

滿期賞與	一三	七七一	円

三ケ年間取高ノ百分ノ五

護謨製造業　千里足袋株式會社

期末賞與	一八〇	一、三〇〇	円

一、〇〇〇 円

人造肥料製造業　神島人造肥料株式會社神島工場

皆勤賞與	七三	一、〇八六、六一	円
期末賞與	七一	三、二九一、七九	

一ケ月全日數出勤セル者ニ對シ本給二日分給與
職頭ニハ本給ノ四〇日分
小頭ニハ同三〇日分
職工ニハ同二〇日分

人造肥料製造業　大日本人造肥料株式會社岡山工場

皆勤賞與	六三	一、二〇八	円
期末賞與	五七	二、八〇〇	

一ケ月間全日數出勤シタル者本日給ノ二日分
一ケ月間出勤スヘキ全日數出勤シタル者本日給ノ一日分

精穀製粉業　日清製粉株式會社岡山支店工場

皆勤賞與	五四七	一、〇九四	円
精勤賞與	四三	四三	
期末賞與	一二〇	四、一三〇	

一ケ月間遲刻早退ナキ皆勤者
一ケ月間一回一日以内ノ欠勤者
每季末會社ノ業績及ビ工手ノ勤續年數、勤務成績等ニヨリ參酌ノ上給與

印刷製本業　山陽新報社

皆勤賞與	八二	一、〇八二、一〇	円
精勤賞與	一三九	一三五、七〇	

日給ノ拾日分　其ノ他ニ每月日給三日分給與（其ノ金額每月變更スルニ付記入セズ）
出勤率及業務成績ニヨリ

印刷製本業　中國民報社

期末賞與	延人員 二〇六	一、〇三〇	円

勤務日數ニ依ル

精勤賞與	二	一五	円		

瓦斯業　岡山瓦斯株式會社

皆勤賞與		四一			職工ニシテ一ケ月欠勤無キ者ニハ別ニ皆勤手當トシテ賃金ノ三日分ヲ賞與ス　但シ見習職工及定夫ヲ除ク
精勤賞與		五九			職工及見習職工ニシテ十日間勤續ノ者ニ對シテ勤勞手當トシテ左ノ金額ヲ賞與ス 日給七拾錢以下ノ者五拾錢 日給九拾錢以下ノ者六拾五錢乃至七拾錢 日給壹圓拾錢以下ノ者八拾錢乃至九拾錢 日給壹圓參拾錢以下ノ者壹圓乃至壹圓拾錢 日給壹圓參拾錢以上ノ者壹圓貳拾錢
期末賞與	上半期	五五	円	一、五六一、一〇〇	職工長、組長、見習職工、中途職工任命者、職工等ノ五種ニ區別シ出勤日數ニヨリ賞與ス
	下半期	五八		一、六六三、七〇〇	
特別賞與	上半期	五五		五〇〇、〇〇〇	平日ノ成績如何ヲ參酌シ賞與ス
	下半期	五八		四七九、二〇〇	

貯金及金融

九　貯蓄金及金融附簡易保險其他

一　貯金

従業員ノ貯金ヲ奬勵シテ勤儉節約ノ風ヲ興シ其ノ生活狀態ヲ改善シ不慮ノ災難ニ備ヘ以テヨク恒心ヲ養フト共ニ後顧ノ憂ヲ少ナカラシメ延テハ堅實ノ氣風ヲ練成センコトヲ圖ルハ極メテ必要ノ事項デアル規模大ナル工場ニハ大抵何等カノ方法ヲ以テ貯金ヲ奬勵シ或ハ相當ノ規定ノ下ニ强制貯金ヲ行ハシメ或ハ適當ノ方法ニヨリテ隨意ニ貯金セシメ殊ニ紡績、製糸工場ノ如キ多數ノ寄宿舍女工ヲ有スルモノニハ特ニ意ヲ用ヒテ節約貯蓄ノ奬勵ニ努メラ居ル貯金方法ハ大別シテ强制貯金、任意貯金ノ二種類デアッテ强制貯金ハ工場ノ方デ毎月賃金中カラ一定ノ額ヲ差引キ貯金セシムル方法デアリ任意貯金ハ規定又ハ規約ニヨリ或ハ各自適宜ノ額ヲ定メ或ハ隨時節約ノ餘資ヲ貯金スルノデアル

强制貯金ハ勿論監督官廳ノ許可ヲ得ネバナラヌガ管理ニツイテハ會社ニ於テ之ヲ管理スルモノ、確實ナル銀行ニ預金スルモノ或ハ郵便貯金トスルモノ若ハ信用組合ニ預金スルモノガアル强制貯金ハ一般ニ會社ニ管理シテ之ヲ資金ノ一部ニ流用シテ居ルノデアル任意貯金ハ銀行、郵便局、信用組合ニ預金シテ居ルモノガ大多數デアル

尚ホ職工ガ其零碎ナル給與ヲ割ヒテ他日臨時緊急ノ所要ニ應シ生活ノ安定ニ資スルト相俟テ不慮ノ異變ニ處シ家族ヲシテ其ノ惜置ニ或ハザラシムベキ一端ニ供センガ爲メニ近時各方面ニ於テ簡易生命保險ノ加入ヲ奬勵スルモノ漸次增加スルニ至ッタ之等ノ多クハ遞信省保險局ト連絡シテ加入團体ヲ組織シ會社ニ於テ其ノ取扱ヲナスモノ又ハ希望ニヨリ給料中ヨリ掛金ヲ控除シ郵便局ニ納付スルモノ等ガアル

二　金融

従業員ノ勤儉ニヨリ貯蓄シタル餘資ハ之ヲ不時ノ變厄ニ備ヘ若クハ緊急已ムベカラザル臨時ノ支出ヲ目的トスベキハ勿論デアルガ急速ノ異變又ハ一時ニ多額ノ支出ヲ要スル等ノ爲メ從來ノ貯金ヲ以テ之ニ充當スルニ足ラス若ハ平素若干ノ貯蓄金ヲ存セシメ別ニ相當償還ノ途アル場合ニ於テ便宜金融ノ法ヲ講シテ經濟ノ緩和生計ノ安定ニ資スルハ極メテ切要ナル事デアル

金融ノ方法ニツイテハ大別シテ會社ノ直接管理ニ屬スルモノト職工ノ自治組織ヲ成セル組合ノ管理ニ屬スルモノトニ分ッテ居ル會社ノ直接管理ニ屬スルモノハ一般ニ無利子ヲ原則トシ本人又ハ家族ノ申出ニ依リ其必要ノ事由及ヒ家庭又ハ職工生活ノ狀態ヲ調査シテ所要額ヲ融通シ其ノ金額ヲ制限スルモノハ參百圓迄ノ範圍

ニ於テシ又ハ收入貸金額ノ八割以内ヲ限度トシ又ハ月賦拂トシテ毎月給料支給日ニ其所定額ヲ控除シテ返濟セシムル等ノ方法ニヨルモノモアル

職工ノ組織セル組合ノ管理スルモノハ共濟組合ノ規約ニ基キ其資金ヲ以テ低利融通ノ途ヲ開キ組合員又ハ其家族ノ傷病、死亡其他不慮ノ災厄ニ罹リ意外ノ失費ヲ要シテ生計困難ナル場合ニ於テハ其事情ヲ調査シテ相當額ヲ貸與シテ居ルモノヲ工場別ニ掲ケテ見ヨウ

貯金施設

事項 / 工場名 / 區分	銀行預金 預金額	利率	預金人員	郵便貯金 預金額	預金人員	會社保管 預金額	利率	預金人員	信用組合其他組合預金 預金額	利率	預金人員	貯金奬勵方法
製糸業												
郡是製糸株式會社 津山工場												
強制養務貯金												
任意貯金				二〇〇、〇〇円	一五	三八、九三七、一九円	月〇、八厘	七二〇				
郡製糸株式會社 久世工場 備作製糸株式會社 岡山工場 備作製糸株式會社 作州工場												
強制養務貯金						二、八〇〇、〇〇年八朱二厘		一三〇				
任意月掛定期貯金						三八、三六五、〇八分		四八〇				
身元保證金貯金						二、〇〇〇、〇〇年八朱		二〇〇				
中備製糸株式會社												
任意月掛定期貯金	二、三三、六六〇円	年四分	二三									
任意貯金	二〇、〇〇銭	日歩壹厘	二			三、〇八八、七二	日歩一銭八厘	一九九				
中備製糸株式會社 笠岡工場												
任意貯金						二、〇〇〇、〇〇年八朱		一四〇				
強制養務貯金	四、七三〇、〇〇円	八分八厘	一〇九				日歩一銭三厘					
三河製糸株式會社 備前工場												
任意簡易保險												

事項 / 工場名 / 區分	銀行預金 預金額	利率	預金人員	郵便貯金 預金額	預金人員	會社保管 預金額	利率	預金人員	信用組合其他組合預金 預金額	利率	預金人員	貯金奬勵方法
東備製糸株式會社												
強制金												身元保證金貯
任意月掛定期貯金						一、六八四、〇〇年七朱		一三				
製糸業												
久米製糸販賣利用組合						三、一三〇、〇〇月六分		三一				
合資會社原田製糸場						二、四四二、六六月六厘		一三				
強制養務貯金						二、三七二、三年五朱		一五〇				
強制規約貯金									七〇、〇〇月		五〇	
中國蠶糸株式會社									六朱二厘			
任意貯金									一、七八四、一三年六朱		一五〇	
糸業												
眞庭製糸株式會社												
強制養務貯金												
規約貯金	三〇〇、〇〇六朱		二〇	三〇〇、〇〇	五〇	六〇、〇〇六朱		一〇	五〇、〇〇六朱		二〇	
河内玉藏製糸株式會社												
強制養務貯金												
滿期貯金	三〇、〇〇六朱		三									
精勤賞與貯金	三〇、〇〇		三									
任意簡易保險				五、〇〇	一〇							
有終製糸株式會社												
強制規約貯金	八三、六三四朱八厘		七六									
紡績業												
鐘淵紡績株式會社 岡山工場												
任意貯金												
簡易保險	一、四三〇、〇〇円	元厘	一四									
鐘淵紡績株式會社 岡山絹糸工場												
任意月掛定期貯金												
簡易保險	一〇四、六五八、〇〇円	九朱及一割	一、三〇									
任意貯金	二、一六九、三〇	一割	一〇三									
定期貯金	六〇九、三〇	一割	一四三									
鐘淵紡績株式會社 備前工場												
任意簡易保險	一四八、三〇二、一一	一割	一、〇三二	一、二六八、三〇	二六九	一、六四〇、七七八、一三	一割	一、一三				
						三、八五六、四三一	一割二厘	二二				
								(在鄉軍人) 一、〇三二				

(特ニ高率ノ利子ヲ付ス)

倉敷紡績株式會社倉敷工場	強制	義務貯金						六、一六九、八四円	八朱	四六			
	任意	月掛定期貯金						九一九、八〇	八朱	七六七			
	任意	長期据置貯金						三六、九〇〇、三三	八朱	七五八			
倉敷紡績株式會社萬壽工場	任意	月掛定期貯金						一〇〇、〇三九、〇〇	年八朱	二、二五三			
倉敷紡績株式會社玉島工場	任意	貯金						三四、一二五、五八	年八朱	五四七			
倉敷紡績株式會社岡山北方工場	強制	貯金						八、五八四、三八	八朱	三八			
	任意	貯金						六二、二六六、〇一	八朱	五一六			
倉敷紡績株式會社早島工場	強制	規約貯金	一、一七	五朱三厘	一四七								
	任意	貯金						二六、五五五	年八朱	四二〇			
近江帆布株式會社味野工場	強制	規定貯金						三、七九九、〇六	日歩二錢三厘	一、五九八			
	任意	貯金						五八、七三八、五九	日歩二錢三厘	六九九			
近江帆布株式會社琴浦工場	強制	規約貯金						四、一二四、四〇	八分	六七七			
	任意	貯金						二四、六八八、三五	日歩貳錢	一四五			
福島紡績株式會社笠岡工場	強制	満期貯金						七、〇〇八、三五	年八朱	八、九〇八			
	任意	簡易保険				二六八、六〇円	三五六						
	任意	貯金						九、六〇八、七〇	年八朱	六〇三			
株式會社牛田綿行紡績部	強制	身元保証金貯金						六、九〇五、五四	七朱	五三八			
權山撚糸紡績株式會社倉敷支店	強制	貯金	一、〇四二、三五		九一								
正織株式會社	強制	規約貯金				四、二六八、〇〇円	三八〇						
	任意	義務貯金											

株式會社井原織物所	任意	月掛定期貯金	一、四〇三	年五朱	五八	二〇七	一〇				一、三二七	六朱	四二
	任意	長期据置貯金									三九九、五五	七朱	一六
	任意	簡易保険				二一五	一二						
備前織物株式會社	強制	規約貯金						三、七六〇、一〇		一五九			
	任意	月掛定期貯金						八、二八七、一五	一割五朱六毛	五五			
	貯金奬勵方法	(每月各人所得ノ百分ノ五ヲ規約貯金トシ三ヶ年引續キ勤續ノモノニソノ貯金額ト同額ノ賞與ヲ加エテ支給ス以後一ケ年毎ニ貯金ヲナシ一ケ年後ソノ二割ヲ賞與トシ加エテ支給ス(前葉滿期賞與參照)											
備前織物株式會社茶屋町工場	強制	義務貯金						三、六九四、〇三		一七一			
	任意	信認貯金						二、七四五、九八	一割强	一一五			
	貯金奬勵方法	一、義務貯金ハ三ケ年(會社ニ勤續セル人ニ限リ)(每月總工賃ノ百分ノ五ヲ積マシメ)月々倍額ニテ與ヘ三ケ年以後ハ一年以上勤續セルモノニ金貳割ノ利息ヲ附シ返戻ス 二、信認貯金トノ利息ヲ附シ貯金奬勵ノ方法トス											
山陽織物合資會社	任意	月掛定期貯金						一、五三七、〇〇	六朱	四五			
合資會社大島工場	強制	義務貯金						七二七、八二	日歩貳錢	一二二			
日本綿布株式會社	任意	月掛定期貯金									八二〇、〇〇	六朱	五二
	任意	長期据置貯金									一、三三五、二九	六朱三厘	三七
日本殖産株式會社	強制	貯金						八〇七、三二、六〇		一〇一			
高岡織物株式會社	任意	記念貯金				一、一三四、〇〇	九八						
山陽製織株式會社	強制	身元保証金貯金						七九、〇〇	六朱	四八			
清松社織工場	任意	月掛定期貯金	一、六七六、〇〇		三七								
山本織布工場	強制	貯金						一〇〇、〇〇〇	四五	七五			
惠藤染織工場	強制	規約貯金	一、六〇〇、〇〇	五分	七〇								
第一織布工場	強制	規約貯金	四九九、六七	一日百圓ニ付[illegible]	一九〇								

織物業	矢掛織布株式會社	任意 月掛定期貯金	三五〇、〇〇円		五					
		任意 簡易保險				二〇、〇〇円	一〇			
船舶製造車輛業	三井物産株式會社造船部玉工場	強制 義務貯金						四五、八九七、七八円	月六分	一四三
製紙業	岡山製紙株式會社	強制 身元保証金貯金						四四、九三五、〇〇	日歩貳錢	一六〇
		任意 簡易保險				九八〇、〇〇	三四			
護謨製造業	丸五足袋株式會社	強制 義務貯金				一、八六三、七八	一五七			
	錦約護謨株式會社	強制 義務貯金	二、七九七、三四五分四厘		三三					
	千里足袋株式會社	任意 簡易保險				三五〇、〇〇	六四			
染料塗料顔料糊料類ノ製造業	尾崎染料製造所	強制 規約貯金	一〇七、〇〇		一〇七					
人造肥料製造業	神島人造肥料株式會社神島工場	強制 規約貯金				三、〇八七、〇〇	七三			
	合資會社神徳組	任意 月掛定期貯金				四五〇、〇〇	四七			
	大日本人造肥料株式會社岡山工場	強制 規約貯金				五、八〇五、九〇	五九			
		強制 義務貯金				四〇三、一五（會社補助）四〇三、一五	五九			
精穀製粉業	日清製粉株式會社岡山支店工場	任意 簡易保險				二〇五、二〇	一四			
		任意 貯金						五、九二九、六三	年八朱	三三

印刷製本業	山陽新報社	強制 義務貯金						二、四八三、一八円	年七朱三厘	一三
雜工場ノ雜業	木村株式會社	任意 月掛定期貯金						三、六九五、三二	八朱	七三
	梶村帽子原料製造工場	強制 規約貯金				一、五六二、〇〇円	二九			
瓦斯業	岡山瓦斯株式會社	強制 身元保証金貯金						五、五二六、〇〇	七分五厘一五〇円以上 一七分一五〇円以下	六〇
		任意 簡易保險				一〇〇、六九	三			

倉敷紡績株式會社早島工場早工貯金組合規約

第一條　本組合ヲ早工貯金組合ト稱ス

第二條　本組合事務所ヲ倉紡早島工場事務所内ニ置ク

第三條　本組合ハ倉紡早島工場從業員ニシテ本組合ノ趣旨共鳴者ヲ以テ組織ス

第四條　本組合ハ共同一致ノ精神ニヨリ勤儉貯蓄以テ産ヲ治メ生活安定ノ基礎ヲ築クヲ以テ目的トス

第五條　本組合ハ其目的ヲ遂行スルタメ第六條ヨリ第七條ニ至ル規定ニヨリ規約貯金ヲ行フ

第六條　本組合ハ毎月一回組合員ノ工金中ヨリ金貳圓也ヲ差引キ組合員各個ノ名義ノ通帳ニヨリ貯金ス但事由アルモノハ幹事ニ申出テ其額ヲ増減スルコトヲ得此ノ場合ノ最低限度ヲ金壹圓也トス

第七條　本組合員ハ前條外ニ於ケル金錢ヲ組合長ノ承認ヲ得本規約貯金ニ繰入ルヽ事ヲ得

第八條　本組合ハ其工金拾五圓ニ滿タサル組合員ニ對シテハ其月ノ拂入ヲ免除スルコトヲ得但シ此ノ場合ハ遲滯ナク幹事ニ申出ヅルモノトス

第九條　本組合貯金ハ組合員退社時迄引キ出サヽルモノトス但シ已ムヲ得サル事由アルモノハ組合長ノ許可ヲ得テ引キ出スコトヲ得

第十條　本組合貯金ハ組合長組合員ノ貯金額ヲ計算部ニ申告シ會計係工金中ヨリ之ヲ控除シ預入ヲ了シタル通帳ハ組合長ヲ經テ組合員ニ引渡スモノトス

第十一條　本組合貯金ハ合同銀行早島支店ニ預入ルルモノトス但單一組合員ニ依ル額ハ公示セス

第十二條　本組合ハ毎月度本組合ノ狀況ヲ公示スルモノトス

第十三條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長　一名　幹事　若干名

一、組合長ニハ社宅通勤係ヲ推薦ス　二、幹事ハ組合員ノ互選トス

第十四條　役員ノ任期ハ之ヲ壹ケ年トス但再任ヲ妨ケス補缺員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第十五條　本組合ニ顧問ヲ置ク顧問ニハ工場長工務課長事務課長ヲ推薦ス

第十六條　役員ハ名譽職トス

第十七條　役員ノ職責左ノ如シ

一、組合長ハ組合ヲ統括シ本規約ノ定ムル權限ヲ執行ス

二、幹事ハ組合長幹事ハ組合長事故アル時之ヲ代理ス

第十八條　本組合ハ重要案件ヲ審議スル爲組合長、幹事ヲ以テ幹事會ヲ組織シ必要ニ應ジ組合長ハ臨時總會ヲ開催スルコトヲ得

第二十條　本組合ハ宣誓ヲ附シタル組合加入届ヲ組合長ニ提出シ組合員名簿ニ其ノ登錄ヲ終了シタルニ依リ其ノ資格ヲ生ス

第二十一條　本組合ヲ離脫セントスルモノハ幹事會ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第二十二條　本組合員ニシテ組合ノ主旨ニ違背シタリト認メタルトキハ幹事會ノ決議ヲ以テ除名スルコトアルベシ

第二十三條　本組合ハ本規約貯金ノ貯入先ニ於テ破産其他已ムヲ得サル事故ヲ生シ組合員ニ損失ヲ與ヘタル時ト雖モ其ノ責ヲ負ハス

第二十四條　本組合ハ事務執行ニ要スル實費ヲ組合員ヨリ徵集スルコトアルヘシ

第二十五條　本組合ハ昭和二年九月十日久宮祐子内親王殿下御降誕ノ吉日ヲ以テ創立ス

金融施設

事業別	工場名	區分	貸付金額制限	貸付期間	貸付利率	貸付事由	貸付範圍	貸付延人員	貸付金總額
製糸	郡是製糸株式會社津山工場	會社金融	工賃前借	一ケ年給料取高見込七割内	年一割五厘迄	家事上ノ借入	一般職工	五〇二	二、〇〇〇、〇〇〇圓
製糸	東備製糸株式會社	會社金融	工賃前貸	金五〇圓以下六ケ月	無利息月賦又ハ年賦貸付	家事上ノ借入	職工、家族	九五二	二、五六〇、〇〇〇
製糸	久米製糸利用販賣組合	會社金融	工賃前借	一ケ月賃金位一ケ月	同	家庭ニ於ケル物品購入	職工	四一三	三、七九九、七〇〇
製糸	河内玉繭整理株式會社	會社金融	工賃前貸	一時立替	無利息貸付ハ年賦貸付	朱家事上ノ借入	職工、家族	五	五〇〇、〇〇〇
製糸	同	同	同	一〇〇圓六ケ月五〇圓六ケ月一〇〇圓三ケ月一〇〇圓一ケ年五〇圓一ケ年	同	同	同	六〇一	一、二〇〇、〇〇〇
製糸	同	同	同	同	同	同	同	一〇	三〇〇、〇〇〇
製糸	同	同	同	同	同	同	同	五	五〇〇、〇〇〇

織物業									
山陽織物合資會社	會社金融通	無利息月賦又ハ年賦貸付		家計上必要ニ基キ又ハ不時ノ出來事或ハ災厄ニ罹リタルトキ	一般職工	一、二三〇	九、六四〇、〇〇〇		
福島紡績株式會社笠岡工場	會社金融通	工賃前貸	一ケ月二回以内前貸ス勤務月數ノ八歩以内	月末迄無利息					
尾崎染料製造所	會社金融通	工賃前貸	各自工金ノ支拂高ノ三歩以内	毎月末迄	家計上必要	常傭職工	六〇六、三五九、〇〇〇		
合資會社神鐵組	會社金融通	工賃前貸	一ケ月		家計上必要	一般職工	七二〇、三五〇、〇〇〇		

倉紡交友會萬壽支部金融事業規約

第一條　本事業ハ會員中經濟上窮迫セルモノニ金融ノ便ヲ計リ家計ノ円滑ヲ期スルヲ目的トス

第二條　本事業ハ支部長ノ統轄下ニ家庭部幹事之レガ經營ニ當ルモノトス

第三條　本事業ノ資金ハ會費中ヨリ支出シ別途勘定トス　但シ支部長ノ承認ヲ得テ借入ヲ爲スコトヲ得

第四條　貸出ハ一戸一人ニ限リ一人一口トシ金額金參拾圓以内トス

第五條　利率ハ日歩金貳錢トシ計算上錢位以下ハ切上ケトス

第六條　貸出期間ハ六ケ月以内トス

第七條　返濟方法ハ六ケ月以内ノ月賦トシ一回六分ノ一以上償却スルモノトス

第八條　貸出金額ニ對スル保証人ノ數左ノ如シ

金拾圓以下　一人　　金拾圓以上　二人

第九條　保證人ハ勤續一ケ年以上年齡二十歳以上ニシテ本會ニ對スル債務者ナラサル會員ニシテ幹事ノ認定シタルモノニ限ル　但シ寄宿在住者ハ此ノ限リニ非ス

第十條　貸與ヲ受ケントスルモノハ其事由及保証人ヲ選定シ係幹事ノ紹介ヲ受クルモノトス

第十一條　係幹事ハ貸與ヲ願出タルモノアルトキハ其事情ヲ審査シ必要ト認メタルトキハ支部長ノ承認ヲ經テ貸與スルモノトス

第十二條　係幹事ハ毎月債務者各人ノ償却額ヲ調査シ計算係ニ送付取立ヲ依囑ス

第十三條　償却金ハ工金其他ノ支給金ヨリ控除ス　但シ之等ノ支給金ナキ場合ハ遲滯ナク現金ヲ以テ納入スルモノトス

第十四條　債務者會員タルノ資格ヲ失ヒ又ハ休職休業トナリタル場合ハ殘額全部ヲ返還セシム　但シ休職休業者ニ限リ保証人承認アル場合ハ之レヲ猶豫スルコトヲ得

第十五條　保證人會員タル資格ヲ失ヒタル時ハ直ニ之ヲ補充セシム

附　則

一、本規約ハ昭和二年　月　日ヨリ之レヲ實施ス

二、本規約ノ改正ハ支部委員會ニ於テ之レヲ決ス

三、本規約取扱ニ關スル質疑ハ支部長之レヲ決ス

書類樣式

借用證書

一金　圓也　但シ利息日歩貳錢也

借用理由

返濟期間及方法

右ノ通リ正ニ借用候也就テハ規約ヲ嚴守履行可致萬一不履行ノ場合ハ保證人ニ於テ辨償シ御迷惑相掛申間敷候也

昭和　年　月　日

借主

保證人

保證人

倉紡交友會萬壽支部長　殿

住宅

一〇　住宅

從業者居住設備ハ保健衛生上極メテ重大ナル關係ヲ有シ其ノ設備ノ良否ハ直接從業者及其家族ノ生活ニ甚大ナル影響ヲ與ヘルモノデアル然ルニ其ノ設備ニハ比較的多額ノ費用ヲ要スル關係上從前ハ多クノ事業者ハ之ニ重キヲ置カス極メテ不完全ナルモノ多數ヲ占メ製糸、紡績、織物工場等ニ於ケル社宅、寄宿舍ハ衛生上其他ノ点ヨリ見テ殊ニ寒心スヘキ情態デアッテ識者ノ心ヲ痛マシメタ事ハ久シイモノデアッタガ近時一般産業福利施設ノ發達ト共ニ從業者居住設備モ亦長足ノ進歩ヲナシ特ニ最近ノ産業界最盛時ニ於テハ一ッノ職工誘致策トモナルノデ其改善ハ目覺シイ程デアッタ勿論現在ト雖モ未ダ舊態ヲ改メナイ所ガナイデモナイガ殆ド完全ニ近イ設備ヲ有スル工場ヲモ見ルニ至ッタ

居住設備ヲ社宅、寄宿舍ノ二ニ分チテ左ニ其概要ヲ述ベル

一　社宅

社宅ハ主トシテ家族持チノ從業員ニ貸與スルモノデ製糸、紡績、織物工場ハ其性質上該施設最モ發達シ殆ド總テノ之ヲ設備シテ多數職工ヲ收容シテ居ル就中紡績工場デハ一ケ町村ヲ形成シテ居ル有樣デアッテ長屋式平屋建デアル何レモ一區域ニ集中シテ建テラレテ居ル工場トノ距離モ餘リ遠カラサル所デ一、二町遠クテ五、

六町位ノ所デアル

一月ノ間數ハ少キハ四疊半一間位カラ六間三十一疊位ノモノガアル家賃ハ最高十六圓位ノモノガアルガ一般カラ見レバ非常ニ低廉ナモノデ尚ホ工場ニヨレバ無料デ貸與シテ居ル所モ多クアル

住宅地域內ニハ水道、井戸、物干、野菜栽培ノ畑地、運動場、日用品分配所、簡易食堂、集會所、共同浴場等ヲ設備シテ居住者ノ便宜ヲ計ツテ居ル所モアル今各工場別ニ其施設內容ヲ揭クレバ次ノ通リデアル

社宅施設ノ一

事業ノ種類	工場名	區分	建物構造	一戸社宅 坪數	一戸社宅 室數	一戸社宅 疊數	一ケ月家賃	電燈 個數	電燈 燭光	電燈 料金	瓦斯 個數	瓦斯 料金	水道料	戸數
製糸業	美作製糸株式會社岡山工場	普通職工	平屋建瓦葺	七、〇〇	三	八、〇	無徴收	二	三二	無徴收			無徴收	二
	三河製糸株式會社備前工場	普通職工	同	六、〇〇	二	九、〇	同	一	一六	同			同	二
		同	同	五、二五	二	八、〇	同	一	一六	同			同	二
	東備製糸株式會社	役付職工	同	三、〇〇	一	六、〇	同	一	一〇	同				三
		普通職工	同	三、〇〇	一	六、〇	一、〇〇円	一	一〇	同				六
	合資會社原田製糸場	普通職工	平屋建亞鉛葺	八、〇〇	一	一〇、〇	無徴收	一	五〇	同				一
		同	同	六、〇〇	一	八、〇	同	一	二四	同				一
		同	同	八、〇〇	二	一二、〇	同	二	三二	同				一
		同	同	七、〇〇	二	一〇、〇	同	二	三二	同				一
	河內玉繭整理株式會社	役付職工	平屋建瓦葺	二〇、〇〇	四	二〇、〇	同	三	四八	同				一
紡績業	鐘淵紡績株式會社岡山工場	役付職工	二階建瓦葺	一二、〇〇	四	一七、〇	六、三〇円	三	三六	一、〇五円			家族四人迄七十二錢以上一人ニ付十八錢	二三
		役付職工及普通職工	平家建瓦葺	一二、〇〇	三	一三、五	役付三、三〇 普通二、七〇	二	二〇	六〇			家族一人ニ付拾貳錢	八一
		普通職工	同	一一、〇〇	二	一一、〇	二、二〇	一	一〇	三〇			同	一五
		役付職工及普通職工	二階建瓦葺	九、〇〇	三	一五、〇	役付三、五〇 普通二、九〇	二	二〇	六〇			同	八
		同	同	一四、〇〇	五	二三、〇	同三、五〇 同二、九〇	二	二〇	六〇			同	一
		同	同	九、〇〇	三	一六、〇	同三、五〇 同二、九〇	二	二〇	六〇			同	三六
		普通職工	平家建	九、〇〇	二	一〇、〇	二、一〇	二	二〇	六〇			同	一三
		同	同	九、〇〇	二	九、〇	二、一〇	二	二〇	六〇			同	一四
		同	同	九、〇〇	二	九、〇	一、八〇	一	一〇	三〇			同	三二
		同	同	七、〇〇	二	七、五	一、五〇	一	一〇	三〇			同	八
	鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場	役付職工	二階建瓦葺	一三、四二	四	一四、五	五、二〇	三	三六	一、〇五			三人迄參拾錢	四
		同	同	一三、四一	四	一六、五	六、一〇	三	三六	一、〇五			同	八
		同	平屋建瓦葺	一三、九六	三	一三、五	三、八〇	二	一〇	六〇			同	一
		同	同	一二、三三	三	一一、〇	三、四〇	二	一〇	六〇			同	二
		同	同	一〇、六六	二	九、〇	二、七〇	二	一〇	六〇			同	二
		同	同	一二、三〇	二	九、〇	二、八〇	二	一〇	六〇			同	二〇
		普通職工	同	一三、九六	三	一三、五	三、二〇	二	一〇	六〇	使用シ居ル所モアレ共料金ハ本人ヨリ直接瓦斯會社ニ支拂ヒ居レリ		同	三
		同	同	一二、三三	三	一一、〇	二、八〇	二	一〇	六〇			同	二
		同	同	一〇、四四	三	九、〇	二、二〇	二	一〇	六〇			同	四
		同	同	一〇、六六	二	九、〇	二、三〇	二	一〇	六〇			同	一四
		同	同	一二、三〇	二	九、〇	二、三〇	二	一〇	六〇			同	三九
		同	同	一一、〇三	二	一〇、〇	一、八〇	二	一〇	六〇			同	三〇
		同	同	一〇、四九	二	六、五	二、〇〇	二	一〇	六〇			同	二

工場	職工別	建物											
鐘淵紡績株式會社備前工場	役付職工	平屋建瓦葺	一二、〇〇	三	一三、五	主席工 三、三〇 待遇者 三、八〇	二	一六〇	三〇 四五	一	百立方呎 三〇	一石ニ付キ壹錢貳厘	三二
	同	二階建瓦葺	二〇、〇〇	階上二 階下三	階上九 階下一〇	主席工 五、五〇 待遇者 六、五〇	三	一六〇	社外六〇 八〇	一	三〇	一人當 八錢	五
	同	同	一八、〇〇	階上二 階下二	階上一一 階下八	主席工 四、五〇 待遇者 五、五〇	二	一六〇	社外六〇 八〇	一	三〇	同	七
	同	平屋建瓦葺	二〇、〇〇	四	一六、五	六、〇〇	三	一六〇	社外六〇 八〇	一	三〇	同	四
	普通職工	同	一〇、〇〇	二	九、〇	一、八〇	二	一〇五	二〇 三〇	一	三〇	一石ニ付キ壹錢貳厘	六〇
	同	同	九、〇〇	二	九、〇	一、八〇	二	一〇五	二〇 三〇	一	三〇	同	五二
	同	同	九、〇〇	二	八、〇	一、四〇	二	一〇五	二〇 三〇	一	三〇	同	五〇
	同	同	六、〇〇	一	四、五	一、〇〇	一	一〇	三〇	一	三〇	同	一二
鐘淵紡績株式會社西大寺工場	役付職工	瓦葺平屋建	三六、〇〇 二四、〇〇	六 四	三一、〇 二三、〇	一六、〇〇 八、七〇	七 四	八二	四、四六			專用 同	一 四
	同	同 二階建瓦葺	一四、〇〇 一三、五〇	三 四	一四、〇 二一、五	六、三〇 三、六〇 六、三〇	四 二 三					共用 專用	一二〇
	同	同 平屋建瓦葺	一四、五〇 一二、五〇	三 三	一五、〇 一三、五	四、〇〇 三、二〇	二 一一					共用 同	六 六
	普通職工	平屋建瓦葺	九、五〇 八、〇〇	二 二	九、〇 九、〇	一、七〇 一、七〇	一 一					共用 同	六 一一
	同	平屋建瓦葺	一、〇〇 一一、〇〇	三 二	一三、五 九、〇	三、三〇 一、七〇	二 一					同 同	二四 一九
	同	同 二階建瓦葺	一七、五〇 一二、〇〇	三 三	一三、五 一三、〇	五、〇〇 一、三〇	三 二					專用 共用	一 一〇
						家賃ハ資格ニヨリ一定セズ 居住者		燭光數區々ニシテ一定セズ	料金同上			專用ハ一人ニ付一ケ月拾五錢 共用ハ同拾錢	

工場	職工別	建物									
倉敷紡績株式會社倉敷工場（役付職工普通職工ノ區別無シ）		平屋建瓦葺	七、五〇	二	九、〇	一、四〇	一	一六	家賃内ニ含ム	一家ニ付二人マテ月二〇錢 同三人以上三〇錢	七一
		同	六、五〇	二	七、五	一、二〇	一	一六	同	同	七一
		同	七、五〇	二	七、五	一、七〇			自辨（内五厘補助）	自辨	五
		同	九、〇〇	二	九、〇	二、〇〇			同	同	一
		二階建瓦葺	六、五〇	三	一四、〇	三、四〇			同	同	四
倉敷紡績株式會社萬壽工場	普通職工	平屋建瓦葺	一三、五	一	六、〇	一、二〇	一	一〇	家賃内ニ含ム	二人迄二〇 三人以上四人迄三〇	一八八
	同		一五、〇	二	九、〇	一、六五	一	一〇	同	五人以上四〇	八八
	同		一五、〇	二	九、〇	一、七五	一	一〇	同	同	九六
	同		一八、〇	二	一〇、五	一、九〇	一	一〇	同	同	四八
	同		一八、〇	二	一〇、五	二、一〇	一	一〇	同	同	四四
	同		一八、〇	二	一〇、五	二、〇〇	一	一〇	同	同	六四
倉敷紡績株式會社玉島工場	役付職工 普通職工	平屋建瓦葺	二〇、〇	二	一〇、五	一、七〇	一	一六	三〇		二〇
	同		一八、〇	二	九、〇	一、三〇	一	一六	三〇		三〇
	同		一五、〇	一	六、〇	、八〇	一	一六	三〇		八八
倉敷紡績株式會社西山北方工場（役付職工普通職工ノ區別ナシ）		平屋建瓦葺	一〇、五	三	一二、五	二、六〇	二	一〇			六
		同	八、五	二	一〇、五	二、三〇	二	一〇			六
		同	八、〇	二	九、〇	一、八〇	一	一〇			一二
		同	九、五	二	一一、〇	二、五〇	二	自一〇至二四	一燈一〇 四〇	無料	一八
		同	八、〇	二	九、〇	二、〇〇	二	自一〇至二四	一燈一〇 四〇	無料	七六

紡績業	倉敷紡績株式會社早島工場	役付職工	同	一五、〇〇 一四、〇〇	三 四	一二、五 一二、五	一、八〇 一、八〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				五 一
		同	同	一五、二五 一〇、〇〇	三 三	一二、五 九、五	一、八〇 一、一〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				一 四
		同	同	一一、一二 九、六六	二 三	九、〇 九、五	一、三〇 一、一〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				一 二
		同	同	一一、〇〇 一三、五〇	三 三	九、五 一二、五	一、一〇 一、八〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				四 一
		普通職工	同	一五、〇〇 一六、五〇	三 三	一二、五 一二、五	一、八〇 一、八〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				五 四
		同	同	一四、二五 一二、七五	三 三	一二、五 一二、五	一、八〇 一、八〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				一 一
		同	同	一四、〇〇 一六、四七	四 四	一二、五 一四、〇	一、八〇 一、八〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				二 一
		同	同	一五、二五 一三、〇〇	三 三	一二、五 一一、〇	一、八〇 一、六〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				一 六
		同	同	一〇、〇〇 一二、二五	三 三	九、五 一二、五	一、一〇 一、八〇	一 一	一〇 一〇	二五 二五				一三 八
	近江帆布株式會社味野工場	役付職工	平屋建瓦葺	一〇、二〇	三	九、〇	二、五〇	一	一〇	無徴收			無徴收	一一
		普通職工	同	八、三〇	二	七、五	二、〇〇	一	一〇	同			同	四七
	福島紡績株式會社笠岡工場	役付職工	同	三、〇〇	一	四、五	、八〇	一	一〇	同				一
		同	同	六、〇〇	一	六、〇	一、〇〇	一	一〇	同				三
		普通職工	同	三、〇〇	一	四、五	、八〇	一	一〇	同				五
		同	同	六、〇〇	一	六、〇	一、〇〇	一	一〇	同				七
		同	同	八、七〇	二	一〇、五	一、五〇	一	一〇	同				八
		同	同	五、〇〇	一	六、〇	一、〇〇	一	一〇	同				一〇
	福山撚糸紡績株式會社倉敷支店	役付職工	平家建瓦葺	九、〇〇	二	一二、〇	二、四〇円	二	一〇	一、四〇円				一
		普通職工	木造平屋建	六、二五	二	九、〇	一、五〇	一	一〇	七〇			一人前五錢	一〇
織物業	正織株式會社	役付職工	平家建瓦葺	六、〇〇	二	九、〇	四、五〇円	一	一六	七五円				一〇
	備前織物株式會社	普通職工	二階建瓦葺	五、〇〇	一	八、〇								一
		同	同	四、〇〇	一	六、〇								七
		同	平家建瓦葺	七、〇〇	二	八、〇	二、〇〇							一二
	備前織物株式會社茶屋町工場	役付職工	同	七、〇〇	二	八、〇	四、〇〇	一	一六	無徴收				五
		同	同	五、五〇	二	六、五	三、〇〇	一	一六	同				二
		普通職工	同	六、〇〇	二	六、五	一、六五	一	一六	同				一
		同	同	六、〇〇	三	七、五	一、六五	一	一六	同				一
		同	同	五、〇〇	二	一〇、〇	一、〇〇	一	一六	同				一
		同	同	六、五〇	二	八、〇	一、〇〇	一	一六	同				一
		同	同	八、五〇	二	九、〇	一、九五	一	一六	同				三
		同	同	七、五〇	二	八、〇	一、八五	一	一六	同				一
		同	二階建瓦葺	一三、八〇	三	一五、〇	三、七二	一	一六	同				一
	井原興業株式會社	役付職工	平屋建瓦葺	九、〇〇	二	六、〇		二	一六					一
		同	二階建瓦葺	四、〇〇	二	一〇、〇		一	一六	七五				一
組物編物業	株式會社島田製織所	役付職工	平屋建瓦葺	七、五〇	三	一二、〇	六、〇〇円	一	一〇	無徴收			六〇	一
		普通職工	同	四、〇〇	二	六、五	四、七〇	一	一〇	同			六〇	三
		同	同	四、〇〇	一	六、〇	三、七〇	一	一〇	同			六〇	一〇

船舶車輛製造業	三井物産株式會社造船部工場	役付職工	二階建瓦葺	二一、九〇	五	三〇、五	一四、四〇円	三	一〇 一六	無徴收			無徴收	七
		同	同	一六、二〇	四	二四、五	一〇、三五	三	一〇 一六	同			同	二〇
		同	同	一三、九〇	三	一九、五	八、一〇	二	一〇 一六	同			同	二四
		同	平屋建瓦葺	二〇、〇〇	三	一五、五	六、三〇	二	一〇 一六	同			設備ナシ	一〇
		同	同	一八、〇〇	三	一一、〇	五、四〇	二	一〇 一六	同			同	二一
		普通職工	同	一一、一七	二	一〇、五	四、九五	一	一六	同			無徴收	四七
窯業	三石耐火煉瓦株式會社	役付職工	平屋建瓦葺	七、五〇	二	一二、〇	無徴收	一	一六	八三錢				二
		普通職工	同	三、〇〇	一	三、〇	同	一	一六	八三				一
		同	同	六、〇〇	二	九、〇	同	一	一六	八三				四
		同	平屋建藁葺	一〇、〇〇	二	一二、〇	同	一	一六	八三				一
	九州耐火煉瓦株式會社	普通職工	平屋建瓦葺	七、五〇	二	九、〇	同	一	三二	職工自辨				四
		同	同	七、五〇	二	九、〇	同	一	一六					一一
人造肥料製造業	神島人造肥料株式會社神島工場	役付職工普通職工ノ區別ナシ	平屋建亞鉛葺	四、〇〇	一	六、〇	五〇錢	一	一六	職工自辨				一〇
			同	六、〇〇	二	九、〇	五〇	一	一六	同				二九
	大日本人造肥料株式會社岡山工場	役付職工普通職工ノ區別ナシ	平屋建瓦葺	一〇、〇〇	二	九、〇	七〇	一	一六	同				二
			同	一二、〇〇	三	一二、〇	一、〇〇	一	一六	同				二
精穀製粉業	日清製粉株式會社岡山支店	役付職工	二階建瓦葺	二四、〇〇	六	二九、〇	四、一〇	四	一六	職工自辨			職工自辨計量	三
		同	同	一三、七五	四	一七、〇	二、三〇	三	一六	同			同	二
		普通職工	同	一三、七五	四	一七、〇	二、三〇	三	一六	同			同	二
		同	同	一〇、五〇	三	一五、五	一、九五	二	一六	同			同	六
雑工場	いしや足袋株式會社	役付職工	二階建瓦葺	一二、〇〇	三	一五、〇	無徴收	一	一〇	無徴收				五
瓦斯業	岡山瓦斯株式會社	役付職工	平屋建瓦葺	一八、〇〇	四	一五、五	無徴收				燈四 七輪栓二	二、〇〇〇	無料	一
		同	同	一八、〇〇	四	一五、五	同	一	一〇	六〇	燈四 七輪栓二	二、〇〇〇	仝	一
		普通職工	同	一三、〇〇	二	一二、〇	三、〇〇	一	一六	八〇	七輪栓一	二、〇〇〇	仝	一

社宅施設ノ二

事業ノ種類	工場名	水道栓數	井戸數	物干場坪數	野菜栽培ノ畑地坪數	運動場坪數	遊園地ノ坪數	日用品分配所ノ有無	簡易食堂ノ有無	集會所ノ有無	共同浴場ノ有無
製糸業	備作製糸株式會社岡山工場	六		二〇	二〇		六〇				寄宿舎ト併用
	三河製糸株式會社備前工場	一		三〇		五〇	一〇〇				有
紡績業	鐘淵紡績株式會社岡山工場	六五	八	九九六	五七	四五〇		有		有	有
	鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場	引込栓二六 共同栓二七		二階建一戸ニ付三坪	共同地(無料)一、三〇〇	八七〇		有		有	有
	鐘淵紡績株式會社備前工場	四三		四五〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇		有	有	有	通勤共用浴場
	倉敷紡績株式會社倉敷工場	一四	一三	各戸前ノ空地利用坪數一定セス	一五〇	一六八		有		有	有
	倉敷紡績株式會社萬壽工場	二五	二三	各戸約六	九〇〇	六〇〇	六〇〇	有	有	有	有

紡績業	倉敷紡績株式會社玉島工場	倉敷紡績株式會社岡山北方工場	倉敷紡績株式會社早島工場	近江帆布株式會社味野工場	福島紡績株式會社笠岡工場
織物業	備前織物株式會社	同　茶屋町工場	井原興業株式會社	株式會社島田製織所	三石耐火煉瓦株式會社
窯業	九州耐火煉瓦株式會社	日清製粉株式會社岡山支店	いしや足袋株式會社	岡山瓦斯株式會社	
職工數	一七八	三六	二〇	一四	三
	二七六	二二〇	一〇〇	一二	四四
	一、二四二	四〇〇	五〇〇		
	一五〇	六〇〇	二八	九四	
	有	有	八〇		
	有	有			
	有	有	有		
	有	有	有		
	有	有	有		

二　住宅手當

住宅手當ハ通勤職工ニシテ一家生計支持者ニテ社宅ニ入宅出來サルモノ又ハ社宅設備不足ノ爲メ社宅外ノ普通貸家ヲ借入レテ住居スル職工ニ對シテ手當ヲ支給シ居ル工場アルモ極メテ少數デアルガ今工場別ニ其內容ヲ表示スレバ次ノ通デアル

住宅手當

區分 / 工場名	通勤者一人ニ對スル支給金額	手當ヲ受ケル職工數 / 手當ヲ受ケサルモノノ數	支給者ノ範圍	一ケ年支給總額
紡績業 鐘淵紡績株式會社岡山工場	一ケ月一、三二乃至八、〇三	一二三〇	一家生計支持者ニテ社宅ニ入宅出來サルモノ	六九四、六八〇
鐘淵紡績株式會社岡山絹糸工場	最高三、七四　最低二、〇一（家族數ニ應ジテ相違アリ）	一〇七（內社宅居住者一八八）	通勤者ノ一部	三、二八四、四八〇
鐘淵紡績株式會社備前工場	二六〇、〇三	三五（內社宅居住者二九〇）	通勤者一部	九一一、一五〇
製糸業 河內玉繭製糸株式會社	三、〇〇〇	三		一〇八、〇〇〇

三　寄宿舍

寄宿舍ハ多數ノ女工ヲ使用スル製糸、紡績、織物工場ニ於テ最モ發達セリ而シテ之カ設備ニツキ大別スレバ三種類ニ分ツコトガ出來ル卽チ一ハ二階建合宿式、二ハ平屋建長屋式、三ハ平屋建民家式トデモ云フベキモノデアラウ

二階建合宿式ト云フノハ工場ニ普通ニ見受ケル二階建ノ長棟デアル

平屋建長屋式ト云フノハ普通ノ長屋ト同ジ樣式デ其ノ各戶ニ分宿スルノデアル

平屋建民家式ト云フノハ普通ノ人家ノ樣ニ一戶ノ平屋建トシタモノデ極メテ家族的ノ感ヲ與ヘルモノデアル

寄宿舍ニ於ケル職工ノ配置ハ晝夜業ニヨリ別棟又ハ階上ト階下ニ區別シテ之レヲ亦同鄕職工ヲ一室ニ集メテ居ル所ガ多イ樣デアル又夜業ノナイ工場デハ業務ノ種類ニヨリテ分ケテ居ル所ガ多數デアル、居室ハ一般ニ疊敷デ床ト押入ハ大低附イテ居ル疊數ハ概ネ一人ニ付一疊半乃至二疊ノ割デアル、寄宿舍設備トシテハ居室ト寢室ノ外ニ近時福利的設備ガ長足ノ進歩ヲナシタタメ衞生、慰安、運動、修養等ニ關シ相當見ルベキ施設

ガ多イ、衛生的設備トシテハ浴場、洗面所、洗濯場、物干場、結髪室、休養室、検温器、備付、暖房装置等ガ主ナルモノデ慰安娯楽設備トシテハ娯楽室、集會場、テニスコート、日用品供給所等ガ主タルモノデ修養設備トシテハ作法室、裁縫室、生花室、講堂等ニシテ其他父兄宿泊所ヲ持ツ寄宿舎モ少クナイ寄宿舎設備ノ内容ヲ工場別ニ表示シテ見レバ次ノ通リデアル

寄宿舍施

事業ノ種類	工場名	區分	建物棟數	建物總坪數	室數	總疊數	一室ニ於ケル電燈ノ個數及燭光數	最大一室疊數	最小一室疊數	一人當疊數	一人當寢具數	收容人員概數	結 室數
製糸業	郡是製糸株式會社津山工場	二階建合宿式	男一 女二 三	坪	男女 六三	男女 一、〇九四	二個 三二燭	二〇	三	男女 一、七	大數 一二	七〇〇	
	同 久世工場	二階建合宿式	女 四		四三	六三〇	二個 三二燭	一五		一、八	大數 一二	三二〇	
	備作製糸株式會社岡山工場	二階建合宿式	三	三五五	二四	六五五	二個 三二燭	三〇	一五	一、五	大數 一二	二九五	
	同 作州工場	二階建合宿式	二	二五九	一五	一二〇	一個 一六燭	一〇	六	一、五	大數 一二	九〇	
	中備製糸株式會社	二階建合宿式	一	四四	七	五八	一個 三二燭	一九	六	二、九	大數 一一	二〇	
	同 笠岡工場	二階建合宿式	一	四七	四	七三	一個 一六燭	二〇	一四	一、七	大數 一一	三九	
	同 笠岡工場	平屋長屋式	一	一三	二	一六	二個 三二燭	八	八	二	大數 一一	八	
	合名會社浮田商店	二階建合宿式	四	七六、五	一四	一七四	室ノ大小ニヨリ一個又ハ二個	一六	八	一、五	大數 一一	一二五	
	合名會社浮田商店	平屋長屋式	四	九七、五	一三	一三六	何レモ一六燭	一六	八	一、五	大數 一一	八〇	
	三河製糸株式會社備前工場	平屋長屋式	五	一七五	一五	二九〇	一個 一六燭	一三、五	一〇	一、五	大數 一二	一九〇	
	東備製糸株式會社	二階建合宿式	一	一二五	一二	一六八	一個 一〇燭	八	八	一、五	大數 一二	一二〇	
	久米製糸販賣利用組合	二階建合宿式	二	二六、五	一一	一三七	六室 一〇燭光二、五室 一〇燭光一	一七、五	八	一、二	大數 一一	一二〇	
	合資會社原田製糸工場	二階建合宿式	一	六〇	三	一一	一個 一六燭	一五	六	一、五	大數 一一	五	
	中國蠶糸株式會社	二階建合宿式	三	六二	一五	一三〇	一個 一六燭	一三	八	一	二	一四〇	一
	眞庭製糸株式會社	二階建合宿式	一	二四	八	六〇、五	一個 一六燭	九	五	一、五	大數 一二	四一	一
	河內玉繭製糸株式會社	平屋民家式	一	二八	四	二四	一個 一〇燭	八	四	二	大數 一二	三八	
	有終製糸株式會社	二階建合宿式	一	一八、五	四	三七	一個 一六燭	一〇	八	三、七	大數 一二	一〇	四
	㊥合同製糸工場	二階建合宿式	一	三〇	一〇	六四	一個 二四燭	一〇	六	二、二	大數 一二	三〇	
紡績	鐘淵紡績株式會社岡山工場	二階建合宿式	六	一、〇五八、六	八六	一、三五九、五	一個 一六燭	二四	七、五	二、三	大數 夜着 一一二	四八〇	四
	同 岡山絹糸工場	二階建合宿式 男子	二	三〇五	一六	二四〇	一個 一六燭	一五	一五	四、〇	大數 一二	六〇	
	同 岡山絹糸工場	二階建合宿式 女子	一四	一、三二八	五五	八八八	一個 二四燭	二八	二〇	一、七	大數 一二	五二〇	二
	同 岡山絹糸工場	平屋長屋式	一五	一、〇二八	六三	五五八	一個 一六燭	九	九	一、七	大數 一二	三二〇	各戸 二
	同 備前工場	二階建合宿式 男	二	三三七	二四	二三三	一個 一六燭	一五	四、五	四、六	大數 夜着 一一二	四〇	
	同 備前工場	二階建合宿式 女	六	一、一四七	一三三	一、四一七	一個 一〇燭、一六燭	一五	八	二、三	大數 夜着 一一二	六二四	二
	同 西大寺工場	二階建合宿式	三	六二	二七	七二六	一個 三二燭	二〇	二〇	二、五	大數 一二	一八〇	二
	倉敷紡績株式會社倉敷工場	二階建合宿式	一	六八	一三	二一六	一個 一六燭	二〇	八	四	大數 二二	二〇	
	倉敷紡績株式會社倉敷工場	平屋民家式	七二	一、六一六、七五	二四二	一、一三六	一個 一〇燭	九	八	二	大數 敷布 一一二	九六四	一
	同 萬壽工場	平屋民家式	八六	二、六三三、七三	三五八	二、五八二	一個 一〇燭又一六燭	一〇	三	二、五	大數 敷布 二一二	一、一〇〇	
	同 玉島工場	二階建合宿式	二	六五六	三三	七四五、五	二個 一六燭	一八	一五	一、九	大數 一二	三九六	
	同 玉島工場	平屋長屋式	一三	二九三	五三	四二八	一個 一六燭	九	八	二	大數 一二	二〇八	
	同 岡山北方工場	二階建合宿式	四	七三五	七三	一、〇七六	二個 一〇燭	一五、五	八、〇	三、五	大數 一二	三〇〇	六四
	倉敷紡績株式會社早島工場	二階建合宿式	四	二四〇	四四	四九七	一個 一〇燭	一三、五	一〇	二、二	大數 一二	二五〇	
	倉敷紡績株式會社早島工場	平屋民家式	三	三三四	四八	二三三	一個 一〇燭	六	四	二、三	大數 一二	一三六	

業別	名稱	建築樣式											
紡績業	同 備前工場	二階建合宿式（男）	二	三三七	二四	三三三	一六燭一個	一五	四、五	四、六 大數 夜着	一一二	三五〇	
		（女）	六	一、一四七	一三三	一、四一七	一〇燭一個 一六燭	一五	八	二、三 大數 の着	一一二	六二四	二
	同 西大寺工場	二階建合宿式	三	六二一	二七	七二六	三二燭一個	二〇	二〇	二、五 大數	一二	一八〇	三
	倉敷紡績株式會社倉敷工場	二階建合宿式	一	六八	一三	一一六	一六燭一個	二〇	八	四 大數	二二	二〇	
		平屋建民家式	七二一、六二六、七五		二四一	一、一三六	一〇燭一個	九	八	二 大數布	一一二	九六四	一
	同 萬壽工場	平屋建民家式	八六三、六三三、七三		三五八	二、三八二	一六燭又一〇燭一個	一〇	三	二、五 大數布	二一二	一、一〇〇	
	同 玉島工場	二階建合宿式	二	六五六	一三	七四五、五	一六燭二個	一八	一五	一、九 大數	一二	三九六	
		平屋建長屋式	一三	二九三	三三	四三八	一六燭一個	九	八	二 大數	一二	二〇八	
	同 岡山北方工場	二階建合宿式	四	七三五	七三	一、〇七六	一〇燭二個	一五、五	八、〇	三、五 大數	一二	三〇〇	六四
	倉敷紡績株式會社早島工場	二階建合宿式	四	二四〇	四四	四九七	一〇燭一個	三、五	一〇	二、二 大數	一二	二五〇	
		平屋建民家式	三	三三四	四八	二五三	一〇燭一個	六	四	三三 大數	一二	一三六	
	近江帆布株式會社味野工場	二階建合宿式	六	三五七、五六	六八	一、〇四五	一〇燭二個	一七、五	一五	一、四九 大數	一二	四〇〇	六
	同 琴浦工場	二階建合宿式	六	四六五	五五	七二九	一六燭一個	二〇	一〇	二 大數	一二	三〇〇	二
	福島紡績株式會社笠岡工場	二階建合宿式	三	三八三	三九	三八〇	一六燭一個 一〇燭一個	一三	八	一、五 大數	二一	三九〇	
	福山撚糸紡績株式會社倉敷支店	平屋建長屋式	一	二五	四	三六	一六燭一個	六	三	四 大數	一二	五	
織物業	正織株式會社	二階建合宿式	二	三一七	四〇	四六三	一六燭一個	三、五	三	一、九 大數	一二	二三〇	
	株式會社井原織物所	平屋建長屋式	二	八六	一四	一三八	一六燭一個 五〇燭	一四	三	二 大數	一二	六〇	
	尾崎織物株式會社	二階建合宿式	二	一二	一八	一二四	一六燭一個	一八	四、五	二 大數	一二	三〇	
		平屋建長屋式	一	八〇	二	二〇	一六燭一個	一〇		二 大數	一二	一〇	
	備前織物株式會社	二階建合宿式	二	一〇三	九	一三〇、五	二四燭一個	二〇	三	二、四 大數	一二	三〇	
	同 茶屋町工場	二階建合宿式	一	七三、一	一四	一五〇	二四燭一個	一〇	一〇	二、五 大數	一二	四九	
		平屋建長屋式	一	七、五	一	一三	二四燭一個	三		四 大數	一二	三	
	大塚織布工場	二階建合宿式	二	八八	一〇	一五六	一六燭一個	三	六	二 大數	一二	四〇	二
	山陽織物合資會社	二階建合宿式	一	三一、五	六	五三	一六燭一個	一〇	八	一、五 大數	一二	三三	
		平屋建民家式	一	八	一	一三	一六燭一個	三		二、四 大數	一二	五	
	合資會社大島工場	二階建合宿式	一	一三	二	二四	三二燭一個	三	三	二 大數	一一	一三	
	日本綿布株式會社	平屋建長屋式	一	四三、五	四	四〇	一六燭一個	一〇	一〇	二 大數	一二	二〇	二
	井原興業株式會社	二階建合宿式	二	二一	三	三三	一六燭一個	一三	八	一、二 大數	一一	三〇	
	三善織物株式會社	二階建合宿式	一	三〇	九	八二	一六燭一個	八	五	一、七 大數	一一	四九	
	中國織物株式會社	平屋建長屋式	二	二六、二五	三	二八	一六燭一個	一〇	八	一、五 大數	一二	一八	
	日本殖產株式會社	二階建合宿式	一	四九、七	三	九、五	一〇燭一個	三	四、五	二 大數	一一	二四	
	高屋織物株式會社	二階建合宿式	一		四	二八	一六燭一個	八	四、五	三 大數	一二	九	
	後月織物合資會社	平屋建長屋式	一	一〇、五	一	一五	一六燭一個	一五		一、五 大數	一二	一〇	
		平屋建民家式	一	二〇	三	二四	一六燭一個	九	六	一、五 大數	一二	二六	
	山陽製織株式會社	平屋建長屋式	二	三〇	三	三〇	一六燭一個	一〇	一〇	五 大數	一一	六	
	岡野織物工場	二階建合宿式	三	三三	六	一〇〇	一六燭一個	一三	六	二 大數	一一	五〇	
		平屋建民家式	一	八	一	一六	一六燭一個	一四		一、五 大數	一一	一〇	
	淸松社織工場	平屋建長屋式	一	二八、五	一	五八	八三燭四個	五八		一、五 大數	一二	五八	
	山本織布工場	二階建合宿式	二	四九	五	五〇	一六燭一個	二〇	六	一、五 大數	一一	二五	
	惠藤染織工場	二階建合宿式	二	七〇	五	五四	一〇燭一個	一六	八	二 大數	一二	二五	
	第一織布合資會社	平屋建長屋式	一	三〇	四	四〇	一六燭一個	一〇	一〇	二 大數	一二	二〇	一
	小田綿糸株式會社	二階建	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

業種	場所	構造	建坪	職工男	職工女	職工計	動力	原動機	馬力	備考
製造業	木村足袋株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	丸五足袋株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	小田内工場糸株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	第一織布合資會社	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	藤藤糸織工場	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	山本織布工場	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	清松社織工場	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	岡野織物工場	民平家屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	岡野織物工場	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	山陽織糸株式會社	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	後月織物合資會社	民平家屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	後月織物合資會社	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	高尾織物株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	日本織産株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	中國織物株式會社	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	三善織物株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	井原興業株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	日本綿布株式會社	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	合資會社大昌工場	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	山陽織物合資會社	民平家屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	山陽織物合資會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	大塚織布工場	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	同	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	茶屋町工場	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	備後織物株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	尾崎織物株式會社	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	尾崎織物株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	株式會社井原織物	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	正織株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	會社倉敷支店株式	長平屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	笠岡工場株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	同	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	近江帆布株式會社	合二階建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	
製造業	近江帆布株式會社	民平家屋建	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	電動	瓦斯	一〇	

寄宿舍施設

建築様式	建物棟數	建物總坪數	室數	總疊數	一室ニ於ケル電燈ノ個數及燭光數	最大一室疊數	最小一室疊數	一人當疊數	一人當寝具數	收容人員概數	結髪室 室數	結髪室 坪數	休養室 室數	休養室 坪數	父兄宿泊室數	便所數	檢温器備付數	舍監又ハ世話係數	洗…數
…建 …式	男一 女二 三	坪	男女 六三	男女 一、〇九四	二個 三二燭	二〇	三	男女 一、七	大數 一二	七〇〇		坪		坪	三	六〇		二	
…建 …式	女 四		四三	六三〇	二個 三二燭	一五		一八	大數 一二	三三〇						四		四	
…建 …式	三	三五五	二四	六五五	二個 三二燭	二〇	一五	一、五	大數 一二	三九五	二	四三	一	一〇	二	六三	二〇	二	
…建 …式	二	三九	一五	一三〇	一個 一六燭	一〇	六	一、五	大數 一二	九〇	二	六			一	四	五	二	
…建 …式	一	四四	七	五八	一個 三二燭	一九	六	二、九	大數 一一	二〇						五		一	
…建 …式	一	四七	四	七三	一個 一六燭	二〇	一四	一、七	大數 一一	三九						五		一	
…建 …式	一	一三	二	一六	二個 三二燭	八	八	二	大數 一一	八						一		一	
…建 …式	四	七六、五	一四	一七四	室ノ大小ニヨリ一個又ハ二個	一六	八	一、五	大數 一一	一二五						五		五	
…建 …式	四	九七、五	一三	一三六	何レモ一六燭	一六	八	一、五	大數 一一	八〇						二		四	
…建 …式	五	一七五	一五	二九〇	一個 一六燭	三三、五	一〇	一、五	大數 一二	一九〇					三	三五	一〇	四	
…建 …式	一	一二五	二	一六八	一個 一〇燭	八	八	一、五	大數 一二	一一〇			一	五	三	八	二	二	
…建 …式	二	一二六、五	一一	一五七	一〇燭光二 六室 一〇燭光一 五室	一七、五	八	一、三	大數 一一	一三〇					一	八	二	四	
…建 …式	一	六〇	三	一二	一個 一六燭	一五	六	一、五	大數 一一	五						八		一四	
…建 …式	三	六二	一五	一三〇	一個 一六燭	一三	八	一	二	一四〇	一	五			一	二		二	
…建 …式	一	二四	八	六〇、五	一個 一六燭	九	五	一、五	大數 一二	四一	一	二、五				五		一	
…建 …式	一	二八	四	二四	一個 一〇燭	八	四	二	大數 一二	三八						四		一	
…建 …式	一	一八、五	四	三七	一個 一六燭	一〇	八	三、七	大數 一二	一〇	四	二	一	四	一	二	一	二	
…建 …式	一	三〇	一〇	六四	一個 二四燭	一〇	六	二、一三	大數 一二	三〇									
…建 …式	六	一、〇五八、六	八六	一、三五九、五	一個 一六燭	二四	七、五	二、二五	大數 夜着 一一二	四八〇	四	四三	八	四九	七	一三ケ所	九〇	七	
…階建 …宿式 男子	二	三〇五	一六	二四〇	一個 一六燭	一五	一五	四、〇	大數 一二	六〇			一	一四	二	二八	一〇	一	
…階建 …宿式 女子	一四	一、三二八	三五	八八八	一個 二四燭	二八	二〇	一、七	大數 一二	五二〇	二	四三	一	二七	九	三〇	三五	男二 女五	
…屋建 …屋式	一五	一、〇二八	六三	五五八	一個 一六燭	九	九	一、七	大數 一二	三三〇	各戸ニアリ		二	三二		六三	一〇	二	
…階建 …宿式 男	二	二三七	二四	二三三	一個 一六燭	一五	四、五	四、六	大數 夜着 一一二	五〇			二	七	二	三	三	一	
…階建 …宿式 女	六	一、一四七	一三三	一、四二七	一個 一〇燭 一六燭	一五	八	二、三	大數 夜着 一一二	六二四	二	三五	一	二	四	三七	一七	九	
…階建 …宿式	三	六二	二七	七三六	一個 三二燭	二〇	二〇	二、五	大數 一二	一八〇	二	三八	二	三〇	一	二	六六	五	
…階建 …宿式	一	六八	一三	一二六	一個 一六燭	二〇	八	四	大數 二二	二〇			一	一〇	一	五	一	一	
…屋建 …家式	七二	一、六二六、七五	二四二	一、一三六	一個 一〇燭	九	八	二	大數 布團 一一二	九六四	一	二九	八	四五	四	六四	二〇	八	
…屋建 …家式	八六	三、六三三、七三	三五八	二、五八二	一個 一六燭又一〇燭	一〇	三	二、五	大數 布團 二一二	一、一〇〇			九	三八	六	八六	二七	九	
…階建 …宿式	二	六五六	三三	七四五、五	二個 一六燭	一八	一五	一、九	大數 一二	三九六					六	三	三	二	
…屋建 …屋式	一三	二九二	五三	四二八	一個 一六燭	九	八	二	大數 一二	二〇八						一三	二	二	
…階建 …宿式	四	七三五	七三	一、〇七六	二個 一〇燭	一五、五	八、〇	三、五	大數 一二	三〇〇	六四	九六	一	三〇	二	八		二	
…階建 …宿式	四	二四〇	四四	四九七	一個 一〇燭	一三、五	一〇	二、二	大數 一二	二五〇			一		五	二四	一〇	一	
…屋建 …家式	三	三三四	四八	二五三	一個 一〇燭	六	四	二三	大數 一二	一三六						二四	一〇	一	
…階建 …宿式	六	五七七、五六	六八	一、〇四五	二個 一〇燭	一七、五	一五	一、四九	大數 一二	七〇〇	六	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	